

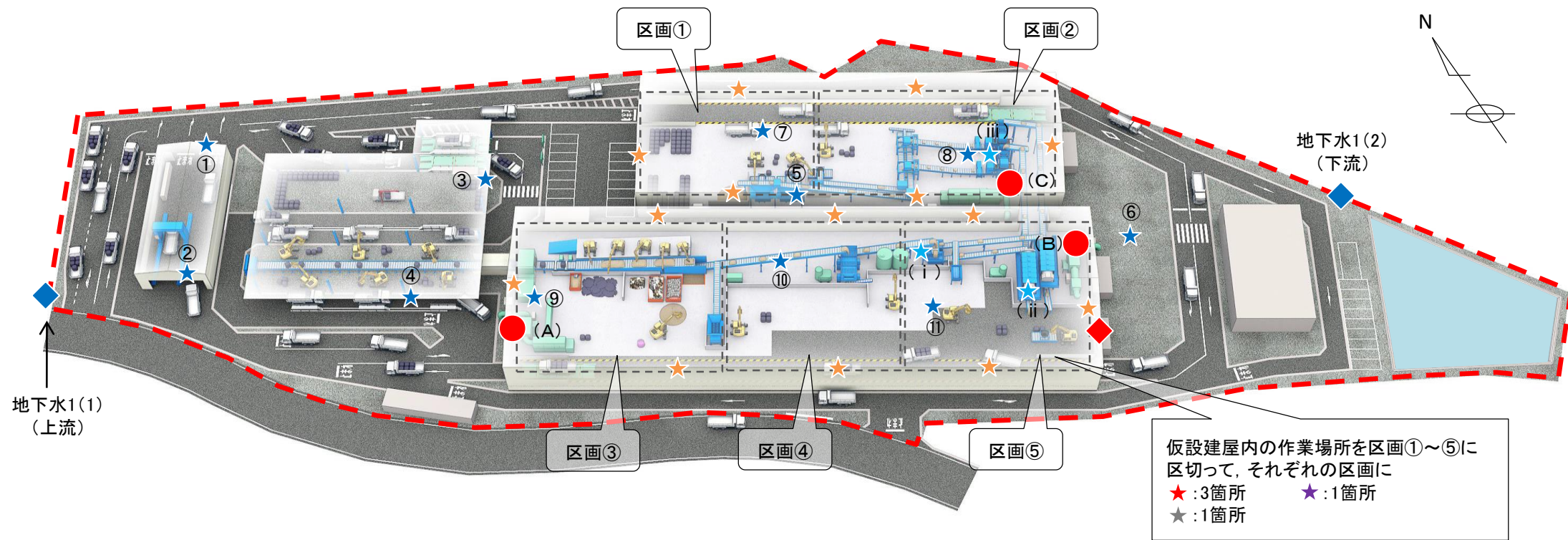


# モニタリング等の状況の詳細について

2018年11月  
環境省

# 第1期施設 受入・分別施設のモニタリング結果(月次測定)

# 受入・分別施設(1期大熊②工区)のモニタリング測定地点(月次測定)



凡例		
◆ : 地下水中の放射能濃度等	● : 排気中の放射能濃度	★ : 粉じん濃度
★ : 空間線量率(作業環境)	◆ : 排水中の放射能濃度	☆ : 空気中の放射能濃度
★ : 表面汚染密度(床)	★ : 表面汚染密度(壁)	★ : 表面汚染密度(設備)
--- : 敷地境界線		

# 受入・分別施設(1期大熊②工区)のモニタリング測定結果(月次測定)

## ◆ 地下水中の放射能濃度等

測定日	測定地点	上流			下流		
		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
2017/7/7	(稼働前)	12	5.1	ND	11	7.2	ND
2018/7/5 ~2018/9/6	(稼働後) ※	12	5.1	ND	12	9.0	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

※期間中の最大値を示す。

## ● 排気中の放射能濃度

測定地点		2018/7/6 ~2018/9/7 放射能濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機C	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：1.0Bq/m<sup>3</sup>、ドレン部：1.0Bq/m<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/20+セシウム137の濃度/30≦1

## ★ 空間線量率 (作業環境)

測定地点	2018/7/13 ~2018/9/14 空間線量率 (μSv/h)	
	最小値	最大値
	①	0.24
②	0.25	0.27
③	0.20	0.41
④	0.22	0.31
⑤	0.21	0.26
⑥	0.24	0.32
⑦	0.26	0.78
⑧	0.13	0.20
⑨	0.12	0.17
⑩	0.15	0.18
⑪	0.17	0.24

## ★ 粉じん濃度

測定地点	2018/7/5 ~2018/9/7 粉じん濃度※ (mg/m <sup>3</sup> )
①-1	1.3
①-2	1.6
①-3	1.6
②-1	1.5
②-2	1.3
②-3	1.3
③-1	2.6
③-2	4.0
③-3	4.9
④-1	5.4
④-2	4.8
④-3	4.8
⑤-1	4.5
⑤-2	4.5
⑤-3	3.8

定量下限値：0.1mg/m<sup>3</sup>、高濃度粉じんの下限値：10mg/m<sup>3</sup>

※期間中の最大値を示す。

## ◆ 排水中の放射能濃度

期間中の排水実績なし。

## ★ 空気中の放射能濃度

測定地点	2018/7/13 ~2018/9/14 放射能濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )
	①
②	ND
③	ND
④	ND
⑤	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：5.0×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>、セシウム137：5.0×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/2×10<sup>-3</sup>+セシウム137の濃度/3×10<sup>-3</sup>≦1

## 表面汚染密度 (★床、★壁、★設備)

測定地点		2018/7/13 ~2018/9/14 表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> )
床	①	ND
	②	ND
	③	ND
	④	ND
	⑤	ND
壁	①-1	ND
	①-2	ND
	①-3	ND
	②-1	ND
	②-2	ND
	②-3	ND
	③-1	ND
	③-2	ND
	③-3	ND
	④-1	ND
	④-2	ND
	⑤-1	ND
	⑤-2	ND
	⑤-3	ND
	設備	(i) 改質設備
(ii) 二次分別設備		ND
(iii) 濃度測定設備		ND

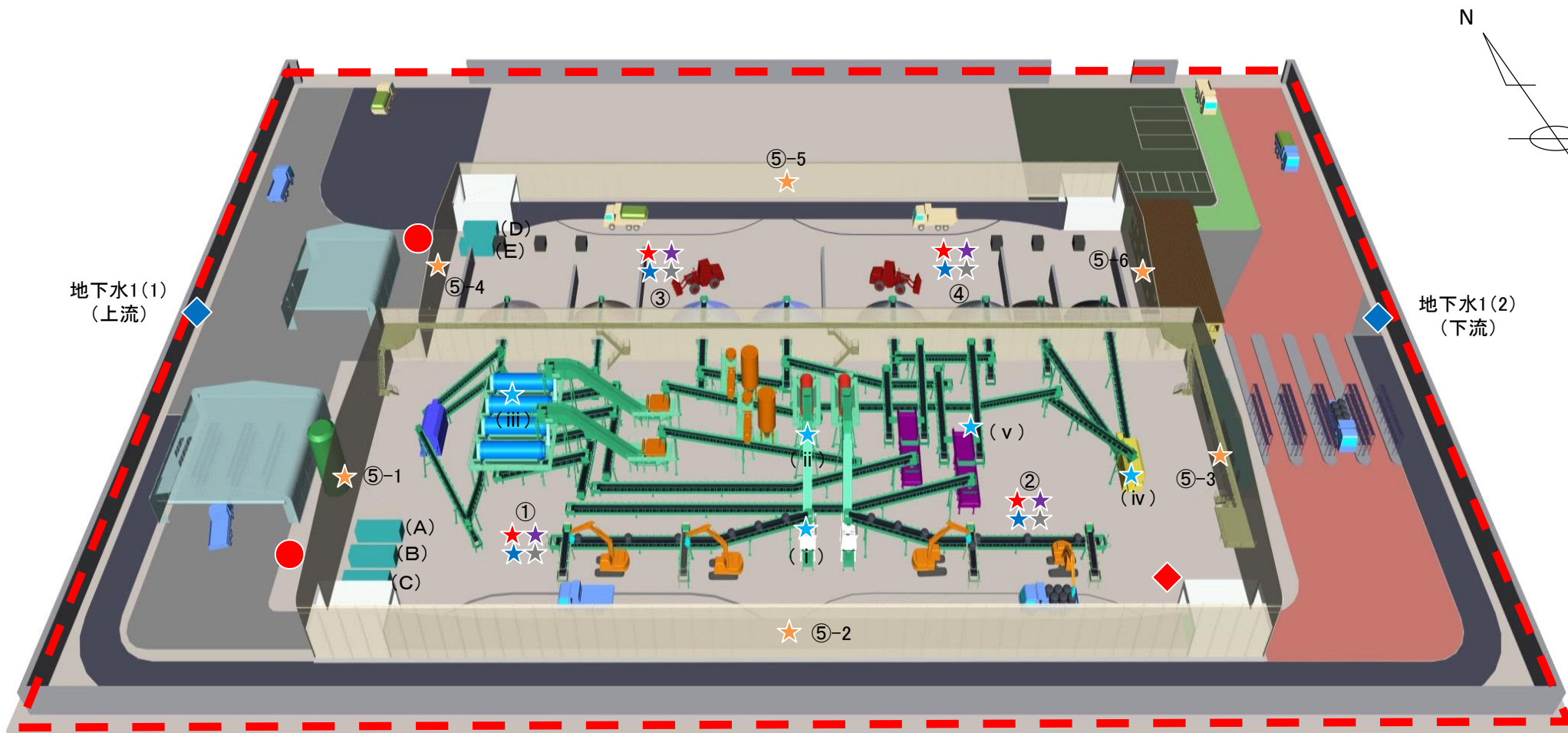
表面汚染密度検出下限値：0.14Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm<sup>2</sup>



# 受入・分別施設(1期双葉①工区)のモニタリング測定地点(月次測定)



凡例		
◆ : 地下水中の放射能濃度等	● : 排気中の放射能濃度	★ : 粉じん濃度
★ : 空間線量率(作業環境)	◆ : 排水中の放射能濃度	★ : 空気中の放射能濃度
★ : 表面汚染密度(床)	★ : 表面汚染密度(壁)	★ : 表面汚染密度(設備)
--- : 敷地境界線		

# 受入・分別施設(1期双葉①工区)のモニタリング測定結果(月次測定)

## ◆地下水中の放射能濃度等

測定地点 測定項目 測定日	上流			下流		
	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
2017/6/1 (稼働前)	46	54	ND	49	30	ND
2018/7/5 ~2018/9/6 (稼働後)※	88	82	ND	53	86	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

※期間中の最大値を示す。

## ●排気中の放射能濃度

測定地点		2018/7/2 ~2018/9/3 放射能濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機C	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機D	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機E	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.07Bq/m<sup>3</sup>、ドレン部：0.2Bq/m<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/20+セシウム137の濃度/30≦1

## ★空間線量率(作業環境)

測定地点	2018/7/6 ~2018/9/7 空間線量率 (μSv/h)	
	最小値	最大値
	①	0.06
②	0.07	0.07
③	0.06	0.06
④	0.11	0.12

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	2018/7/6 ~2018/9/7 放射能濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )
	①
②	ND
③	ND
④	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：5.0×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>、セシウム137：5.0×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/2×10<sup>-3</sup>+セシウム137の濃度/3×10<sup>-3</sup>≦1

## ★粉じん濃度

測定地点	2018/7/6 ~2018/9/7 粉じん濃度※ (mg/m <sup>3</sup> )
	①
②	2.4
③	0.4
④	0.4

定量下限値：0.1mg/m<sup>3</sup>、高濃度粉じんの下限値：10mg/m<sup>3</sup>

※期間中の最大値を示す。

## ◆排水中の放射能濃度

期間中の排水実績なし。

## 表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点		2018/7/7 ~2018/9/7 表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> )
床	①	ND
	②	ND
	③	ND
	④	ND
壁	⑤-1	ND
	⑤-2	ND
	⑤-3	ND
	⑤-4	ND
	⑤-5	ND
	⑤-6	ND
設備	(i) 破袋設備	ND
	(ii) 一次分別設備	ND
	(iii) 二次分別設備	ND
	(iv) 可燃物分離設備	ND
	(v) 濃度測定設備	ND

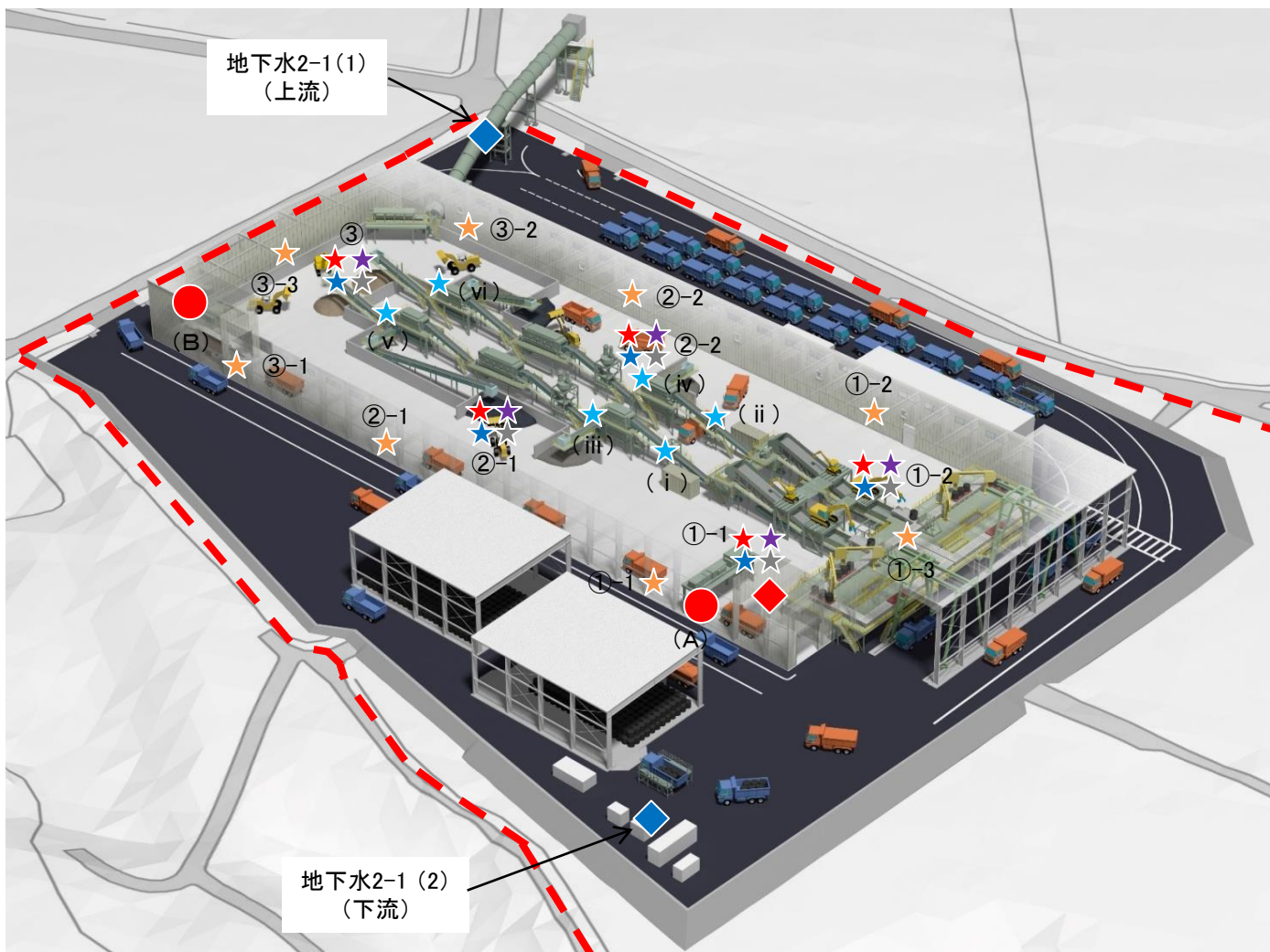
表面汚染密度検出下限値：0.70Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm<sup>2</sup>

# 第2期施設 受入・分別施設のモニタリング結果(月次測定)

# 受入・分別施設(2期大熊①工区)のモニタリング測定地点(月次測定)



凡例		
◆ : 地下水中の放射能濃度等	● : 排気中の放射能濃度	★ : 粉じん濃度
★ : 空間線量率(作業環境)	◆ : 排水中の放射能濃度	★ : 空気中の放射能濃度
★ : 表面汚染密度(床)	★ : 表面汚染密度(壁)	★ : 表面汚染密度(設備)
--- : 敷地境界線		

# 受入・分別施設(2期大熊①工区)のモニタリング測定結果(月次測定)

## ◆ 地下水中の放射能濃度等

測定日	測定地点	上流			下流		
		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
2018/7/10	(稼働前)	23	17	ND	27	5.9	ND
2018/7/25 ~2018/9/11	(稼働後) ※	30	17	ND	36	10	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

※期間中の最大値を示す。

## ● 排気中の放射能濃度

測定地点		2018/7/18 ~2018/9/12
		放射能濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.1Bq/m<sup>3</sup>、ドレン部：0.5Bq/m<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/20+セシウム137の濃度/30≦1

## ★ 空間線量率 (作業環境)

測定地点	2018/7/20 ~2018/9/3	
	空間線量率 (μSv/h)	
	最小値	最大値
①-1	0.17	0.24
①-2	0.16	0.17
②-1	0.23	0.25
②-2	0.18	0.21
③	0.22	0.27

## ★ 粉じん濃度

測定地点	2018/7/25 ~2018/9/11
	粉じん濃度※ (mg/m <sup>3</sup> )
①-1	4.6
①-2	2.6
②-1	5.9
②-2	3.3
③	1.8

定量下限値：0.1mg/m<sup>3</sup>、高濃度粉じんの下限値：10mg/m<sup>3</sup>

※期間中の最大値を示す。

## ◆ 排水中の放射能濃度

期間中の排水実績なし。

## ★ 空気中の放射能濃度

測定地点	2018/7/20 ~2018/9/3
	放射能濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )
①-1	ND
①-2	ND
②-1	ND
②-2	ND
③	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：5.0×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>、セシウム137：5.0×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/2×10<sup>-3</sup>+セシウム137の濃度/3×10<sup>-3</sup>≦1

## 表面汚染密度 (★床、★壁、★設備)

測定地点		2018/7/19 ~2018/9/5
		表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> )
床	①-1	ND
	①-2	ND
	②-1	ND
	②-2	ND
	③	ND
壁	①-1	ND
	①-2	ND
	①-3	ND
	②-1	ND
	②-2	ND
	③-1	ND
設備	③-2	ND
	③-3	ND
	(i) 一次分別設備 (A)	ND
	(ii) 一次分別設備 (B)	ND
	(iii) 改質材添加装置 (A)	ND
	(iv) 改質材添加装置 (B)	ND
(v) 二次分別設備 (A)	ND	
(vi) 二次分別設備 (B)	ND	

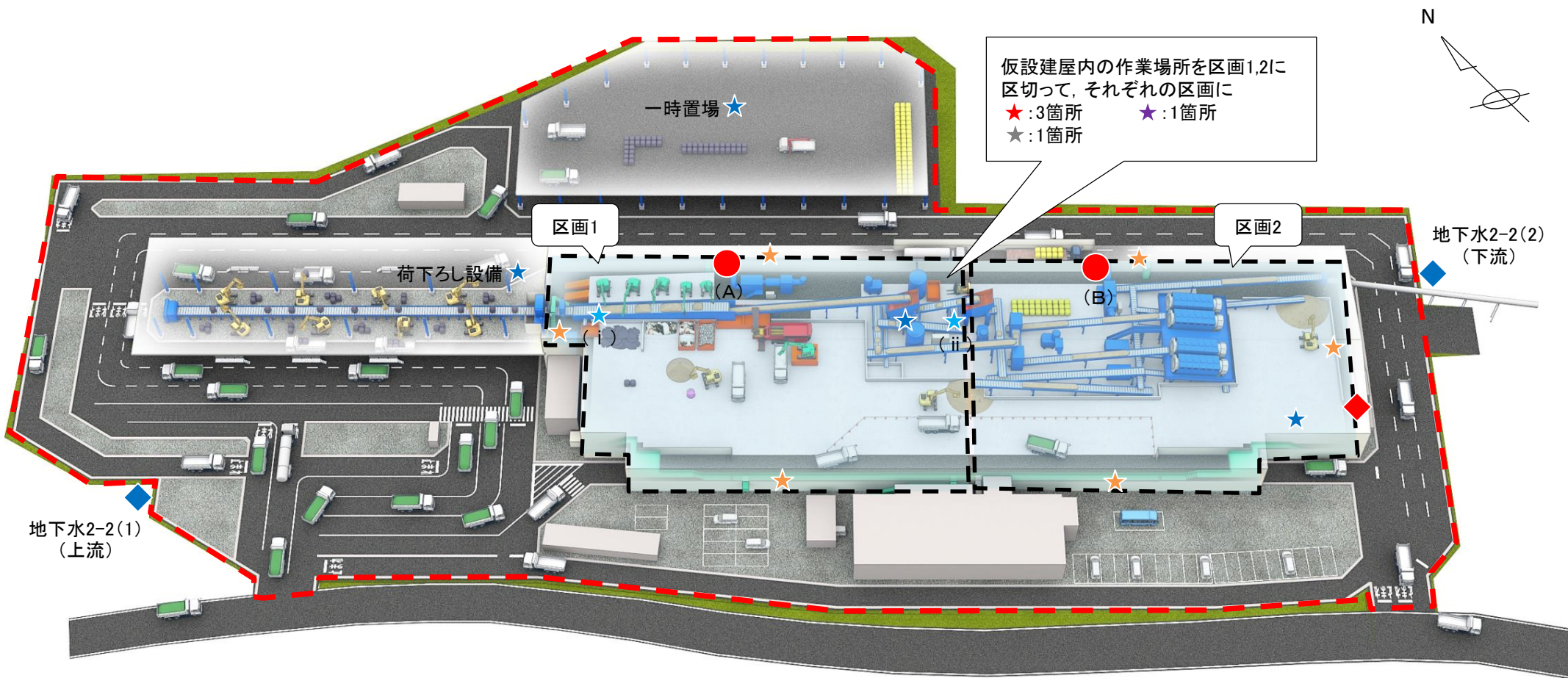
表面汚染密度検出下限値：0.40Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm<sup>2</sup>



# 受入・分別施設(2期大熊②工区)のモニタリング測定地点(月次測定)



- 凡例
- ◆ : 地下水中の放射能濃度等
  - ★ : 空間線量率(作業環境)
  - ★ : 表面汚染密度(床)
  - : 敷地境界線
  - : 排気中の放射能濃度
  - ◆ : 排水中の放射能濃度
  - ★ : 表面汚染密度(壁)
  - ★ : 粉じん濃度
  - ★ : 空気中の放射能濃度
  - ★ : 表面汚染密度(設備)



# 受入・分別施設(2期大熊②工区)のモニタリング測定結果(月次測定)

## ◆地下水中の放射能濃度等

測定日	測定地点	上流			下流		
		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
2018/6/13	(稼働前)	11	9.0	ND	7.9	6.2	ND
2018/7/20 ~2018/9/6	(稼働後)※	9.6	8.8	ND	7.5	7.2	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

※期間中の最大値を示す。

## ●排気中の放射能濃度

測定地点		2018/7/20 ~2018/9/6
		放射能濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：1.0Bq/m<sup>3</sup>、ドレン部：1.0Bq/m<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/20+セシウム137の濃度/30≦1

## ★空間線量率(作業環境)

測定地点	2018/7/20 ~2018/9/13	
	空間線量率 (μSv/h)	
	最小値	最大値
区画1	0.08	0.10
区画2	0.17	0.19
荷下ろし設備	0.23	0.24
一時置場	0.29	0.33

## ★粉じん濃度

測定地点	2018/7/20 ~2018/9/27
	粉じん濃度※ (mg/m <sup>3</sup> )
区画1-1	1.1
区画1-2	2.1
区画1-3	2.9
区画2-1	3.7
区画2-2	4.7
区画2-3	4.2

定量下限値：0.1mg/m<sup>3</sup>、高濃度粉じんの下限値：10mg/m<sup>3</sup>

※期間中の最大値を示す。

## ◆排水中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2018/8/20 ~2018/9/27	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	2018/7/20 ~2018/9/13
	放射能濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )
区画1	ND
区画2	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：5.0×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>、セシウム137：5.0×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/2×10<sup>-3</sup>+セシウム137の濃度/3×10<sup>-3</sup>≦1

## 表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

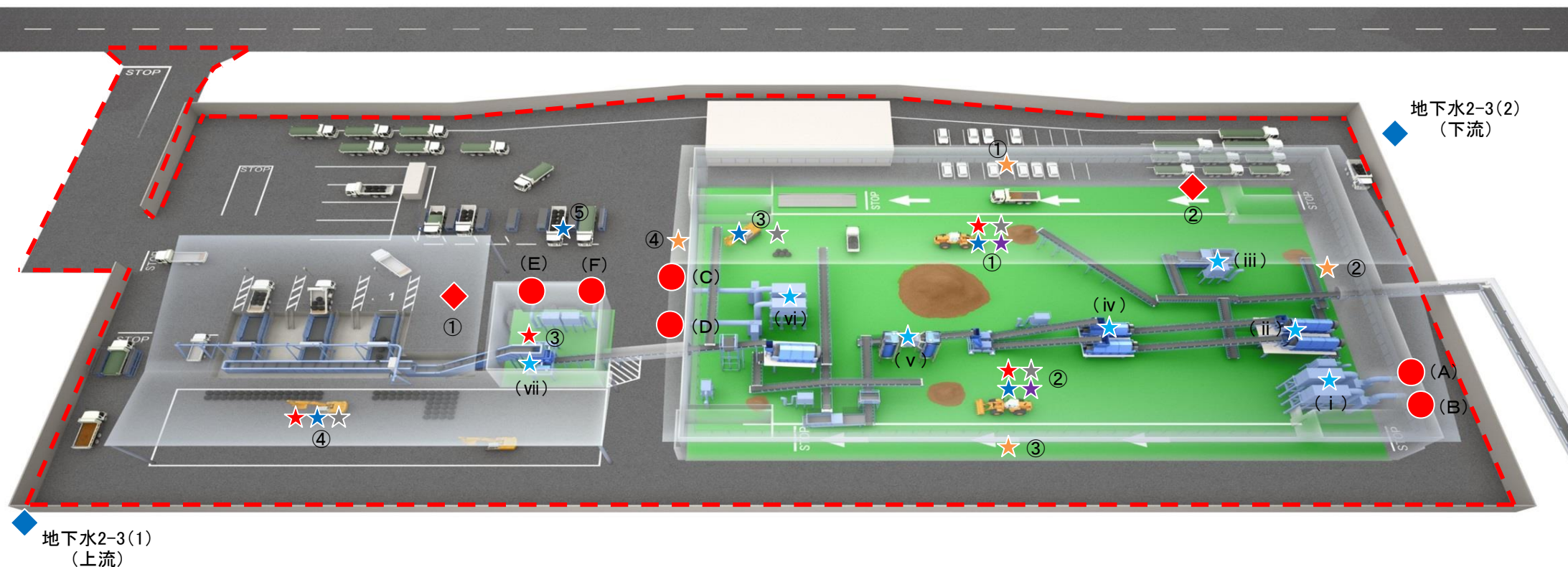
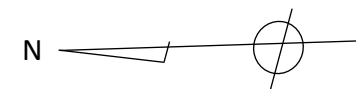
測定地点		2018/7/20 ~2018/9/13
		表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> )
床	区画1	ND
	区画2	ND
壁	区画1-1	ND
	区画1-2	ND
	区画1-3	ND
	区画2-1	ND
	区画2-2	ND
	区画2-3	ND
設備	(i) 破袋機操作盤	ND
	(ii) 改質機操作盤	ND

表面汚染密度検出下限値：0.14Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm<sup>2</sup>

# 受入・分別施設(2期大熊③工区)のモニタリング測定地点(月次測定)



## 凡例

- |                 |               |                |
|-----------------|---------------|----------------|
| ◆ : 地下水中の放射能濃度等 | ● : 排気中の放射能濃度 | ★ : 粉じん濃度      |
| ★ : 空間線量率(作業環境) | ◆ : 排水中の放射能濃度 | ★ : 空気中の放射能濃度  |
| ★ : 表面汚染密度(床)   | ★ : 表面汚染密度(壁) | ★ : 表面汚染密度(設備) |
| --- : 敷地境界線     |               |                |

# 受入・分別施設(2期大熊③工区)のモニタリング測定結果(月次測定)

## ◆ 地下水中の放射能濃度等

測定日	測定地点	上流			下流		
		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
2018/7/6	(稼働前)	17	7.5	ND	17	22	ND
2018/8/6 ~2018/9/3	(稼働後) ※	17	9.3	ND	18	29	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

※期間中の最大値を示す。

## ● 排気中の放射能濃度

測定地点		2018/8/6 ~2018/9/3 放射能濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機C	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機D	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機E	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機F	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：2.0Bq/m<sup>3</sup>、ドレン部：2.0Bq/m<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/20+セシウム137の濃度/30≦1

## ★ 空間線量率 (作業環境)

測定地点	2018/8/6 ~2018/9/3 空間線量率 (μSv/h)	
	最小値	最大値
	①	0.30
②	0.38	0.42
③	0.31	0.32
④	0.30	0.30
⑤	0.34	0.59

## ★ 空気中の放射能濃度

測定地点	2018/8/6 ~2018/9/3 放射能濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )
	①
②	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：5.0×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>、セシウム137：5.0×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/2×10<sup>-3</sup>+セシウム137の濃度/3×10<sup>-3</sup>≦1

## 表面汚染密度 (★床、★壁、★設備)

測定地点		2018/8/6 ~2018/9/3 表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> )
床	①	ND
	②	ND
	③	ND
	④	ND
壁	①	ND
	②	ND
	③	ND
	④	ND
設備	(i) 集じん機②	ND
	(ii) 分別機	ND
	(iii) 集じん機①	ND
	(iv) ベルトコンベア	ND
	(v) 改質材貯留サイロ	ND
	(vi) 集じん機③	ND
	(vii) 破袋機	ND

表面汚染密度検出下限値：1.0Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm<sup>2</sup>

## ★ 粉じん濃度

測定地点	2018/8/6 ~2018/9/3 粉じん濃度※ (mg/m <sup>3</sup> )
	①
②	1.5
③	1.8
④	1.0

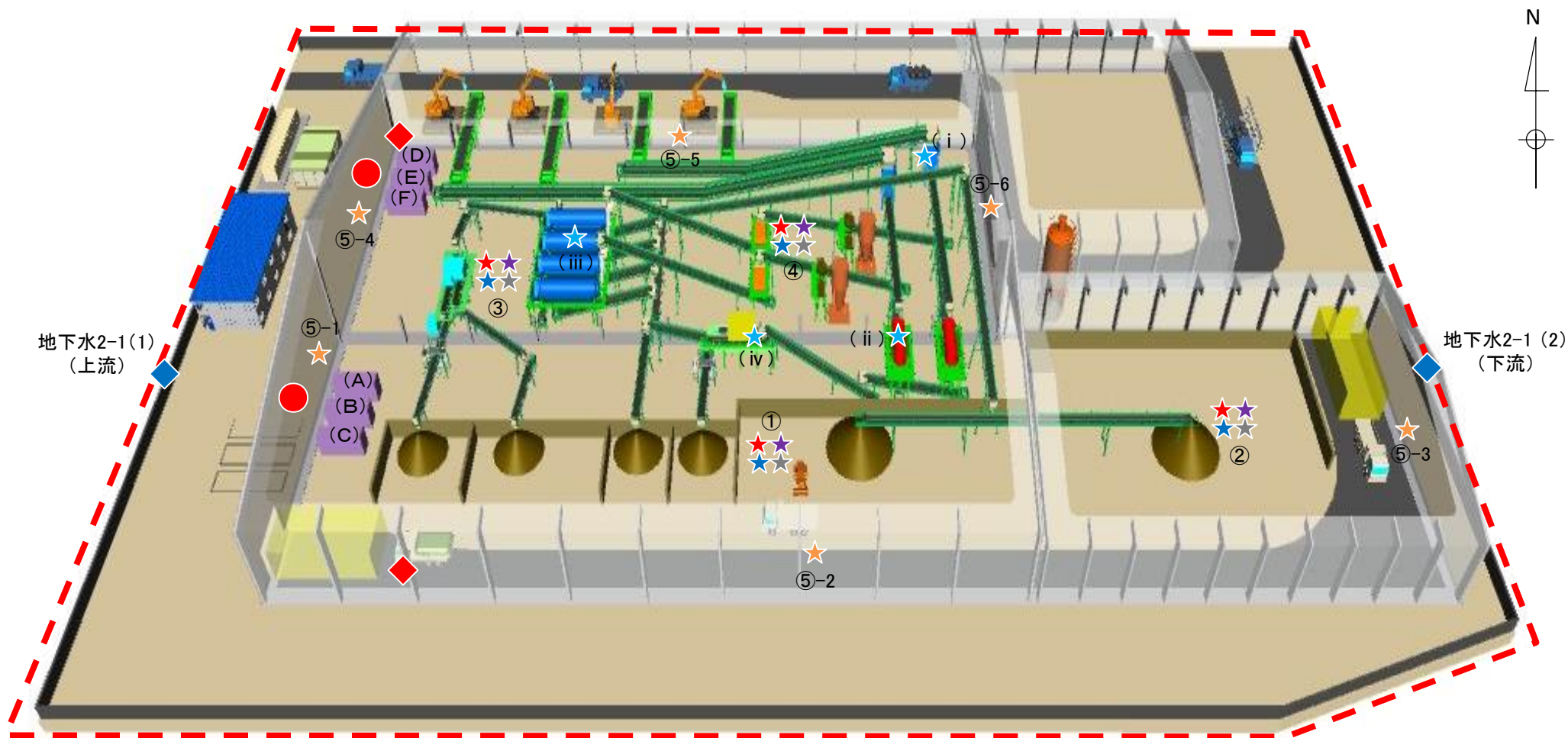
定量下限値：0.1mg/m<sup>3</sup>、高濃度粉じんの下限値：10mg/m<sup>3</sup>

※期間中の最大値を示す。

## ◆ 排水中の放射能濃度

期間中の排水実績なし。

# 受入・分別施設(2期双葉①工区)のモニタリング測定地点(月次測定)



凡例		
◆ : 地下水中の放射能濃度等	● : 排気中の放射能濃度	★ : 粉じん濃度
★ : 空間線量率(作業環境)	◆ : 排水中の放射能濃度	★ : 空気中の放射能濃度
★ : 表面汚染密度(床)	★ : 表面汚染密度(壁)	★ : 表面汚染密度(設備)
--- : 敷地境界線		



# 受入・分別施設(2期双葉①工区)のモニタリング測定結果(月次測定)

## ◆地下水中の放射能濃度等

測定地点 測定項目	上流			下流		
	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
測定日 2018/9/3 (稼働前)	34	9.7	ND	47	12	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

## ●排気中の放射能濃度

期間中の測定実績なし。

## ★粉じん濃度

期間中の測定実績なし。

## ◆排水中の放射能濃度

期間中の排水実績なし。

## ★空気中の放射能濃度

期間中の測定実績なし。

## ★空間線量率(作業環境)

測定地点	2018/9/29
	空間線量率 (μSv/h)
①	0.13
②	0.21
③	0.06
④	0.05

## 表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点	2018/9/25	
	表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> )	
床	①	ND
	②	ND
	③	ND
	④	ND
壁	⑤-1	ND
	⑤-2	ND
	⑤-3	ND
	⑤-4	ND
	⑤-5	ND
	⑤-6	ND
設備	(i) 破袋設備	ND
	(ii) 一次分別設備	ND
	(iii) 二次分別設備	ND
	(iv) 可燃物分離設備	ND

表面汚染密度検出下限値：0.66Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

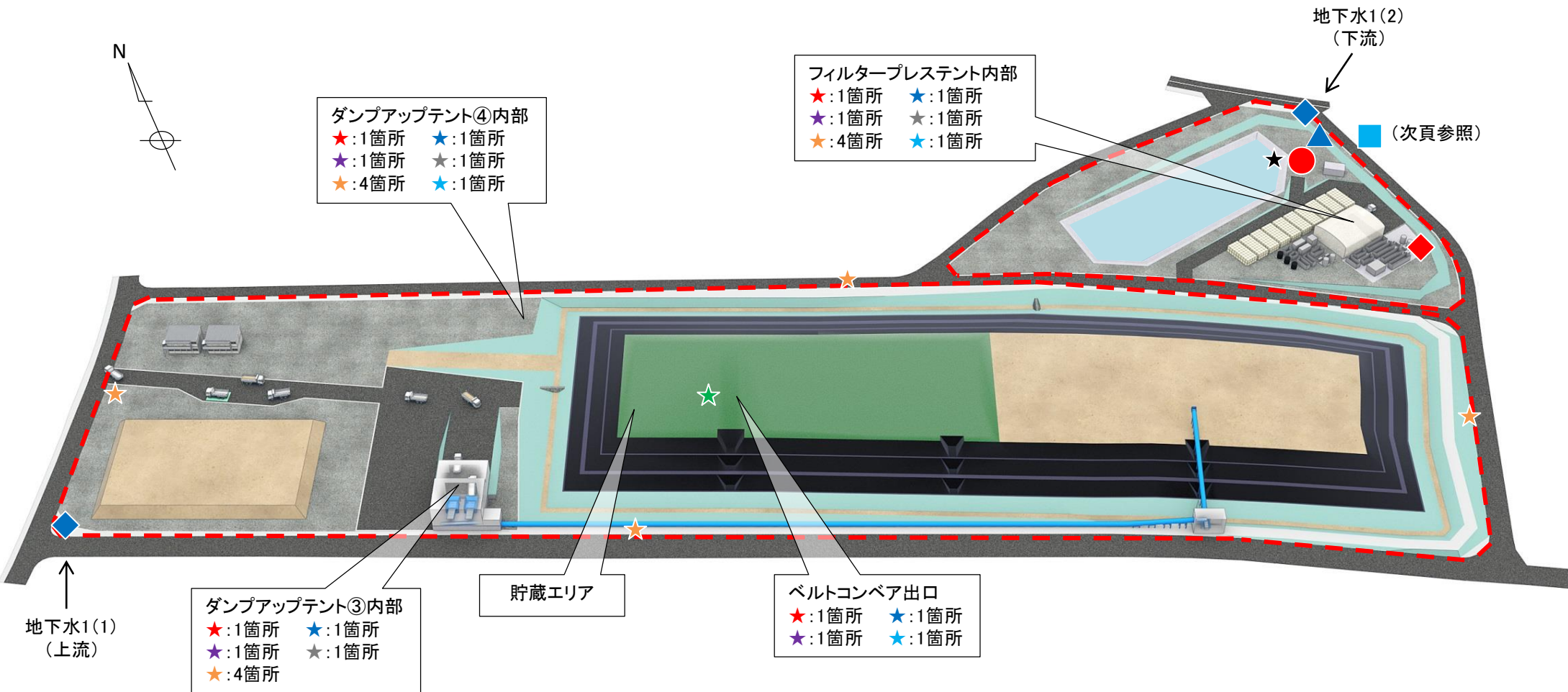
限度：40Bq/cm<sup>2</sup>

受入分別施設は9月18日から稼働したが、その後彼岸休止のため稼働日数が少なかったことから9月は測定していない項目がある。これらの項目は10月から測定を開始しており、次回以降報告する。

# 第1期施設 土壌貯蔵施設のモニタリング結果（月次測定）

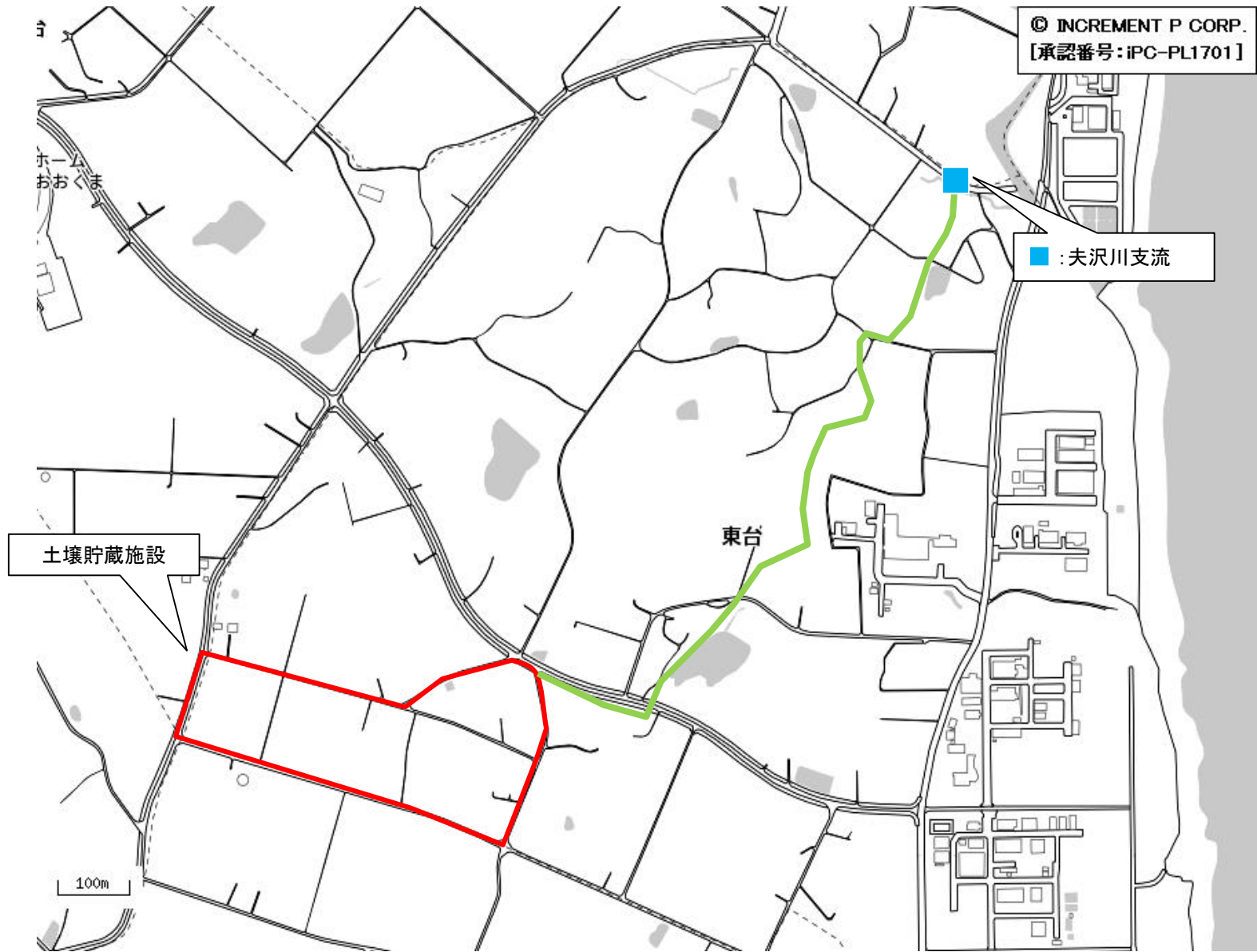


# 土壤貯蔵施設(1期大熊②工区)のモニタリング測定地点(月次測定等)①



- 凡例**
- ◆: 地下水(井戸)中の電気伝導率等、放射能濃度
  - ▲: 浸出水処理施設放流水
  - ★: 粉じん濃度
  - ★: 表面汚染密度(床)
  - ★: 表面汚染密度(重機)
  - : 地下水(集排水設備)中の放射能濃度
  - ★: 沈砂池からの放流水の浮遊物質濃度
  - ★: 空間線量率(作業環境)
  - ★: 表面汚染密度(貯蔵施設境界・壁)
  - ◆: 浸出水処理施設放流水の環境項目、放射能濃度
  - : 放流先河川の放射能濃度
  - ★: 空気中の放射能濃度
  - ★: 表面汚染密度(設備)
  - 
  - 
  -

# 土壤貯蔵施設(1期大熊②工区)のモニタリング測定地点(月次測定等)②



凡例  
■ : 河川水観測地点      — : 沈砂池・浸出水処理施設の放流水の流路

# 土壌貯蔵施設(1期大熊②工区)のモニタリング測定結果(月次測定等)

## ◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目	上流		下流	
		電気伝導率(mS/m)	塩化物イオン濃度(mg/L)	電気伝導率(mS/m)	塩化物イオン濃度(mg/L)
測定日					
2017/10/11	(稼働前)	14	14	19	6.5
2018/7/5	(稼働後)※	13	13	36	17
~2018/9/6					

※期間中の最大値を示す。

## ◆地下水(井戸)中の放射能濃度(週次測定)

測定地点	測定項目	上流		下流	
		Cs-134(Bq/L)	Cs-137(Bq/L)	Cs-134(Bq/L)	Cs-137(Bq/L)
測定日					
2017/10/11	(稼働前)	ND	ND	ND	ND
2018/7/5	(稼働後)	ND	ND	ND	ND
~2018/9/27					

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≦ 1

## ●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度(Bq/L)
2017/10/5	(稼働前)	ND
2018/7/5	(稼働後)	ND
~2018/9/6		

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≦ 1

## ◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度(pH)		生物化学的酸素要求量(BOD)(mg/L)	化学的酸素要求量(COD)(mg/L)	浮遊物質量(SS)(mg/L)
		最小値	最大値			
2018/7/5		7.3	7.5	ND~0.6	5.1~10	ND~3
~2018/9/6						

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

## ◆浸出水処理施設放流水の放射能濃度(週次測定)

測定日	測定項目	Cs-134(Bq/L)	Cs-137(Bq/L)
2018/7/5		ND	ND
~2018/9/6			
2018/9/13		ND	1.2
2018/9/20		ND	ND
2018/9/27		ND	1.2

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≦ 1

## ▲浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム(Bq/L)	放流量(m <sup>3</sup> )
		最小値	最大値		
2018/7/4					
~2018/9/28	151	0.7	4.8	ND	3720

濁度管理値: 5.0以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(5.85Bq/L)未満であることを示す。

## ★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定日	測定項目	浮遊物質量(SS)※(mg/L)
2018/7/6		6
~2018/9/6		

SS基準: 60mg/L

※期間中の最大値を示す。

## ■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134(Bq/L)	Cs-137(Bq/L)
2017/10/4	(稼働前)	ND	3.8
2018/7/5	(稼働後)	ND	8.0
2018/8/2	(稼働後)	ND	10
2018/9/6	(稼働後)	1.3	9.0

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≦ 1

## ★粉じん濃度

測定地点	2018/7/5 ~2018/9/7
	粉じん濃度※(mg/m <sup>3</sup> )
ダンプアップテント③④	1.7
フィルタープレステント	0.3
ベルトコンベア出口	0.7

定量下限値: 0.1mg/m<sup>3</sup>, 高濃度粉じんの下限値: 10mg/m<sup>3</sup>

ダンプアップテントについて7,9月は④, 8月は③で測定を実施。

※期間中の最大値を示す。

## ★空間線量率(作業環境)

測定地点	2018/7/9 ~2018/9/13	
	空間線量率(μSv/h)	
	最小値	最大値
ダンプアップテント③④	0.25	0.57
フィルタープレステント	0.26	0.42
ベルトコンベア出口	1.43	2.65

ダンプアップテントについて7,9月は④, 8月は③で測定を実施。

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	2018/7/9 ~2018/9/13	
	放射能濃度(Bq/cm <sup>3</sup> )	
ダンプアップテント③④	ND	
フィルタープレステント	ND	
ベルトコンベア出口	ND	

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 5.0×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>, セシウム137: 5.0×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度: セシウム134の濃度/2×10<sup>-3</sup>+セシウム137の濃度/3×10<sup>-3</sup> ≦ 1

ダンプアップテントについて7,9月は④, 8月は③で測定を実施。

## 表面汚染密度(★床, ★貯蔵施設境界・壁, ★設備, ★重機)

測定地点	2018/7/9 ~2018/9/13	
	表面汚染密度(Bq/cm <sup>2</sup> )	
貯蔵施設境界	①	ND
	②	ND
	③	ND
	④	ND
ダンプアップテント	床	③④
	壁	③④-1
		③④-2
		③④-3
		③④-4
	設備	ベルトコンベア
フィルタープレステント	床	②
	壁	②-1
		②-2
		②-3
		②-4
	設備	フィルタープレス
貯蔵エリア	重機	バックホウ①
		バックホウ②
		ローラー①
		ブルドーザー①
		設備

表面汚染密度検出下限値: 0.14Bq/cm<sup>2</sup>

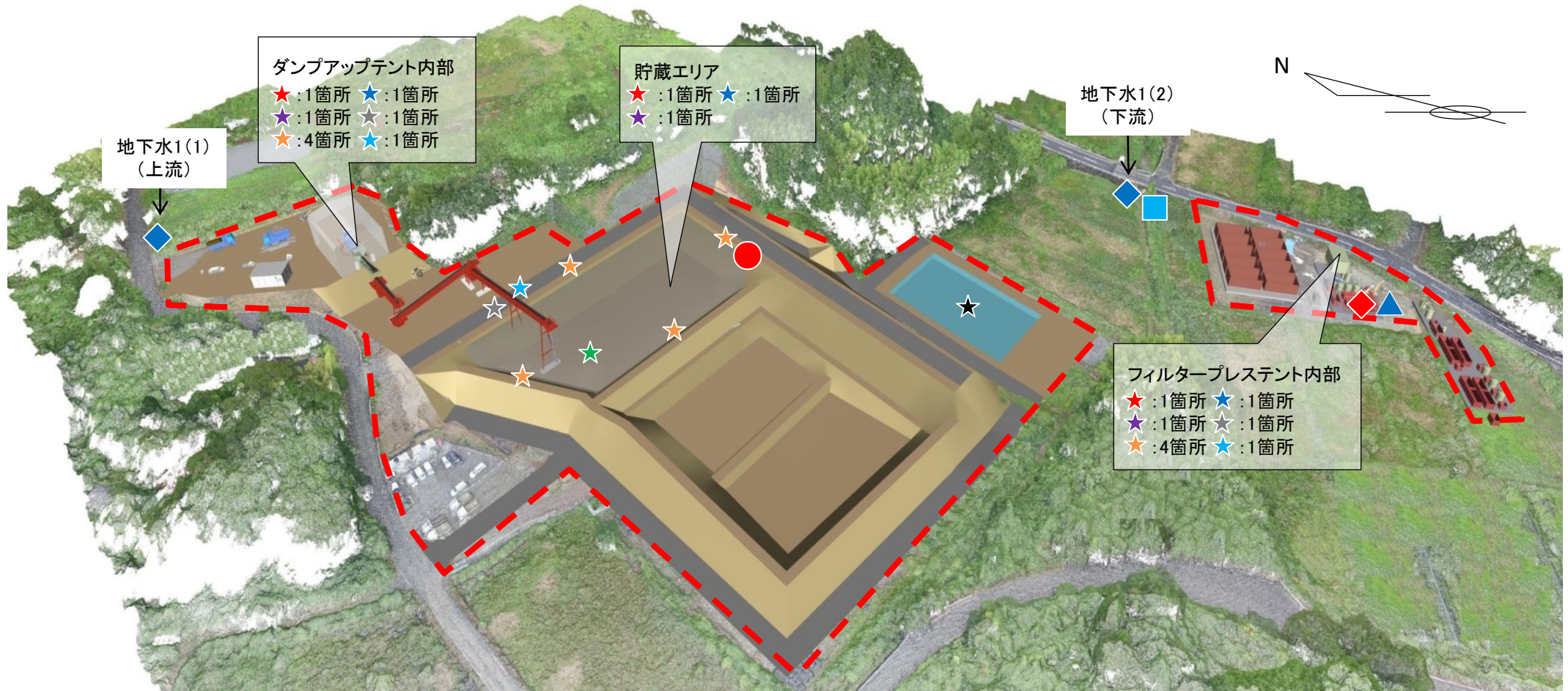
NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm<sup>2</sup>

ダンプアップテントについて7,9月は④, 8月は③で測定を実施。



# 土壤貯蔵施設(1期双葉①工区)のモニタリング測定地点(月次測定等)



## 凡例

- |                           |                       |                           |
|---------------------------|-----------------------|---------------------------|
| ◆ : 地下水(井戸)中の電気伝導率等、放射能濃度 | ● : 地下水(集排水設備)中の放射能濃度 | ◆ : 浸出水処理施設放流水の環境項目、放射能濃度 |
| ▲ : 浸出水処理施設放流水            | ★ : 沈砂池からの放流水の浮遊物質質量  | ■ : 放流先河川の放射能濃度           |
| ★ : 粉じん濃度                 | ★ : 空間線量率(作業環境)       | ★ : 空気中の放射能濃度             |
| ★ : 表面汚染密度(床、ベルトコンベア直下)   | ★ : 表面汚染密度(貯蔵施設境界・壁)  | ★ : 表面汚染密度(設備、ベルトコンベア)    |
| ★ : 表面汚染密度(重機)            | ---                   | ---                       |

# 土壌貯蔵施設(1期双葉①工区)のモニタリング測定結果(月次測定等)

## ◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定日	測定地点	上流		下流	
		電気伝導率(mS/m)	塩化物イオン濃度(mg/L)	電気伝導率(mS/m)	塩化物イオン濃度(mg/L)
2017/11/23	(稼働前)	13	21	17	9.4
2018/7/5	(稼働後)※	18	18	19	9.3

※期間中の最大値を示す。

## ◆地下水(井戸)中の放射能濃度(週次測定)

測定日	測定地点	上流		下流	
		Cs-134(Bq/L)	Cs-137(Bq/L)	Cs-134(Bq/L)	Cs-137(Bq/L)
2017/11/23	(稼働前)	ND	ND	ND	ND
2018/7/5	(稼働後)	ND	ND	ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

## ●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度(Bq/L)
2017/12/7	(稼働前)	ND
2018/7/5	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

## ◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度(pH)		生物化学的酸素要求量(BOD)(mg/L)	化学的酸素要求量(COD)(mg/L)	浮遊物質量(SS)(mg/L)
		最小値	最大値			
2018/7/5	(稼働後)	7.7	8.3	ND~0.8	4.6~5.2	ND

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

## ◆浸出水処理施設放流水の放射能濃度(週次測定)

測定日	測定項目	Cs-134(Bq/L)	Cs-137(Bq/L)
2018/7/5	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

## ▲浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム(Bq/L)	放流量(m <sup>3</sup> )
		最小値	最大値		
2018/7/6	50	0.0	5.0	ND	1772

濁度管理値: 5.0以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

## ★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定日	測定項目	浮遊物質量(SS)※(mg/L)
2018/7/5	(稼働後)	8

SS基準: 60mg/L

※期間中の最大値を示す。

## ■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134(Bq/L)	Cs-137(Bq/L)
2017/11/2	(稼働前)	ND	ND
2018/7/5	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

## ★粉じん濃度

測定地点	2018/7/9	
	粉じん濃度※(mg/m <sup>3</sup> )	
ダンプアップテント	0.2	
フィルタープレセント	0.1	
貯蔵エリア	0.1	

定量下限値: 0.1mg/m<sup>3</sup>, 高濃度粉じんの下限値: 10mg/m<sup>3</sup>

※期間中の最大値を示す。

## ★空間線量率(作業環境)

測定地点	2018/7/9	
	空間線量率(μSv/h)	
	最小値	最大値
ダンプアップテント	0.16	0.18
フィルタープレセント	0.16	0.17
貯蔵エリア中央	0.36	0.37

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	2018/7/9	
	放射能濃度(Bq/cm <sup>3</sup> )	
ダンプアップテント	ND	
フィルタープレセント	ND	
貯蔵エリア	ND	

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 5.0×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>, セシウム137: 5.0×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度: セシウム134の濃度/2×10<sup>-3</sup> + セシウム137の濃度/3×10<sup>-3</sup> ≤ 1

## 表面汚染密度(★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点	2018/7/18	
	表面汚染密度(Bq/cm <sup>2</sup> )	
貯蔵施設境界	境界東	ND
	境界西	ND
	境界南	ND
	境界北	ND
ダンプアップテント	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
	北側(壁)	ND
	設備	ND
フィルタープレセント	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
	北側(壁)	ND
	設備	ND
貯蔵エリア	重機①	ND
	重機②	ND
	ベルトコンベア	ND
	ベルトコン直下管理用道路口	ND

表面汚染密度検出下限値: 0.71Bq/cm<sup>2</sup>

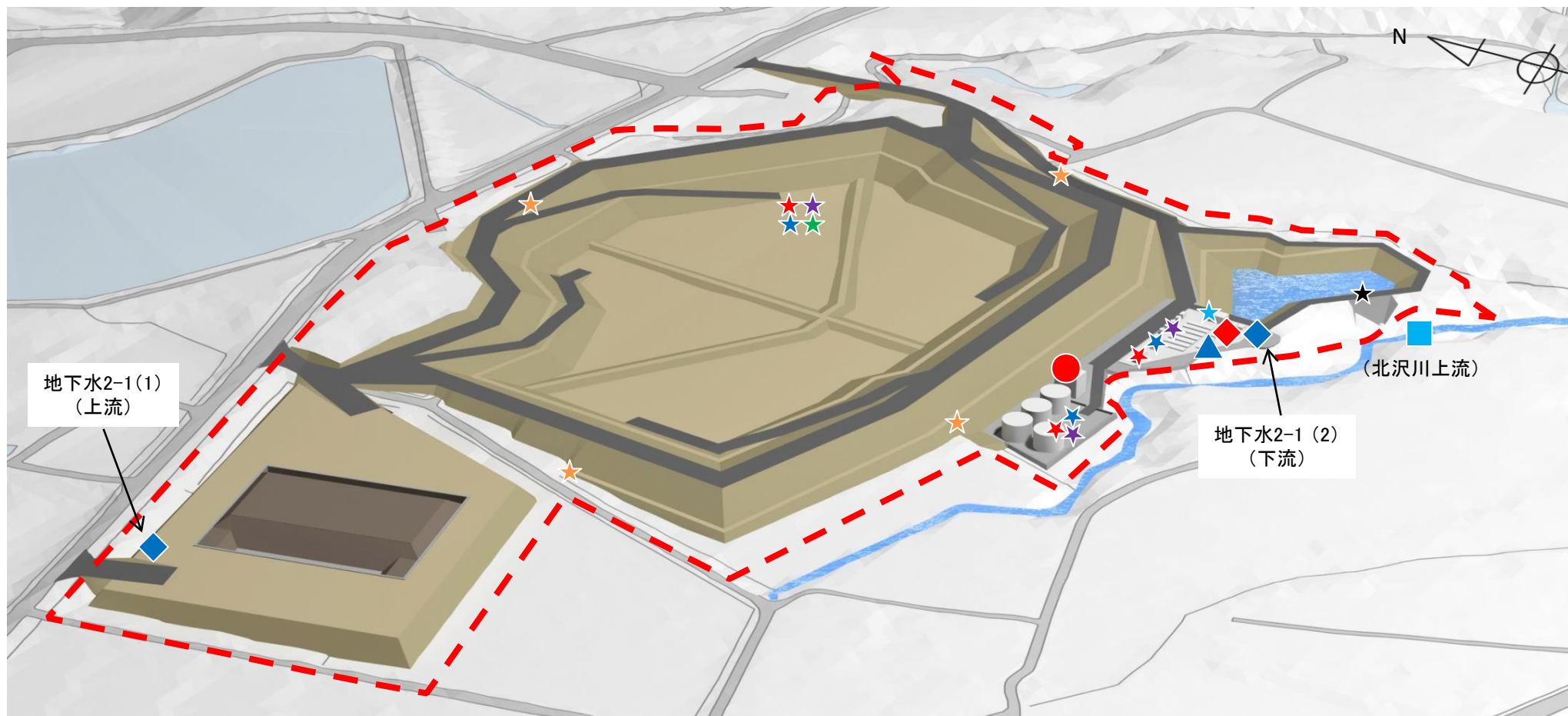
NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm<sup>2</sup>

## 第2期施設 土壌貯蔵施設のモニタリング結果（月次測定）



# 土壤貯蔵施設(2期大熊①工区)のモニタリング測定地点(月次測定等)



## 凡例

- |                           |                       |                           |
|---------------------------|-----------------------|---------------------------|
| ◆ : 地下水(井戸)中の電気伝導率等、放射能濃度 | ● : 地下水(集排水設備)中の放射能濃度 | ◆ : 浸出水処理施設放流水の環境項目、放射能濃度 |
| ▲ : 浸出水処理施設放流水            | ★ : 沈砂池からの放流水の浮遊物質量   | ■ : 放流先河川の放射能濃度           |
| ★ : 粉じん濃度                 | ★ : 空間線量率(作業環境)       | ★ : 空気中の放射能濃度             |
| ★ : 表面汚染密度(貯蔵施設境界・壁)      | ★ : 表面汚染密度(設備)        | ★ : 表面汚染密度(重機)            |
| --- : 敷地境界線               |                       |                           |

# 土壌貯蔵施設(2期大熊①工区)のモニタリング測定結果(月次測定等)

## ◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目	上流		下流	
		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
測定日					
2018/7/11 (稼働前)		240	8.1	32	9.5
2018/7/24 ~2018/9/12 (稼働後)※		220	9.5	33	9.3

※期間中の最大値を示す。

## ◆地下水(井戸)中の放射能濃度(週次測定)

測定地点	測定項目	上流		下流	
		Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
測定日					
2018/7/11 (稼働前)		ND	ND	ND	ND
2018/7/20 ~2018/9/26 (稼働後)		ND	ND	ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

## ●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2018/7/11 (稼働前)		ND
2018/7/21 ~2018/9/26 (稼働後)		ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

## ◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)		生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
		最小値	最大値			
2018/8/28 ~2018/9/12		6.3	6.4	0.9~4.3	4.7~9.3	ND

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

## ◆浸出水処理施設放流水の放射能濃度(週次測定)

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2018/8/9 ~2018/9/26		ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

## ▲浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m <sup>3</sup> )
		最小値	最大値		
2018/8/8 ~2018/9/30	191	0.1	12.3	ND	6014

濁度管理値: 5.0以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

## ★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定日	測定項目	浮遊物質量 (SS)※ (mg/L)
2018/8/28 ~2018/9/12		12

SS基準: 60mg/L

※期間中の最大値を示す。

## ■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2018/7/11 (稼働前)		ND	ND
2018/7/24 ~2018/9/11 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

## ★粉じん濃度

測定地点	2018/7/24 ~2018/9/12 粉じん濃度※ (mg/m <sup>3</sup> )
貯蔵エリア	0.2
浸出水調整設備	0.2
浸出水処理設備	0.2

定量下限値: 0.1mg/m<sup>3</sup>、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m<sup>3</sup>

※期間中の最大値を示す。

## ★空間線量率(作業環境)

測定地点	2018/7/26 ~2018/9/17 空間線量率 (μSv/h)	
	最小値	最大値
貯蔵エリア	0.32	0.52
浸出水調整設備	0.14	0.41
浸出水処理設備	0.15	0.47

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	2018/7/26 ~2018/9/17 放射能濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )
貯蔵エリア	ND
浸出水調整設備	ND
浸出水処理設備	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 5.0×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>、セシウム137: 5.0×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度: セシウム134の濃度/2×10<sup>-3</sup>+セシウム137の濃度/3×10<sup>-3</sup> ≤ 1

## 表面汚染密度(★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点	2018/7/25 ~2018/9/18 表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> )		
	①	②	
貯蔵施設境界	①	ND	
	②	ND	
	③	ND	
	④	ND	
浸出水処理設備	設備	汚泥脱水機	ND
貯蔵エリア	重機	バックホウ①	ND
		ローラー①	ND
		ブルドーザー①	ND
		バックホウ②	ND
		ブルドーザー②	ND
		バックホウ③	ND

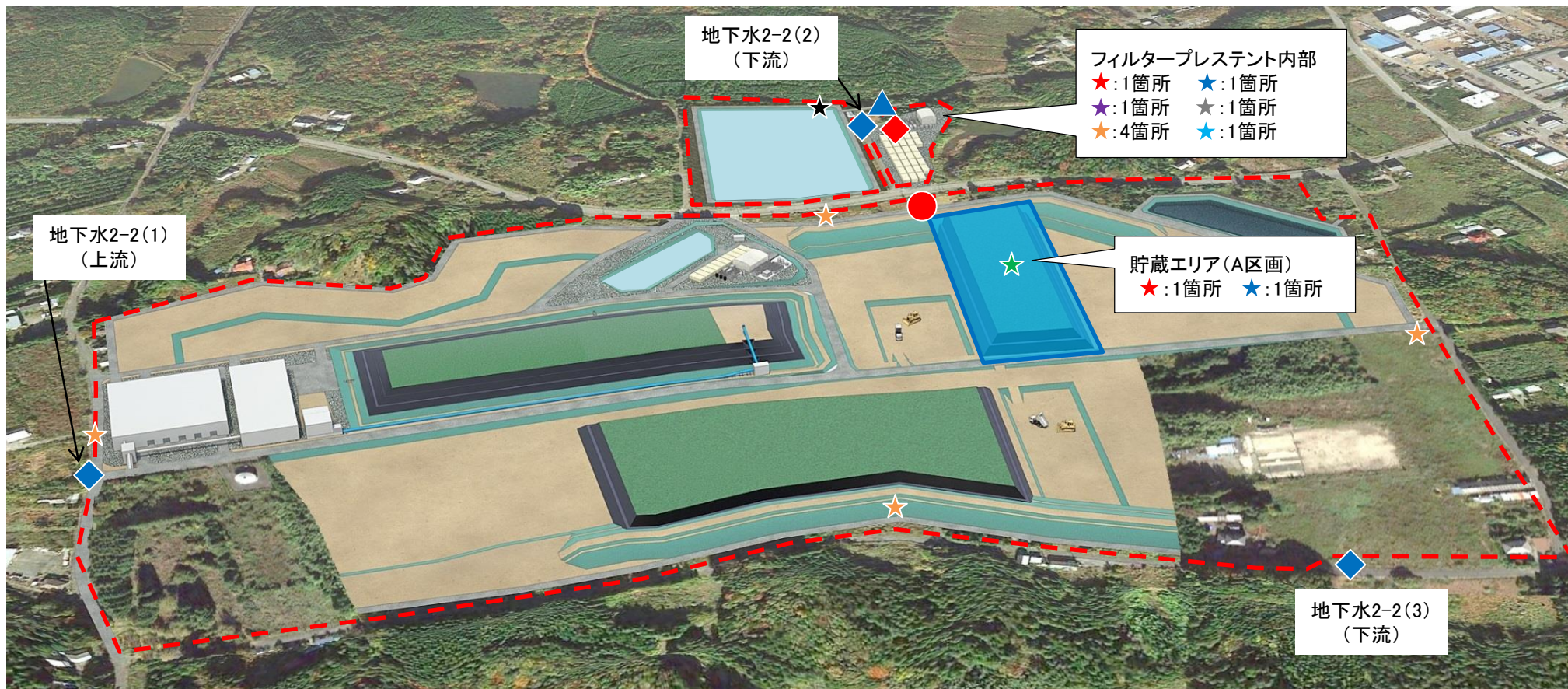
表面汚染密度検出下限値: 0.40Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm<sup>2</sup>



# 土壤貯蔵施設(2期大熊②工区)のモニタリング測定地点(月次測定等)①

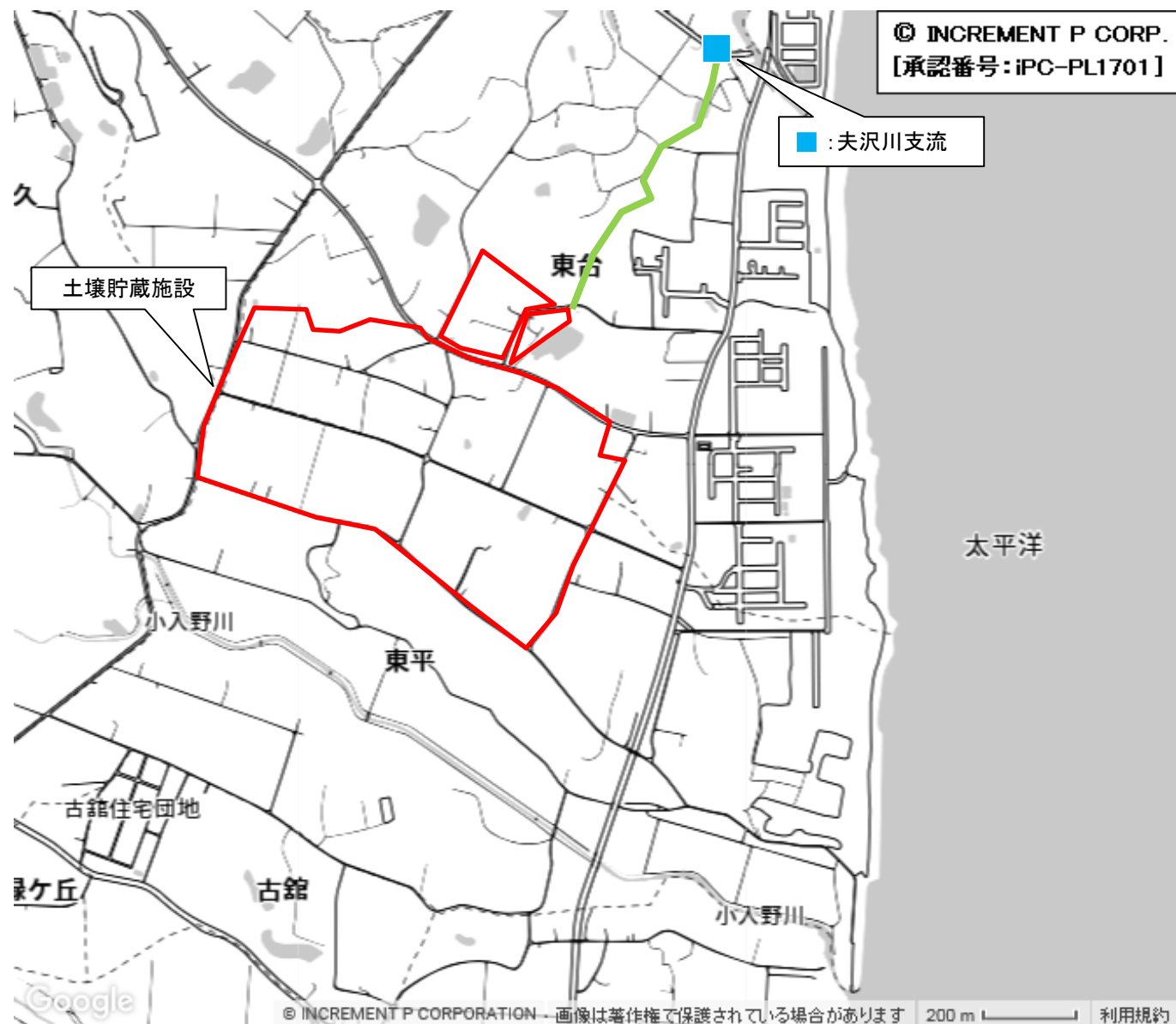


■ (次頁参照)

## 凡例

- |                           |                       |                           |
|---------------------------|-----------------------|---------------------------|
| ◆ : 地下水(井戸)中の電気伝導率等、放射能濃度 | ● : 地下水(集排水設備)中の放射能濃度 | ◆ : 浸出水処理施設放流水の環境項目、放射能濃度 |
| ▲ : 浸出水処理施設放流水            | ★ : 沈砂池からの放流水の浮遊物質量   | ■ : 放流先河川の放射能濃度           |
| ★ : 粉じん濃度                 | ★ : 空間線量率(作業環境)       | ★ : 空気中の放射能濃度             |
| ★ : 表面汚染密度(床)             | ★ : 表面汚染密度(貯蔵施設境界・壁)  | ★ : 表面汚染密度(設備)            |
| ★ : 表面汚染密度(重機)            | ---                   | ---                       |
|                           | ---                   | ---                       |

# 土壤貯蔵施設(2期大熊②工区)のモニタリング測定地点(月次測定等)②



凡例	
■ : 河川水観測地点	— : 沈砂池・浸出水処理施設の放流水の流路



# 土壌貯蔵施設(2期大熊②工区)のモニタリング測定結果(月次測定等)

## ◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目	上流2(1)		下流2(2)		下流2(3)	
		電気伝導率(mS/m)	塩化物イオン濃度(mg/L)	電気伝導率(mS/m)	塩化物イオン濃度(mg/L)	電気伝導率(mS/m)	塩化物イオン濃度(mg/L)
2018/7/10,11 ~2018/9/6	(稼働前)	13	13	23	13	17	5.7
2018/7/20 ~2018/9/6	(稼働後)※	13	14	22	20	20	8.6

※期間中の最大値を示す。

## ◆地下水(井戸)中の放射能濃度(週次測定)

測定地点	測定項目	上流2(1)		下流2(2)		下流2(3)	
		Cs-134(Bq/L)	Cs-137(Bq/L)	Cs-134(Bq/L)	Cs-137(Bq/L)	Cs-134(Bq/L)	Cs-137(Bq/L)
2018/7/10,11 ~2018/9/27	(稼働前)	ND	ND	ND	ND	ND	ND
2018/7/20 ~2018/9/27	(稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≤1

## ●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度(Bq/L)
2018/7/5 ~2018/9/18	(稼働前)	ND
2018/7/23 ~2018/9/18	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≤1

## ◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度(pH)		生物化学的酸素要求量(BOD)	化学的酸素要求量(COD)	浮遊物質(SS)
		最小値	最大値	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
2018/8/3 ~2018/9/6		7.5	8.2	ND	2.3~5.1	1

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

## ◆浸出水処理施設放流水の放射能濃度(週次測定)

測定日	測定項目	Cs-134(Bq/L)	Cs-137(Bq/L)
2018/8/3		ND	1.0
2018/8/9		ND	ND
2018/8/17		ND	2.3
2018/8/23		ND	2.5
2018/8/30		ND	1.6
2018/9/6		ND	1.0
2018/9/13		ND	1.1
2018/9/20		ND	1.8
2018/9/27		ND	3.3

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≤1

## ▲浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム(Bq/L)	放流量(m <sup>3</sup> )
		最小値	最大値		
2018/8/8 ~2018/9/29	121	0.0	4.4	ND	3532

濁度管理値: 5.0以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(5.85Bq/L)未満であることを示す。

## ★沈砂池からの放流水の浮遊物質

測定日	測定項目	浮遊物質(SS)(mg/L)
2018/9/18		31

SS基準: 60mg/L

## ■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134(Bq/L)	Cs-137(Bq/L)
2018/7/10 ~2018/9/6	(稼働前)	ND	5.0
2018/7/20 ~2018/9/6	(稼働後)	1.4	12
2018/8/2 ~2018/9/6	(稼働後)	ND	10
2018/9/6 ~2018/9/6	(稼働後)	1.3	9.0

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≤1

## ★粉じん濃度

測定地点	2018/7/20 ~2018/9/7	
	粉じん濃度※(mg/m <sup>3</sup> )	
貯蔵エリア(A区画)	0.4	
フィルタープレセント	0.2	

定量下限値: 0.1mg/m<sup>3</sup>, 高濃度粉じんの下限値: 10mg/m<sup>3</sup>

※期間中の最大値を示す。

## ★空間線量率(作業環境)

測定地点	2018/7/20 ~2018/9/14	
	空間線量率(μSv/h)	
	最小値	最大値
貯蔵エリア(A区画)	0.56	0.60
フィルタープレセント	0.86	1.15

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	2018/7/20 ~2018/9/14	
	放射能濃度(Bq/cm <sup>3</sup> )	
フィルタープレセント	ND	

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 5.0×10<sup>-2</sup>Bq/cm<sup>3</sup>, セシウム137: 5.0×10<sup>-2</sup>Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度: セシウム134の濃度/2×10<sup>-3</sup>+セシウム137の濃度/3×10<sup>-3</sup>≤1

## 表面汚染密度(★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

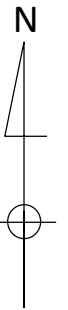
測定地点	2018/7/20 ~2018/9/14		
	表面汚染密度(Bq/cm <sup>2</sup> )		
貯蔵施設境界	境界①	ND	
	境界②	ND	
	境界③	ND	
	境界④	ND	
フィルタープレセント	床	①	ND
		②	ND
	壁	③	ND
		④	ND
貯蔵エリア(A区画)	重機	バックホウ-A	ND
		ローラー-A	ND
		ブルドーザー-A	ND

表面汚染密度検出下限値: 0.14Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm<sup>2</sup>

# 土壌貯蔵施設(2期双葉①工区)のモニタリング測定地点(月次測定等)



## 凡例

- |                           |                       |                           |
|---------------------------|-----------------------|---------------------------|
| ◆ : 地下水(井戸)中の電気伝導率等、放射能濃度 | ● : 地下水(集排水設備)中の放射能濃度 | ◆ : 浸出水処理施設放流水の環境項目、放射能濃度 |
| ▲ : 浸出水処理施設放流水            | ★ : 沈砂池からの放流水の浮遊物質    | ■ : 放流先河川の放射能濃度           |
| ★ : 粉じん濃度                 | ★ : 空間線量率(作業環境)       | ★ : 空気中の放射能濃度             |
| ★ : 表面汚染密度(床、ベルトコンベア直下)   | ★ : 表面汚染密度(貯蔵施設境界・壁)  | ★ : 表面汚染密度(設備、ベルトコンベア)    |
| ★ : 表面汚染密度(重機)            | --- : 敷地境界線           |                           |



# 土壌貯蔵施設(2期双葉①工区)のモニタリング測定結果(月次測定等)

## ◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定日	測定地点	上流		下流	
		測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)
2018/9/10	(稼働前)	100	6.8	19	11
2018/9/19	(稼働後)	97	6.2	19	10

## ◆地下水(井戸)中の放射能濃度(週次測定)

測定日	測定地点	上流		下流	
		測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)
2018/9/10	(稼働前)	ND	ND	ND	ND
2018/9/19 ~2018/9/26	(稼働後)	ND	ND	ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

## ●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2018/9/10	(稼働前)	ND
2018/9/28	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

## ◆浸出水処理施設放流水の環境項目

期間中の排水実績なし。

## ◆浸出水処理施設放流水の放射能濃度(週次測定)

期間中の排水実績なし。

## ▲浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2018/9/25 ~2018/9/27	15	0.0	4.0	ND	609

濁度管理値: 5.0以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値 (6.5Bq/L) 未満であることを示す。

## ★沈砂池からの放流水の浮遊物質

測定日	測定項目	浮遊物質 (SS) (mg/L)
2018/9/19		1

SS基準: 60mg/L

## ■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2018/9/3	(稼働前)	ND	ND
2018/9/19	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

## ★粉じん濃度

期間中の測定実績なし。

## ★空間線量率(作業環境)

測定地点	2018/9/29
	空間線量率 (μSv/h)
ダンブアップテント	0.57
フィルタープレステント	0.30
貯蔵エリア	0.33

## ★空気中の放射能濃度

期間中の測定実績なし。

## 表面汚染密度(★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		2018/9/25 表面汚染密度 (Bq/cm²)
ダンブアップテント	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
	北側(壁)	ND
	設備	ND
フィルタープレステント	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	0.72
	北側(壁)	ND
	設備	ND
貯蔵エリア	床(ベルトコンベア直下)	ND
	境界(東側)	ND
	境界(西側)	ND
	境界(南側)	ND
	境界(北側)	ND
	設備(ベルトコンベア)	ND
重機	0.70	

表面汚染密度検出下限値: 0.68Bq/cm²

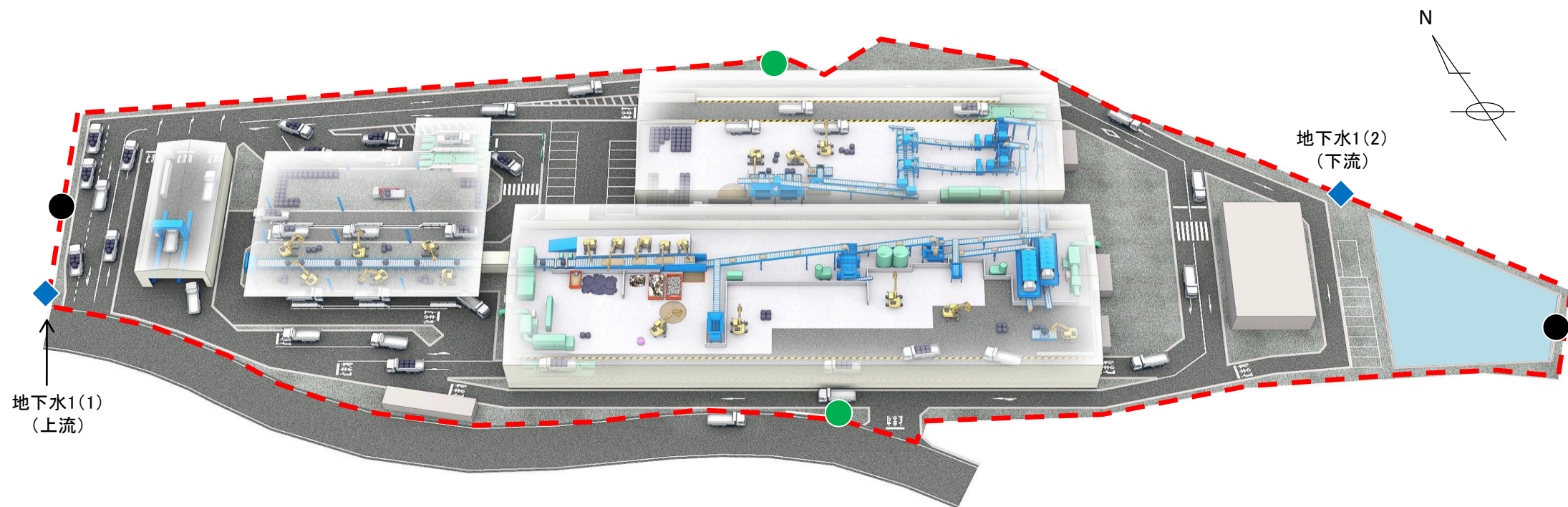
NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

土壌貯蔵施設は9月18日から稼働したが、その後彼岸休止のため稼働日数が少なかったことから9月は測定していない項目がある。これらの項目は10月から測定を開始しており、次回以降報告する。

## 受入・分別施設のモニタリング結果（年次測定）

# 受入・分別施設(1期大熊②工区)のモニタリング測定地点(年次測定)



## 凡例

● : 騒音・振動

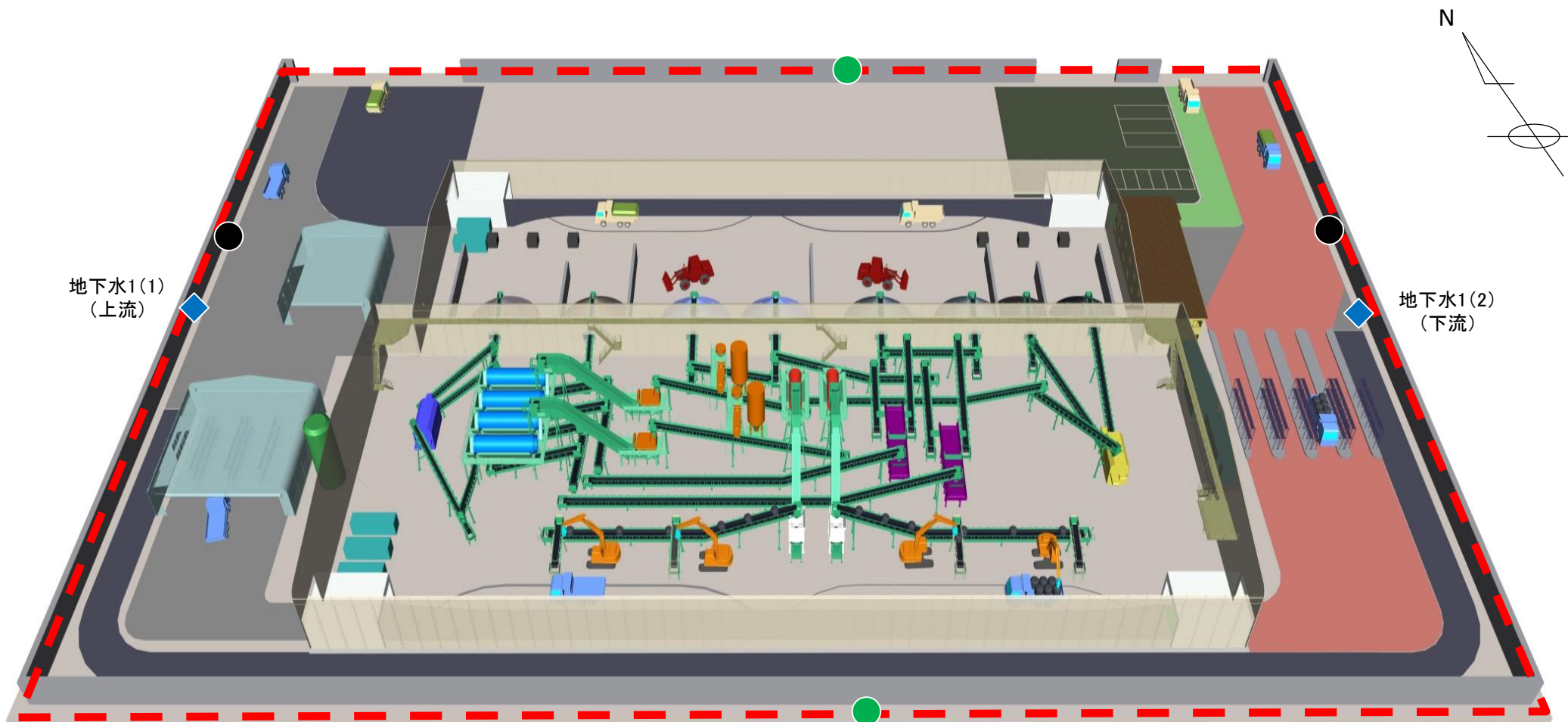
● : 悪臭

◆ : 地下水検査項目

--- : 敷地境界線

年次測定項目については、中間貯蔵施設環境安全委員会(第10回)でモニタリング結果を報告して以降、測定は実施していない。

# 受入・分別施設(1期双葉①工区)のモニタリング測定地点(年次測定)



## 凡例

● : 騒音・振動

● : 悪臭

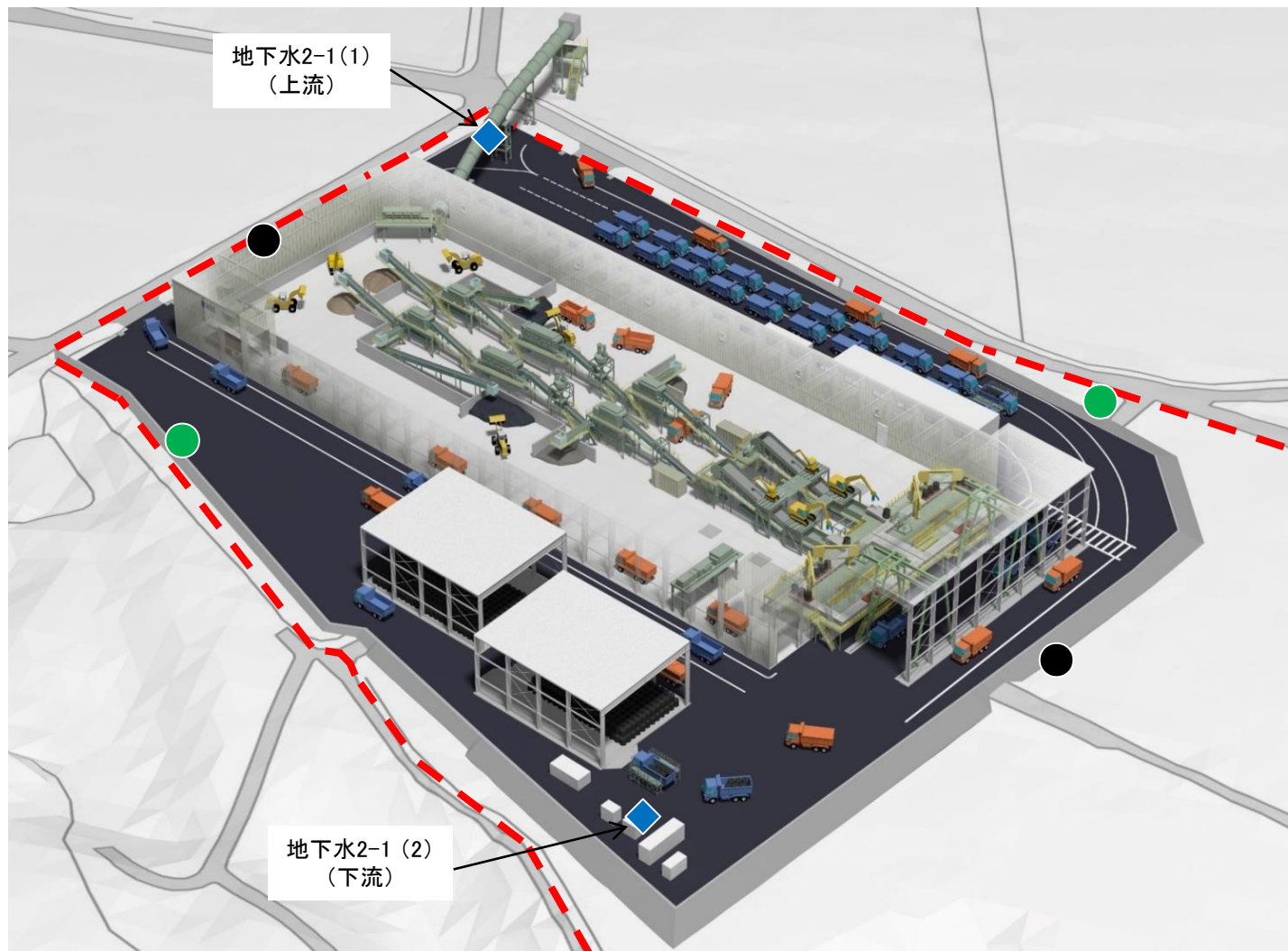
◆ : 地下水検査項目

--- : 敷地境界線

年次測定項目等については、中間貯蔵施設環境安全委員会(第11回)でモニタリング結果を報告して以降、測定は実施していない。



# 受入・分別施設(2期大熊①工区)のモニタリング測定地点(年次測定)



凡例

● : 騒音・振動

● : 悪臭

◆ : 地下水検査項目

--- : 敷地境界線

# 受入・分別施設(2期大熊①工区)のモニタリング測定結果(年次測定)

## ●騒音

測定日	測定地点	騒音レベル (dB)	
		北側	南側
2018/7/10	(稼働前)	54	56
2018/8/31	(稼働後)	66	57

大熊町と双葉町は、騒音規制法に基づく指定地域を有する市町村に該当しない。  
福島県生活環境の保全等に関する条例に基づく基準：60dB（昼間7:00～19:00）

## ●振動

測定日	測定地点	振動レベル (dB)	
		北側	南側
2018/7/10	(稼働前)	31	30未満
2018/8/31	(稼働後)	34	37

大熊町と双葉町は、振動規制法に基づく指定地域を有する市町村に該当しない。  
福島県振動防止対策指針に基づく基準：65dB（昼間7:00～19:00）

## ●悪臭

測定日	測定地点	臭気指数	
		西側	東側
2018/7/10	(稼働前)	11 (風上)	14 (風下)
2018/8/30	(稼働後)	10未満 (風上)	10未満 (風下)

事業用地は悪臭防止法に基づく規制の対象地域ではない。  
福島県悪臭防止対策指針による臭気指数の限度：15

## ◆地下水検査項目

測定地点	測定日	測定項目	アルキル水銀	総水銀	ガドリウム	鉛	六価クロム
			(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
		地下水環境基準	検出されないこと	0.0005以下	0.003以下	0.01以下	0.05以下
上流	2018/7/10	(稼働前)	不検出	ND	0.0019	0.120	ND
	2018/8/30	(稼働後)	不検出	ND	ND	0.006	ND
下流	2018/7/10	(稼働前)	不検出	ND	0.0003	0.025	ND
	2018/8/30	(稼働後)	不検出	ND	ND	0.007	ND

測定地点	測定日	測定項目	砒素	全シアン	PCB	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン
			(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
		地下水環境基準	0.01以下	検出されないこと	検出されないこと	0.01以下	0.01以下
上流	2018/7/10	(稼働前)	0.030	不検出	不検出	ND	ND
	2018/8/30	(稼働後)	0.002	不検出	不検出	ND	ND
下流	2018/7/10	(稼働前)	0.003	不検出	不検出	ND	ND
	2018/8/30	(稼働後)	ND	不検出	不検出	ND	ND

測定地点	測定日	測定項目	ジクロロメタン	四塩化炭素	1,2-ジクロロエタン	1,1-ジクロロエチレン	1,2-ジクロロエチレン
			(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
		地下水環境基準	0.02以下	0.002以下	0.004以下	0.1以下	0.04以下
上流	2018/7/10	(稼働前)	ND	ND	ND	ND	ND
	2018/8/30	(稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND
下流	2018/7/10	(稼働前)	ND	ND	ND	ND	ND
	2018/8/30	(稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

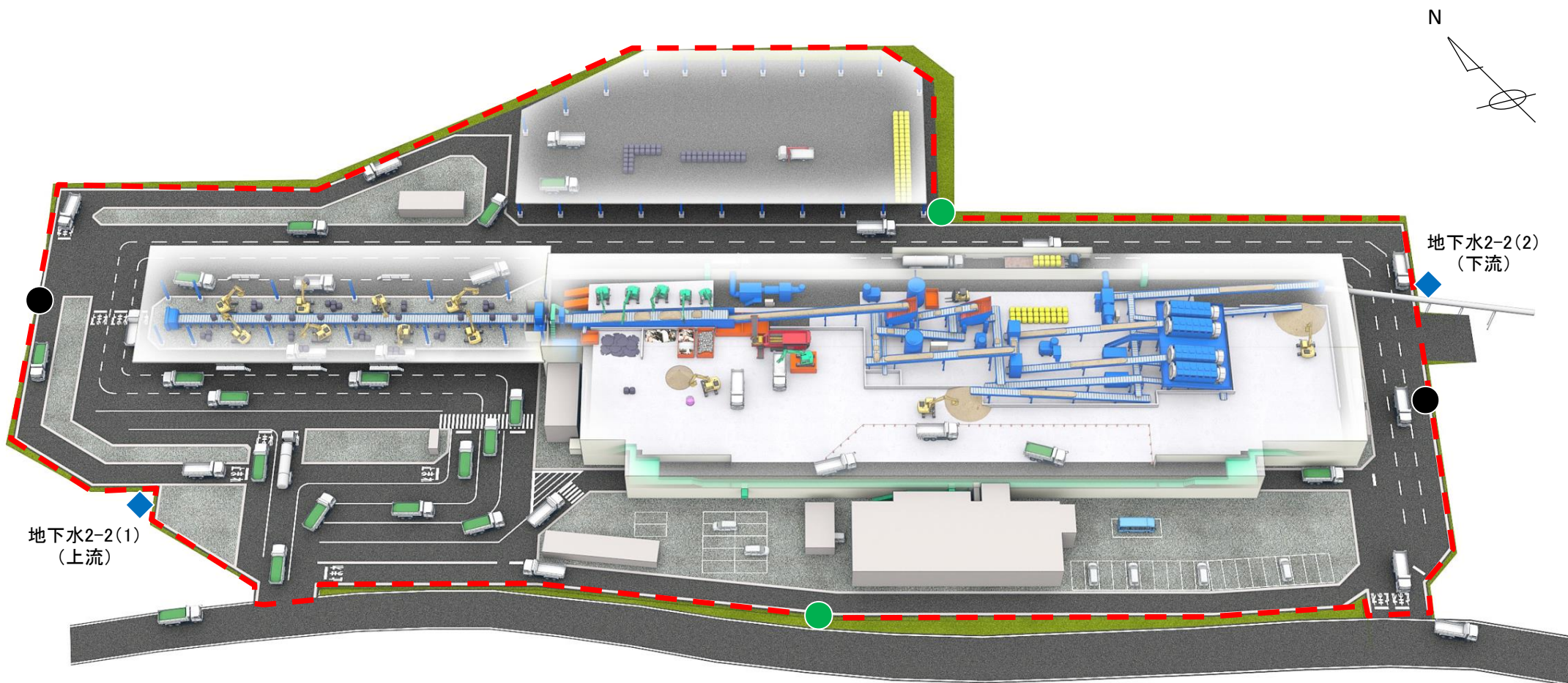
測定地点	測定日	測定項目	1,1,1-トリクロロエタン	1,1,2-トリクロロエタン	1,3-ジクロロプロペン	チウラム	シマジン
			(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
		地下水環境基準	1以下	0.006以下	0.002以下	0.006以下	0.003以下
上流	2018/7/10	(稼働前)	ND	ND	ND	ND	ND
	2018/8/30	(稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND
下流	2018/7/10	(稼働前)	ND	ND	ND	ND	ND
	2018/8/30	(稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定日	測定項目	チオベンカルブ	ベンゼン	セレン	1,4-ジオキサソ	クロロエチレン
			(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
		地下水環境基準	0.02以下	0.01以下	0.01以下	0.05以下	0.002以下
上流	2018/7/10	(稼働前)	ND	ND	ND	ND	ND
	2018/8/30	(稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND
下流	2018/7/10	(稼働前)	ND	ND	ND	ND	ND
	2018/8/30	(稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定日	測定項目	ダイオキシン類
			(pg-TEQ/L)
		地下水環境基準	1以下
上流	2018/7/10	(稼働前)	23
	2018/8/30	(稼働後)	0.18
下流	2018/7/10	(稼働前)	2.7
	2018/8/30	(稼働後)	0.14

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

# 受入・分別施設(2期大熊②工区)のモニタリング測定地点(年次測定)



## 凡例

● : 騒音・振動

● : 悪臭

◆ : 地下水検査項目

--- : 敷地境界線



# 受入・分別施設(2期大熊②工区)のモニタリング測定結果(年次測定)

## ●騒音

測定日	測定地点	騒音レベル (dB)	
		北側	南側
2018/6/13	(稼働前)	62	59
2018/8/3	(稼働後)	62	69

大熊町と双葉町は、騒音規制法に基づく指定地域を有する市町村に該当しない。  
福島県生活環境の保全等に関する条例に基づく基準：60dB（昼間7:00～19:00）

## ●振動

測定日	測定地点	振動レベル (dB)	
		北側	南側
2018/6/13	(稼働前)	52	40
2018/8/3	(稼働後)	47	48

大熊町と双葉町は、振動規制法に基づく指定地域を有する市町村に該当しない。  
福島県振動防止対策指針に基づく基準：65dB（昼間7:00～19:00）

## ●悪臭

測定日	測定地点	臭気指数	
		西側	東側
2018/6/13	(稼働前)	10未満（風下）	10未満（風上）
2018/8/3	(稼働後)	10未満（風下）	10未満（風上）

事業用地は悪臭防止法に基づく規制の対象地域ではない。  
福島県悪臭防止対策指針による臭気指数の限度：15

## ◆地下水検査項目

測定地点	測定日	測定項目	アルキル水銀	総水銀	カドミウム	鉛	六価クロム
			(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
		地下水環境基準	検出されないこと	0.0005以下	0.003以下	0.01以下	0.05以下
上流	2018/6/13	(稼働前)	不検出	ND	ND	ND	ND
	2018/8/2	(稼働後)	不検出	ND	ND	ND	ND
下流	2018/6/13	(稼働前)	不検出	ND	ND	ND	ND
	2018/8/2	(稼働後)	不検出	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定日	測定項目	砒素	全シアン	PCB	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン
			(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
		地下水環境基準	0.01以下	検出されないこと	検出されないこと	0.01以下	0.01以下
上流	2018/6/13	(稼働前)	ND	不検出	不検出	ND	ND
	2018/8/2	(稼働後)	ND	不検出	不検出	ND	ND
下流	2018/6/13	(稼働前)	ND	不検出	不検出	ND	ND
	2018/8/2	(稼働後)	ND	不検出	不検出	ND	ND

測定地点	測定日	測定項目	ジクロロメタン	四塩化炭素	1,2-ジクロロエタン	1,1-ジクロロエチレン	1,2-ジクロロエチレン
			(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
		地下水環境基準	0.02以下	0.002以下	0.004以下	0.1以下	0.04以下
上流	2018/6/13	(稼働前)	ND	ND	ND	ND	ND
	2018/8/2	(稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND
下流	2018/6/13	(稼働前)	ND	ND	ND	ND	ND
	2018/8/2	(稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定日	測定項目	1,1,1-トリクロロエタン	1,1,2-トリクロロエタン	1,3-ジクロロプロペン	チウラム	シマジン
			(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
		地下水環境基準	1以下	0.006以下	0.002以下	0.006以下	0.003以下
上流	2018/6/13	(稼働前)	ND	ND	ND	ND	ND
	2018/8/2	(稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND
下流	2018/6/13	(稼働前)	ND	ND	ND	ND	ND
	2018/8/2	(稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

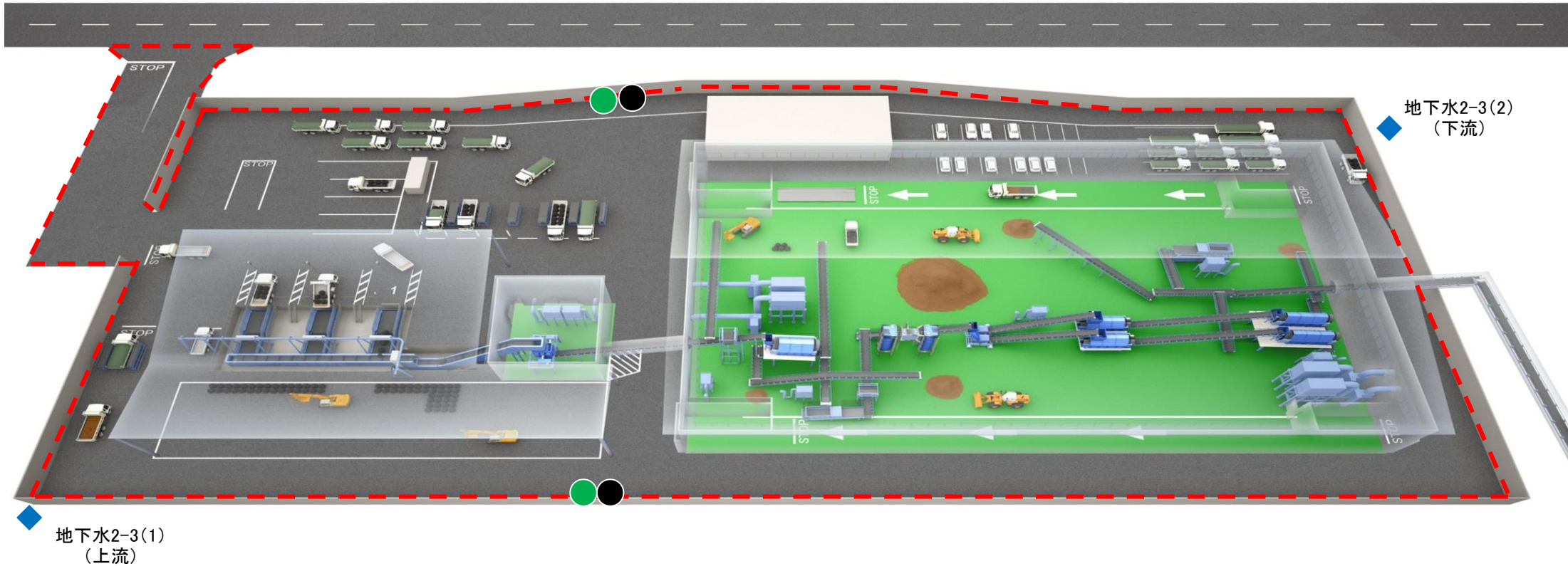
測定地点	測定日	測定項目	チオベンカルブ	ベンゼン	セレン	1,4-ジオキサン	クロロエチレン
			(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
		地下水環境基準	0.02以下	0.01以下	0.01以下	0.05以下	0.002以下
上流	2018/6/13	(稼働前)	ND	ND	ND	ND	ND
	2018/8/2	(稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND
下流	2018/6/13	(稼働前)	ND	ND	ND	ND	ND
	2018/8/2	(稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定日	測定項目	ダイオキシン類
			(pg-TEQ/L)
		地下水環境基準	1以下
上流	2018/6/13	(稼働前)	0.057
	2018/8/2	(稼働後)	0.058
下流	2018/6/13	(稼働前)	0.057
	2018/8/2	(稼働後)	0.057

NDとは、定量下限値未満であることを示す。



# 受入・分別施設(2期大熊③工区)のモニタリング測定地点(年次測定)



凡例			
●	: 騒音・振動	●	: 悪臭
◆	: 地下水検査項目	---	: 敷地境界線

# 受入・分別施設(2期大熊③工区)のモニタリング測定結果(年次測定)

## ●騒音

測定日	測定地点	騒音レベル (dB)	
		西側	東側
2018/7/6	(稼働前)	65	58
2018/8/6	(稼働後)	66	58

大熊町と双葉町は、騒音規制法に基づく指定地域を有する市町村に該当しない。  
福島県生活環境の保全等に関する条例に基づく基準：60dB（昼間7:00～19:00）

## ●振動

測定日	測定地点	振動レベル (dB)	
		西側	東側
2018/7/6	(稼働前)	30	30
2018/8/6	(稼働後)	42	31

大熊町と双葉町は、振動規制法に基づく指定地域を有する市町村に該当しない。  
福島県振動防止対策指針に基づく基準：65dB（昼間7:00～19:00）

## ●悪臭

測定日	測定地点	臭気指数	
		西側	東側
2018/7/6	(稼働前)	10 (風上)	10 (風下)
2018/8/6	(稼働後)	10 (風下)	10 (風上)

事業用地は悪臭防止法に基づく規制の対象地域ではない。  
福島県悪臭防止対策指針による臭気指数の限度：15

## ◆地下水検査項目

測定地点	測定日	測定項目	アルキル水銀	総水銀	カドミウム	鉛	六価クロム
			(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
		地下水環境基準	検出されないこと	0.0005以下	0.003以下	0.01以下	0.05以下
上流	2018/7/6	(稼働前)	不検出	ND	ND	ND	ND
	2018/8/6	(稼働後)	不検出	ND	ND	0.007	ND
下流	2018/7/6	(稼働前)	不検出	ND	ND	ND	ND
	2018/8/6	(稼働後)	不検出	ND	ND	0.013	ND

測定地点	測定日	測定項目	砒素	全シアン	PCB	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン
			(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
		地下水環境基準	0.01以下	検出されないこと	検出されないこと	0.01以下	0.01以下
上流	2018/7/6	(稼働前)	ND	不検出	不検出	ND	ND
	2018/8/6	(稼働後)	ND	不検出	不検出	ND	ND
下流	2018/7/6	(稼働前)	ND	不検出	不検出	ND	ND
	2018/8/6	(稼働後)	0.014	不検出	不検出	ND	ND

測定地点	測定日	測定項目	ジクロロメタン	四塩化炭素	1,2-ジクロロエタン	1,1-ジクロロエチレン	1,2-ジクロロエチレン
			(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
		地下水環境基準	0.02以下	0.002以下	0.004以下	0.1以下	0.04以下
上流	2018/7/6	(稼働前)	ND	ND	ND	ND	ND
	2018/8/6	(稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND
下流	2018/7/6	(稼働前)	ND	ND	ND	ND	ND
	2018/8/6	(稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

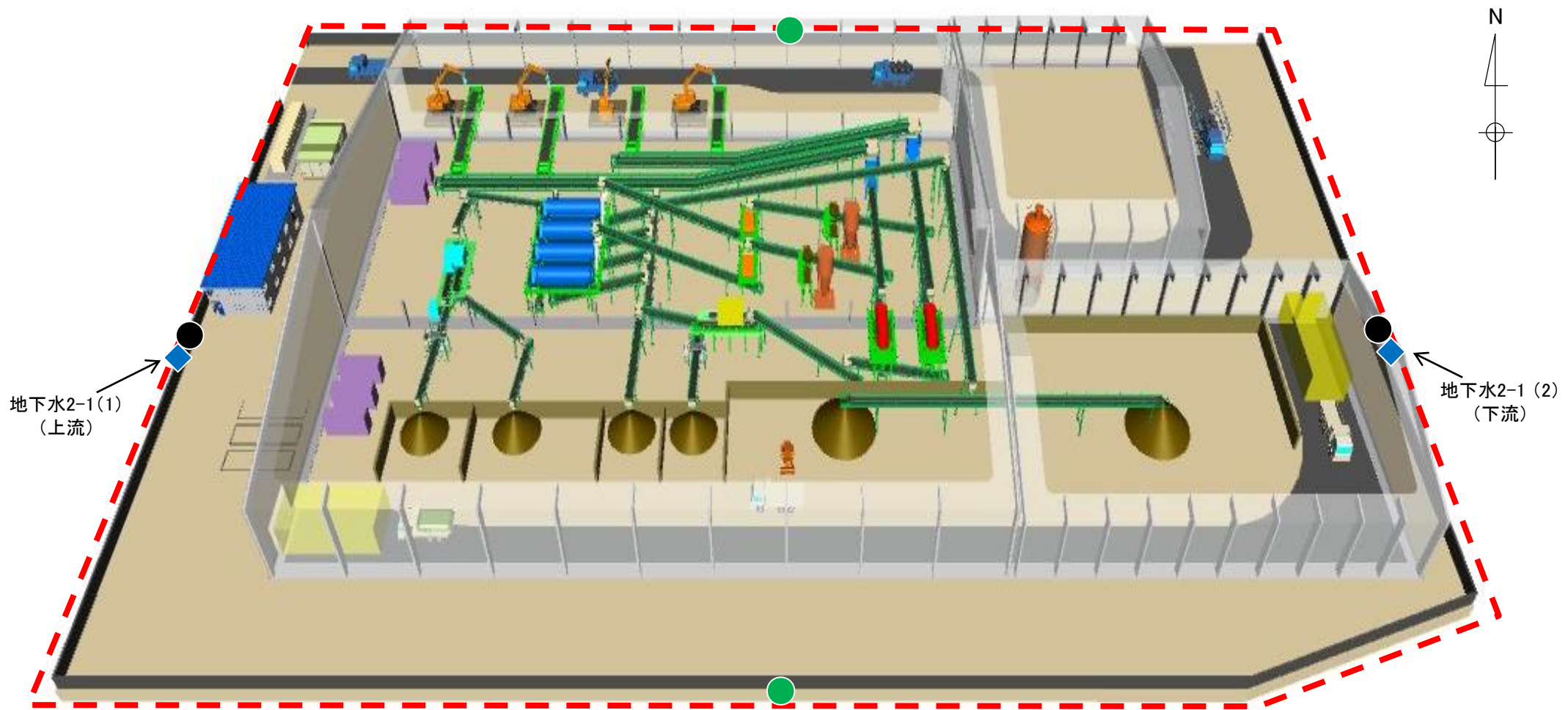
測定地点	測定日	測定項目	1,1,1-トリクロロエタン	1,1,2-トリクロロエタン	1,3-ジクロロプロペン	チウラム	シマジン
			(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
		地下水環境基準	1以下	0.006以下	0.002以下	0.006以下	0.003以下
上流	2018/7/6	(稼働前)	ND	ND	ND	ND	ND
	2018/8/6	(稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND
下流	2018/7/6	(稼働前)	ND	ND	ND	ND	ND
	2018/8/6	(稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定日	測定項目	チオベンカルブ	ベンゼン	セレン	1,4-ジオキサソ	クロロエチレン
			(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
		地下水環境基準	0.02以下	0.01以下	0.01以下	0.05以下	0.002以下
上流	2018/7/6	(稼働前)	ND	ND	ND	ND	ND
	2018/8/6	(稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND
下流	2018/7/6	(稼働前)	ND	ND	ND	ND	ND
	2018/8/6	(稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定日	測定項目	ダイオキシソ類
			(pg-TEQ/L)
		地下水環境基準	1以下
上流	2018/7/6	(稼働前)	0.003
	2018/8/6	(稼働後)	0.05
下流	2018/7/6	(稼働前)	0.00011
	2018/8/6	(稼働後)	0.14

NDとは、定量下限値未満であることを示す。  
鉛、砒素で地下水環境基準を超過した。

# 受入・分別施設(2期双葉①工区)のモニタリング測定地点(年次測定等)



## 凡例

- : 騒音・振動
- : 悪臭
- ◆ : 地下水検査項目
- : 敷地境界線

年次測定項目については稼働前のデータを記載している。稼働後は今後測定する。

# 受入・分別施設(2期双葉①工区)のモニタリング測定結果(稼働前)

## ●騒音

測定日	測定地点		騒音レベル (dB)	
	北側	南側	北側	南側
2018/7/29			50	53

大熊町と双葉町は、騒音規制法に基づく指定地域を有する市町村に該当しない。  
福島県生活環境の保全等に関する条例に基づく基準：60dB（昼間7:00～19:00）

## ●振動

測定日	測定地点		振動レベル (dB)	
	北側	南側	北側	南側
2018/7/29			30未満	30未満

大熊町と双葉町は、振動規制法に基づく指定地域を有する市町村に該当しない。  
福島県振動防止対策指針に基づく基準：65dB（昼間7:00～19:00）

## ●悪臭

測定日	測定地点		臭気指数	
	西側	東側	西側	東側
2018/7/29			10未満（風下）	10未満（風上）

事業用地は悪臭防止法に基づく規制の対象地域ではない。  
福島県悪臭防止対策指針による臭気指数の限度：15

## ◆地下水検査項目

測定地点	測定日	測定項目	アルキル水銀	総水銀	カドミウム	鉛	六価クロム
			(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
		地下水環境基準	検出されないこと	0.0005以下	0.003以下	0.01以下	0.05以下
上流	2018/9/3		不検出	ND	ND	ND	ND
下流	2018/9/3		不検出	ND	ND	0.001	ND

測定地点	測定日	測定項目	砒素	全シアン	PCB	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン
			(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
		地下水環境基準	0.01以下	検出されないこと	検出されないこと	0.01以下	0.01以下
上流	2018/9/3		0.001	不検出	不検出	ND	ND
下流	2018/9/3		0.012	不検出	不検出	ND	ND

測定地点	測定日	測定項目	ジクロロメタン	四塩化炭素	1,2-ジクロロエタン	1,1-ジクロロエチレン	1,2-ジクロロエチレン
			(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
		地下水環境基準	0.02以下	0.002以下	0.004以下	0.1以下	0.04以下
上流	2018/9/3		ND	ND	ND	ND	ND
下流	2018/9/3		ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定日	測定項目	1,1,1-トリクロロエタン	1,1,2-トリクロロエタン	1,3-ジクロロプロペン	チウラム	シマジン
			(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
		地下水環境基準	1以下	0.006以下	0.002以下	0.006以下	0.003以下
上流	2018/9/3		ND	ND	ND	ND	ND
下流	2018/9/3		ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定日	測定項目	チオベンカルブ	ベンゼン	セレン	1,4-ジオキサン	クロロエチレン
			(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
		地下水環境基準	0.02以下	0.01以下	0.01以下	0.05以下	0.002以下
上流	2018/9/3		ND	ND	ND	ND	ND
下流	2018/9/3		ND	ND	0.004	ND	ND

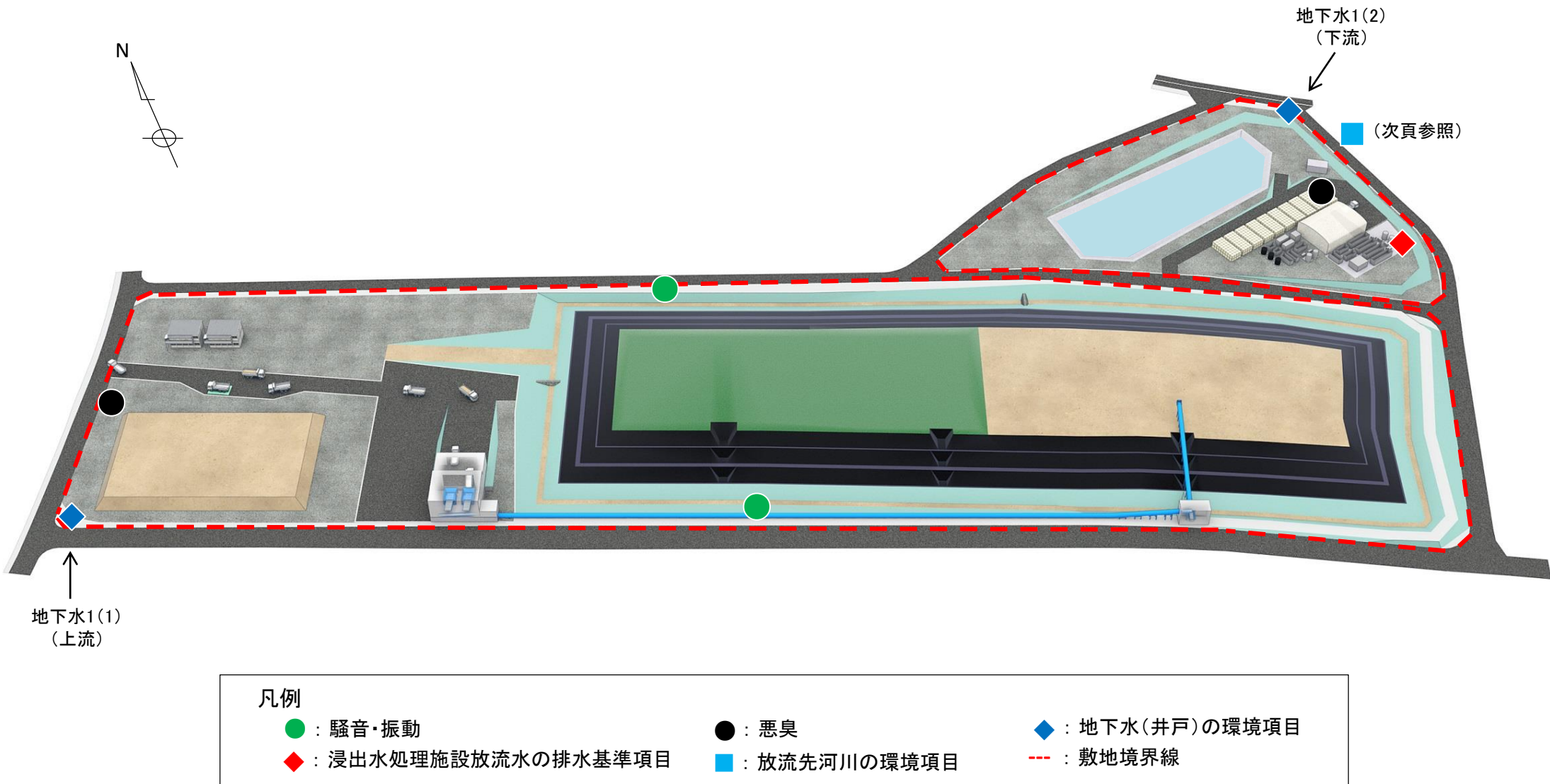
測定地点	測定日	測定項目	ダイオキシン類
			(pg-TEQ/L)
		地下水環境基準	1以下
上流	2018/9/3		0.7
下流	2018/9/3		1.9

NDとは、定量下限値未満であることを示す。  
砒素、ダイオキシン類で地下水環境基準を超過した。



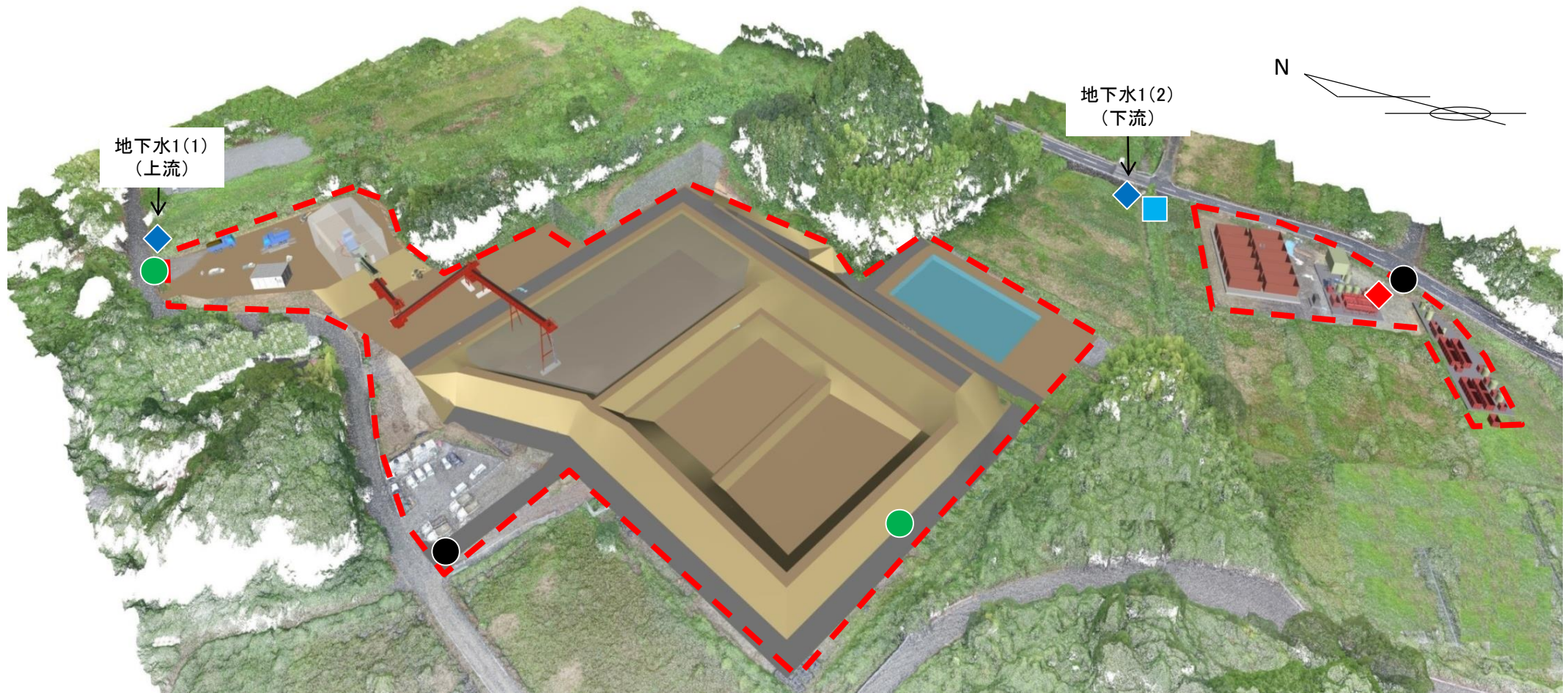
# 土壌貯蔵施設のモニタリング結果（年次測定）

# 土壤貯蔵施設(1期大熊②工区)のモニタリング測定地点(年次測定)



年次測定項目については、中間貯蔵施設環境安全委員会(第10回)でモニタリング結果を報告して以降、測定は実施していない。

# 土壤貯蔵施設(1期双葉①工区)のモニタリング測定地点(年次測定)

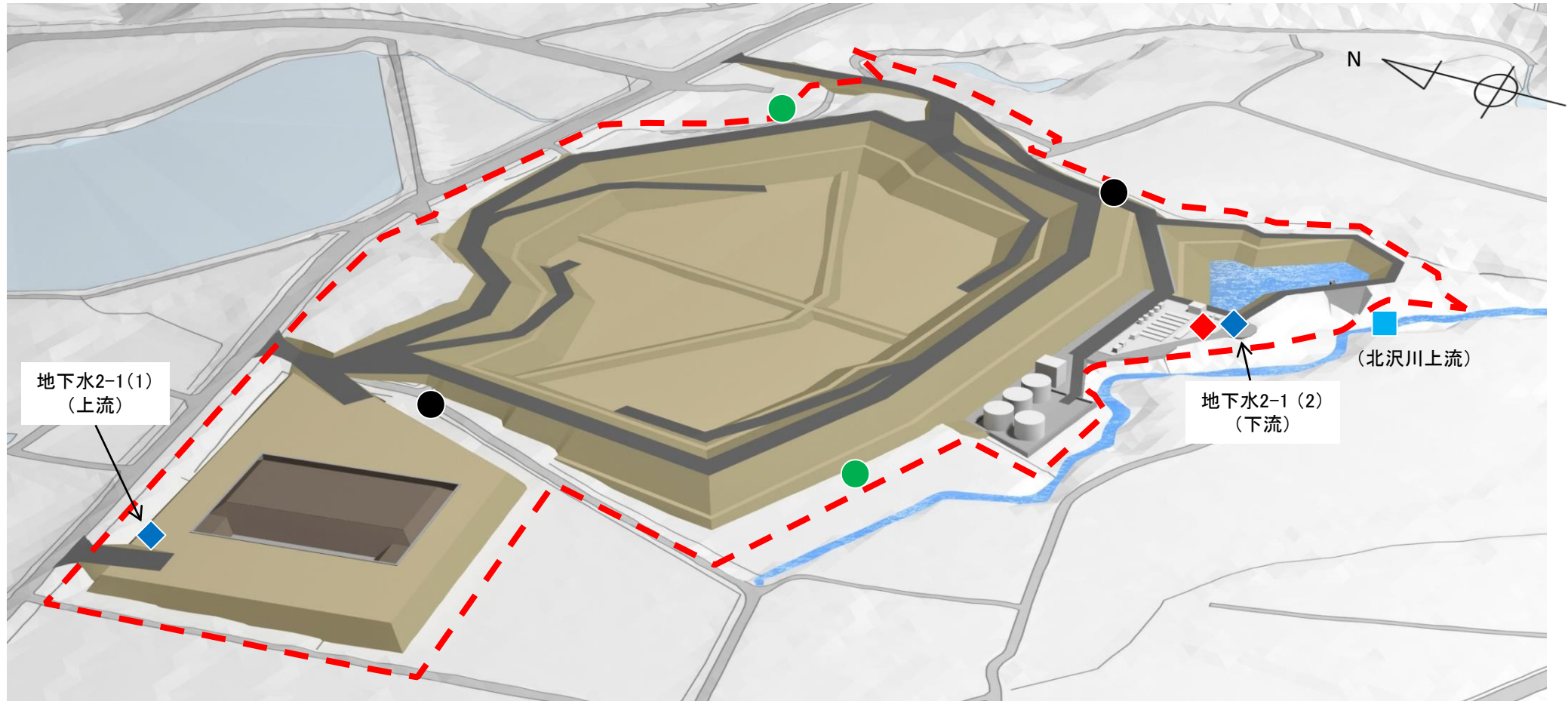


凡例					
● (緑)	: 騒音・振動	● (黒)	: 悪臭	◆ (青)	: 地下水(井戸)の環境項目
◆ (赤)	: 浸出水処理施設放流水の排水基準項目	■ (青)	: 放流先河川の環境項目	---	: 敷地境界線

年次測定項目については、中間貯蔵施設環境安全委員会(第10回)でモニタリング結果を報告して以降、測定は実施していない。



# 土壌貯蔵施設(2期大熊①工区)のモニタリング測定地点(年次測定等)



凡例		
● : 騒音・振動	● : 悪臭	◆ : 地下水(井戸)の環境項目
◆ : 浸出水処理施設放流水の排水基準項目	■ : 放流先河川の環境項目	- - - : 敷地境界線

年次測定項目については稼働前のデータを記載している。稼働後は今後測定する。



# 土壌貯蔵施設(2期大熊①工区)のモニタリング測定結果(稼働前)①

## ●騒音

測定日	測定地点		騒音レベル (dB)	
	北側	南側	北側	南側
2018/7/11			55	43

大熊町と双葉町は、騒音規制法に基づく指定地域を有する市町村に該当しない。  
福島県生活環境の保全等に関する条例に基づく基準：60dB（昼間7:00～19:00）

## ●振動

測定日	測定地点		振動レベル (dB)	
	北側	南側	北側	南側
2018/7/11			30未満	30未満

大熊町と双葉町は、振動規制法に基づく指定地域を有する市町村に該当しない。  
福島県振動防止対策指針に基づく基準：65dB（昼間7:00～19:00）

## ●悪臭

測定日	測定地点		臭気指数	
	西側	東側	西側	東側
2018/7/11			10未満（風上）	23（風下）
2018/7/27 ※			-	3（風下）

事業用地は悪臭防止法に基づく規制の対象地域ではない。  
福島県悪臭防止対策指針による臭気指数の限度：15  
※稼働（2018/7/19）後、東側の測定地点について再測定を実施。

## ◆地下水（井戸）の環境項目

測定地点	測定日	測定項目	アルキル水銀	総水銀	ガドリウム	鉛	六価クロム
			(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
		地下水環境基準	検出されないこと	0.0005以下	0.003以下	0.01以下	0.05以下
上流	2018/7/11		不検出	ND	0.0023	0.028	ND
下流	2018/7/11		不検出	ND	0.0037	0.120	ND

測定地点	測定日	測定項目	砒素	全シアン	PCB	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン
			(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
		地下水環境基準	0.01以下	検出されないこと	検出されないこと	0.01以下	0.01以下
上流	2018/7/11		0.014	不検出	不検出	ND	ND
下流	2018/7/11		0.027	不検出	不検出	ND	ND

測定地点	測定日	測定項目	ジクロロメタン	四塩化炭素	1,2-ジクロロエタン	1,1-ジクロロエチレン	1,2-ジクロロエチレン
			(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
		地下水環境基準	0.02以下	0.002以下	0.004以下	0.1以下	0.04以下
上流	2018/7/11		ND	ND	ND	ND	ND
下流	2018/7/11		ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定日	測定項目	1,1,1-トリクロロエタン	1,1,2-トリクロロエタン	1,3-ジクロロプロペン	チウラム	シマジン
			(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
		地下水環境基準	1以下	0.006以下	0.002以下	0.006以下	0.003以下
上流	2018/7/11		ND	ND	ND	ND	ND
下流	2018/7/11		ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定日	測定項目	チオベンカルブ	ベンゼン	セレン	1,4-ジオキサン	クロロエチレン
			(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
		地下水環境基準	0.02以下	0.01以下	0.01以下	0.05以下	0.002以下
上流	2018/7/11		ND	ND	ND	ND	ND
下流	2018/7/11		ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定日	測定項目	ダイオキシン類
			(pg-TEQ/L)
		地下水環境基準	1以下
上流	2018/7/11		0.75
下流	2018/7/11		17

NDとは、定量下限値未満であることを示す。  
ガドリウム、鉛、砒素、ダイオキシン類で地下水環境基準を超過した。

# 土壌貯蔵施設(2期大熊①工区)のモニタリング測定結果(稼働前)②

## ■放流先河川の環境項目

測定項目	カドミウム (mg/L)	全シアン (mg/L)	鉛 (mg/L)	六価クロム (mg/L)	砒素 (mg/L)
測定日					
水質環境基準	0.003	検出されないこと	0.01	0.05	0.01
2018/7/11	0.0015	不検出	ND	ND	ND

測定項目	総水銀 (mg/L)	アルキル水銀 (mg/L)	PCB (mg/L)	ジクロロメタン (mg/L)	四塩化炭素 (mg/L)
測定日					
水質環境基準	0.0005	検出されないこと	検出されないこと	0.02	0.002
2018/7/11	ND	不検出	不検出	ND	ND

測定項目	1,2-ジクロロエタン (mg/L)	1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	トリス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)
測定日					
水質環境基準	0.004	0.1	0.04	1	0.006
2018/7/11	ND	ND	ND	ND	ND

測定項目	トリクロロエチレン (mg/L)	テトラクロロエチレン (mg/L)	1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	チウラム (mg/L)	シマジン (mg/L)
測定日					
水質環境基準	0.01	0.01	0.002	0.006	0.003
2018/7/11	ND	ND	ND	ND	ND

測定項目	チオベンカルブ (mg/L)	ベンゼン (mg/L)	セレン (mg/L)	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/L)	フッ素 (mg/L)
測定日					
水質環境基準	0.02	0.01	0.01	10	0.8
2018/7/11	ND	ND	ND	ND	ND

測定項目	ホウ素 (mg/L)	1,4-ジオキサン (mg/L)
測定日		
水質環境基準	1	0.05
2018/7/11	ND	ND

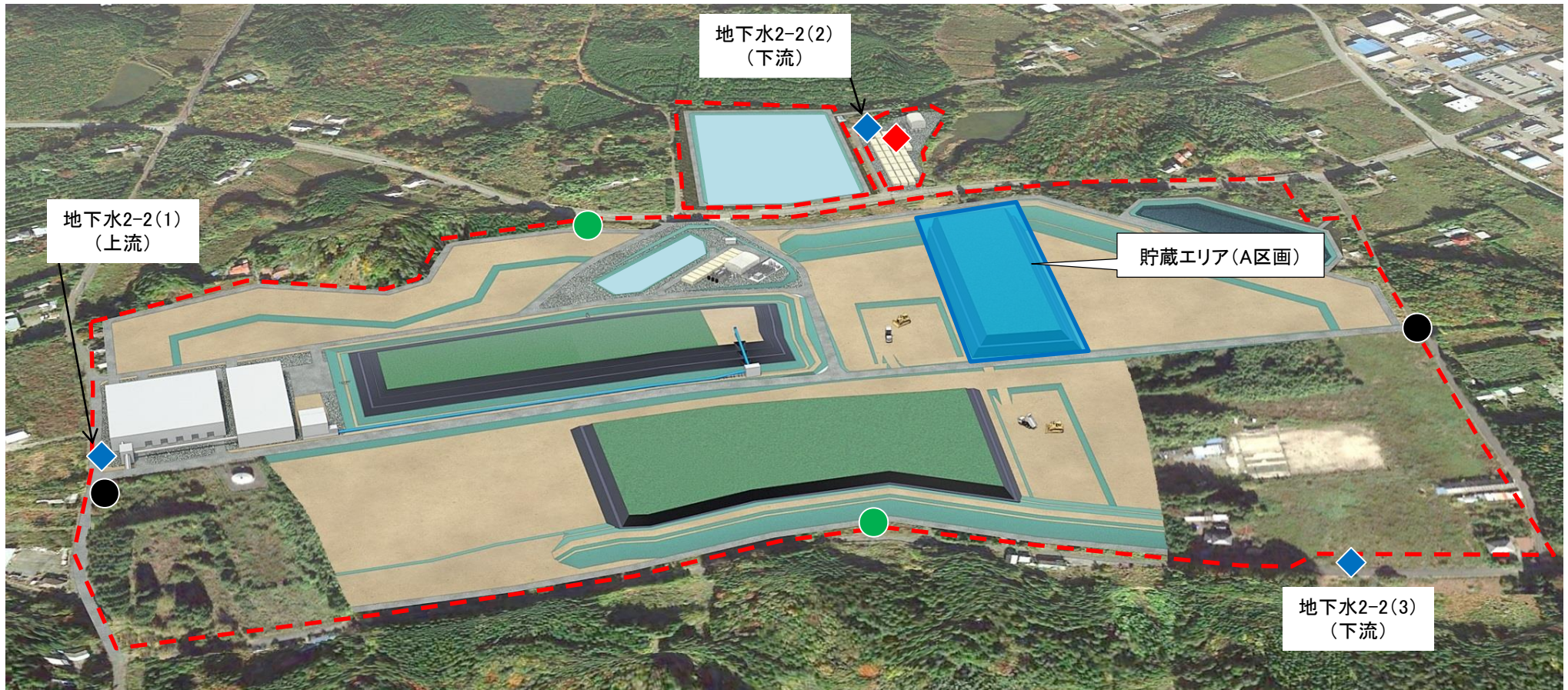
測定項目	水素イオン濃度 (pH) ※	生物化学的酸素要求量 (BOD) ※ (mg/L)	浮遊物質 (SS) ※ (mg/L)	溶存酸素量 (DO) ※ (mg/L)	大腸菌群数 ※ (MPN/100mL)
測定日					
2018/7/11	6.8	2.0	15	8.2	230000

※中間貯蔵施設区域及び周辺の河川は、環境基準の水域類型に指定されていない。

(参考) 河川C類型の環境基準：pH 6.5~8.5、BOD 5mg/L以下、SS 50mg/L以下、DO 5mg/L以上

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

# 土壌貯蔵施設(2期大熊②工区)のモニタリング測定地点(年次測定)①



■ (次頁参照)

## 凡例

● : 騒音・振動

◆ : 浸出水処理施設放流水の排水基準項目

● : 悪臭

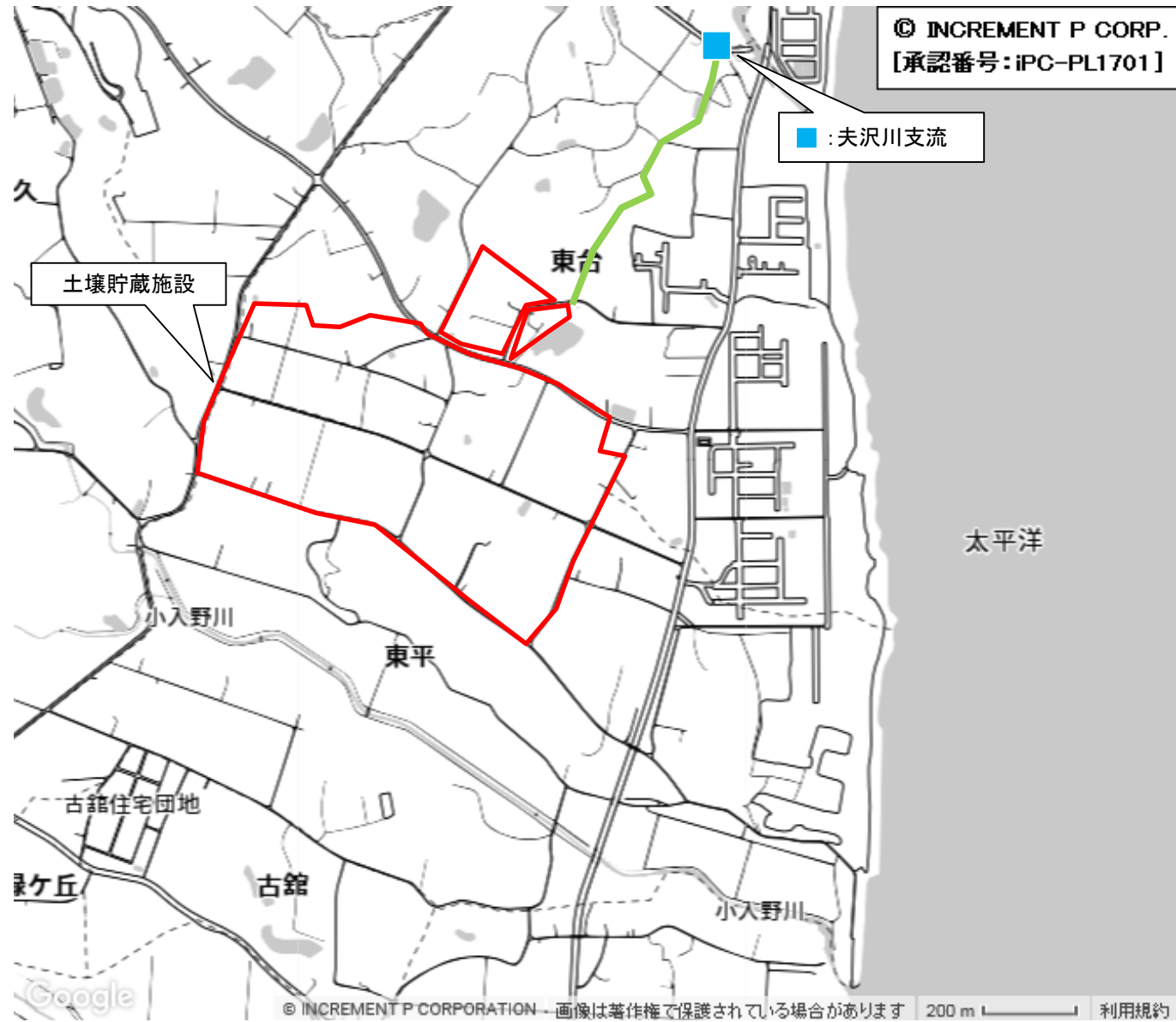
■ : 放流先河川的环境項目

◆ : 地下水(井戸)の環境項目

--- : 敷地境界線



# 土壌貯蔵施設(2期大熊②工区)のモニタリング測定地点(年次測定)②



凡例  
■ : 河川水観測地点      — : 沈砂池・浸出水処理施設の放流水の流路



# 土壌貯蔵施設(2期大熊②工区)のモニタリング測定結果(年次測定)①

## ●騒音

測定日	騒音レベル (dB)	
	北側	南側
2018/7/11 (稼働前)	58	56
2018/8/3 (稼働後)	58	62

大熊町と双葉町は、騒音規制法に基づく指定地域を有する市町村に該当しない。  
福島県生活環境の保全等に関する条例に基づく基準：60dB（昼間7:00～19:00）

## ●振動

測定日	振動レベル (dB)	
	北側	南側
2018/7/11 (稼働前)	36	39
2018/8/3 (稼働後)	37	43

大熊町と双葉町は、振動規制法に基づく指定地域を有する市町村に該当しない。  
福島県振動防止対策指針に基づく基準：65dB（昼間7:00～19:00）

## ●悪臭

測定日	臭気指数	
	西側	東側
2018/7/11 (稼働前)	10未満 (風上)	10未満 (風下)
2018/8/3 (稼働後)	10未満 (風下)	10未満 (風上)

事業用地は悪臭防止法に基づく規制の対象地域ではない。  
福島県悪臭防止対策指針による臭気指数の限度：15

## ◆地下水（井戸）の環境項目

測定地点	測定日	測定項目	アルキル水銀	総水銀	カドミウム	鉛	六価クロム
			(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
		地下水環境基準	検出されないこと	0.0005以下	0.003以下	0.01以下	0.05以下
上流2 (1)	2018/7/10 (稼働前)	不検出	ND	ND	ND	ND	ND
	2018/8/2 (稼働後)	不検出	ND	ND	ND	ND	ND
下流2 (2)	2018/7/11 (稼働前)	不検出	ND	ND	ND	ND	ND
	2018/8/2 (稼働後)	不検出	ND	ND	ND	ND	ND
下流2 (3)	2018/7/10 (稼働前)	不検出	ND	ND	ND	ND	ND
	2018/8/2 (稼働後)	不検出	ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定日	測定項目	砒素	全シアン	PCB	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン
			(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
		地下水環境基準	0.01以下	検出されないこと	検出されないこと	0.01以下	0.01以下
上流2 (1)	2018/7/10 (稼働前)	ND	ND	不検出	不検出	ND	ND
	2018/8/2 (稼働後)	ND	ND	不検出	不検出	ND	ND
下流2 (2)	2018/7/11 (稼働前)	ND	ND	不検出	不検出	ND	ND
	2018/8/2 (稼働後)	ND	ND	不検出	不検出	ND	ND
下流2 (3)	2018/7/10 (稼働前)	ND	ND	不検出	不検出	ND	ND
	2018/8/2 (稼働後)	ND	ND	不検出	不検出	ND	ND

測定地点	測定日	測定項目	ジクロロメタン	四塩化炭素	1,2-ジクロロエタン	1,1-ジクロロエチレン	1,2-ジクロロエチレン
			(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
		地下水環境基準	0.02以下	0.002以下	0.004以下	0.1以下	0.04以下
上流2 (1)	2018/7/10 (稼働前)	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	2018/8/2 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND	ND
下流2 (2)	2018/7/11 (稼働前)	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	2018/8/2 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND	ND
下流2 (3)	2018/7/10 (稼働前)	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	2018/8/2 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定日	測定項目	1,1,1-トリクロロエタン	1,1,2-トリクロロエタン	1,3-ジクロロプロペン	チウラム	シマジン
			(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
		地下水環境基準	1以下	0.006以下	0.002以下	0.006以下	0.003以下
上流2 (1)	2018/7/10 (稼働前)	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	2018/8/2 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND	ND
下流2 (2)	2018/7/11 (稼働前)	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	2018/8/2 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND	ND
下流2 (3)	2018/7/10 (稼働前)	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	2018/8/2 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定日	測定項目	チオベンカルブ	ベンゼン	セレン	1,4-ジオキサン	クロロエチレン
			(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
		地下水環境基準	0.02以下	0.01以下	0.01以下	0.05以下	0.002以下
上流2 (1)	2018/7/10 (稼働前)	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	2018/8/2 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND	ND
下流2 (2)	2018/7/11 (稼働前)	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	2018/8/2 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND	ND
下流2 (3)	2018/7/10 (稼働前)	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	2018/8/2 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定日	測定項目	ダイオキシン類
			(pg-TEQ/L)
		地下水環境基準	1以下
上流2 (1)	2018/7/10 (稼働前)	0.057	
	2018/8/2 (稼働後)	0.057	
下流2 (2)	2018/7/11 (稼働前)	0.130	
	2018/8/2 (稼働後)	0.140	
下流2 (3)	2018/7/10 (稼働前)	0.058	
	2018/8/2 (稼働後)	0.058	

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

# 土壌貯蔵施設(2期大熊②工区)のモニタリング測定結果(年次測定)②

## ◆ 浸出水処理施設放流水の排水基準項目

測定項目	アルキル水銀化合物 (mg/L)	水銀及びアルキル水銀その 他の水銀化合物 (mg/L)	カドミウム及びその化合物 (mg/L)	鉛及びその化合物 (mg/L)	有機燐化合物 (mg/L)
測定日					
浸出水処理施設の排水基準	検出されないこと	0.005	0.03	0.1	1
2018/8/3 (稼働後)	不検出	ND	ND	ND	ND

測定項目	六価クロム化合物 (mg/L)	砒素及びその化合物 (mg/L)	シアン化合物 (mg/L)	ポリ塩化ビフェニル (mg/L)	トリクロロエチレン (mg/L)
測定日					
浸出水処理施設の排水基準	0.5	0.1	1	0.003	0.1
2018/8/3 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

測定項目	テトラクロロエチレン (mg/L)	ジクロロメタン (mg/L)	四塩化炭素 (mg/L)	1,2-ジクロロエタン (mg/L)	1,1ジクロロエチレン (mg/L)
測定日					
浸出水処理施設の排水基準	0.1	0.2	0.02	0.04	1
2018/8/3 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

測定項目	メチルシクロヘキサン (mg/L)	1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	チウラム (mg/L)
測定日					
浸出水処理施設の排水基準	0.4	3	0.06	0.02	0.06
2018/8/3 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

測定項目	シマジン (mg/L)	チオベンカルブ (mg/L)	ベンゼン (mg/L)	セレン及びその化合物 (mg/L)	1,4-ジオキササン (mg/L)
測定日					
浸出水処理施設の排水基準	0.03	0.2	0.1	0.1	0.5
2018/8/3 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

測定項目	ほう素及びその化合物 (mg/L)	ふっ素及びその化合物 (mg/L)	アモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸 酸化合物及び硝酸化合物 (mg/L)	ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (鉱油類含有量) (mg/L)	ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (動植物油脂類含有量) (mg/L)
測定日					
浸出水処理施設の排水基準	50	15	200	5	30
2018/8/3 (稼働後)	0.03	0.6	1.2	ND	ND

測定項目	フェノール類含有量 (mg/L)	銅含有量 (mg/L)	亜鉛含有量 (mg/L)	溶解性鉄含有量 (mg/L)	溶解性マンガ含有量 (mg/L)
測定日					
浸出水処理施設の排水基準	5	3	2	10	10
2018/8/3 (稼働後)	ND	ND	0.03	ND	ND

測定項目	クロム含有量 (mg/L)	大腸菌群数 (個/cm <sup>3</sup> )	ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)
測定日			
浸出水処理施設の排水基準	2	3000	10
2018/8/3 (稼働後)	ND	6.0	0.00071

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

## ■ 放流先河川の環境項目

測定項目	カドミウム (mg/L)	全シアン (mg/L)	鉛 (mg/L)	六価クロム (mg/L)	砒素 (mg/L)
測定日					
水質環境基準	0.003	検出されないこと	0.01	0.05	0.01
2018/7/10 (稼働前)	ND	不検出	ND	ND	ND
2018/8/2 (稼働後)	ND	不検出	ND	ND	ND

測定項目	総水銀 (mg/L)	アルキル水銀 (mg/L)	PCB (mg/L)	ジクロロメタン (mg/L)	四塩化炭素 (mg/L)
測定日					
水質環境基準	0.0005	検出されないこと	検出されないこと	0.02	0.002
2018/7/10 (稼働前)	ND	不検出	不検出	ND	ND
2018/8/2 (稼働後)	ND	不検出	不検出	ND	ND

測定項目	1,2-ジクロロエタン (mg/L)	1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	メチルシクロヘキサン (mg/L)	1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)
測定日					
水質環境基準	0.004	0.1	0.04	1	0.006
2018/7/10 (稼働前)	ND	ND	ND	ND	ND
2018/8/2 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

測定項目	トリクロロエチレン (mg/L)	テトラクロロエチレン (mg/L)	1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	チウラム (mg/L)	シマジン (mg/L)
測定日					
水質環境基準	0.01	0.01	0.002	0.006	0.003
2018/7/10 (稼働前)	ND	ND	ND	ND	ND
2018/8/2 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

測定項目	チオベンカルブ (mg/L)	ベンゼン (mg/L)	セレン (mg/L)	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/L)	フッ素 (mg/L)
測定日					
水質環境基準	0.02	0.01	0.01	10	0.8
2018/7/10 (稼働前)	ND	ND	ND	0.38	ND
2018/8/2 (稼働後)	ND	ND	ND	0.26	ND

測定項目	ホウ素 (mg/L)	1,4-ジオキササン (mg/L)
測定日		
水質環境基準	1	0.05
2018/7/10 (稼働前)	0.01	ND
2018/8/2 (稼働後)	0.01	ND

測定項目	水素イオン濃度 (pH) ※	生物化学的酸素要求量 (BOD) ※ (mg/L)	浮遊物質 (SS) ※ (mg/L)	溶存酸素量 (DO) ※ (mg/L)	大腸菌群数 ※ (MPN/100mL)
測定日					
2018/7/10 (稼働前)	7.1	0.9	19	9.4	240
2018/8/2 (稼働後)	7.5	ND	4.0	8.5	17000

※ 中間貯蔵施設区域及び周辺の河川は、環境基準の水域類型に指定されていない。

(参考) 河川C類型の環境基準：pH 6.5~8.5、BOD 5mg/L以下、SS 50mg/L以下、DO 5mg/L以上

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

# 土壌貯蔵施設(2期双葉①工区)のモニタリング測定地点(年次測定等)



凡例		
● : 騒音・振動	● : 悪臭	◆ : 地下水(井戸)の環境項目
◆ : 浸出水処理施設放流水の排水基準項目	■ : 放流先河川の環境項目	--- : 敷地境界線

年次測定項目については稼働前のデータを記載している。稼働後は今後測定する。

# 土壌貯蔵施設(2期双葉①工区)のモニタリング測定結果(稼働前)①

## ●騒音

測定日	測定地点		騒音レベル (dB)	
	北側	南側	北側	南側
2018/7/29			66	63

大熊町と双葉町は、騒音規制法に基づく指定地域を有する市町村に該当しない。  
福島県生活環境の保全等に関する条例に基づく基準：60dB（昼間7:00～19:00）

## ●振動

測定日	測定地点		振動レベル (dB)	
	北側	南側	北側	南側
2018/7/29			30未満	30未満

大熊町と双葉町は、振動規制法に基づく指定地域を有する市町村に該当しない。  
福島県振動防止対策指針に基づく基準：65dB（昼間7:00～19:00）

## ●悪臭

測定日	測定地点		臭気指数	
	西側	東側	西側	東側
2018/7/29			15（風下）	10未満（風上）

事業用地は悪臭防止法に基づく規制の対象地域ではない。  
福島県悪臭防止対策指針による臭気指数の限度：15

## ◆地下水（井戸）の環境項目

測定地点	測定日	測定項目	アルキル水銀	総水銀	カドミウム	鉛	六価クロム
			(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
		地下水環境基準	検出されないこと	0.0005以下	0.003以下	0.01以下	0.05以下
上流	2018/9/10		不検出	ND	ND	0.008	ND
下流	2018/9/10		不検出	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定日	測定項目	砒素	全シアン	PCB	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン
			(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
		地下水環境基準	0.01以下	検出されないこと	検出されないこと	0.01以下	0.01以下
上流	2018/9/10		0.002	不検出	不検出	ND	ND
下流	2018/9/10		ND	不検出	不検出	ND	ND

測定地点	測定日	測定項目	ジクロロメタン	四塩化炭素	1,2-ジクロロエタン	1,1-ジクロロエチレン	1,2-ジクロロエチレン
			(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
		地下水環境基準	0.02以下	0.002以下	0.004以下	0.1以下	0.04以下
上流	2018/9/10		ND	ND	ND	ND	ND
下流	2018/9/10		ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定日	測定項目	1,1,1-トリクロロエタン	1,1,2-トリクロロエタン	1,3-ジクロロプロパン	チウラム	シマジン
			(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
		地下水環境基準	1以下	0.006以下	0.002以下	0.006以下	0.003以下
上流	2018/9/10		ND	ND	ND	ND	ND
下流	2018/9/10		ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定日	測定項目	チオベンカルブ	ベンゼン	セレン	1,4-ジオキサソ	クロロエチレン
			(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
		地下水環境基準	0.02以下	0.01以下	0.01以下	0.05以下	0.002以下
上流	2018/9/10		ND	ND	ND	ND	ND
下流	2018/9/10		ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定日	測定項目	ダイオキシン類
			(pg-TEQ/L)
		地下水環境基準	1以下
上流	2018/9/10		2.0
下流	2018/9/10		0.71

NDとは、定量下限値未満であることを示す。  
ダイオキシン類で地下水環境基準を超過した。



# 土壌貯蔵施設(2期双葉①工区)のモニタリング測定結果(稼働前)②

## ■放流先河川の環境項目

測定項目	カドミウム (mg/L)	全シアン (mg/L)	鉛 (mg/L)	六価クロム (mg/L)	砒素 (mg/L)
測定日					
水質環境基準	0.003	検出されないこと	0.01	0.05	0.01
2018/9/3	0.004	不検出	0.001	ND	0.001

測定項目	総水銀 (mg/L)	アルキル水銀 (mg/L)	PCB (mg/L)	ジクロロメタン (mg/L)	四塩化炭素 (mg/L)
測定日					
水質環境基準	0.0005	検出されないこと	検出されないこと	0.02	0.002
2018/9/3	ND	不検出	不検出	ND	ND

測定項目	1,2-ジクロロエタン (mg/L)	1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	トランス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)
測定日					
水質環境基準	0.004	0.1	0.04	1	0.006
2018/9/3	ND	ND	ND	ND	ND

測定項目	トリクロロエチレン (mg/L)	テトラクロロエチレン (mg/L)	1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	チウラム (mg/L)	シマジン (mg/L)
測定日					
水質環境基準	0.01	0.01	0.002	0.006	0.003
2018/9/3	ND	ND	ND	ND	ND

測定項目	チオベンカルブ (mg/L)	ベンゼン (mg/L)	セレン (mg/L)	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/L)	フッ素 (mg/L)
測定日					
水質環境基準	0.02	0.01	0.01	10	0.8
2018/9/3	ND	ND	ND	1.1	0.17

測定項目	ホウ素 (mg/L)	1,4-ジオキサン (mg/L)
測定日		
水質環境基準	1	0.05
2018/9/3	ND	ND

測定項目	水素イオン濃度 (pH) ※	生物化学的酸素要求量 (BOD) ※ (mg/L)	浮遊物質 (SS) ※ (mg/L)	溶存酸素量 (DO) ※ (mg/L)	大腸菌群数 ※ (MPN/100mL)
測定日					
2018/9/3	4.9	4.4	58	7.8	330

※中間貯蔵施設区域及び周辺の河川は、環境基準の水域類型に指定されていない。

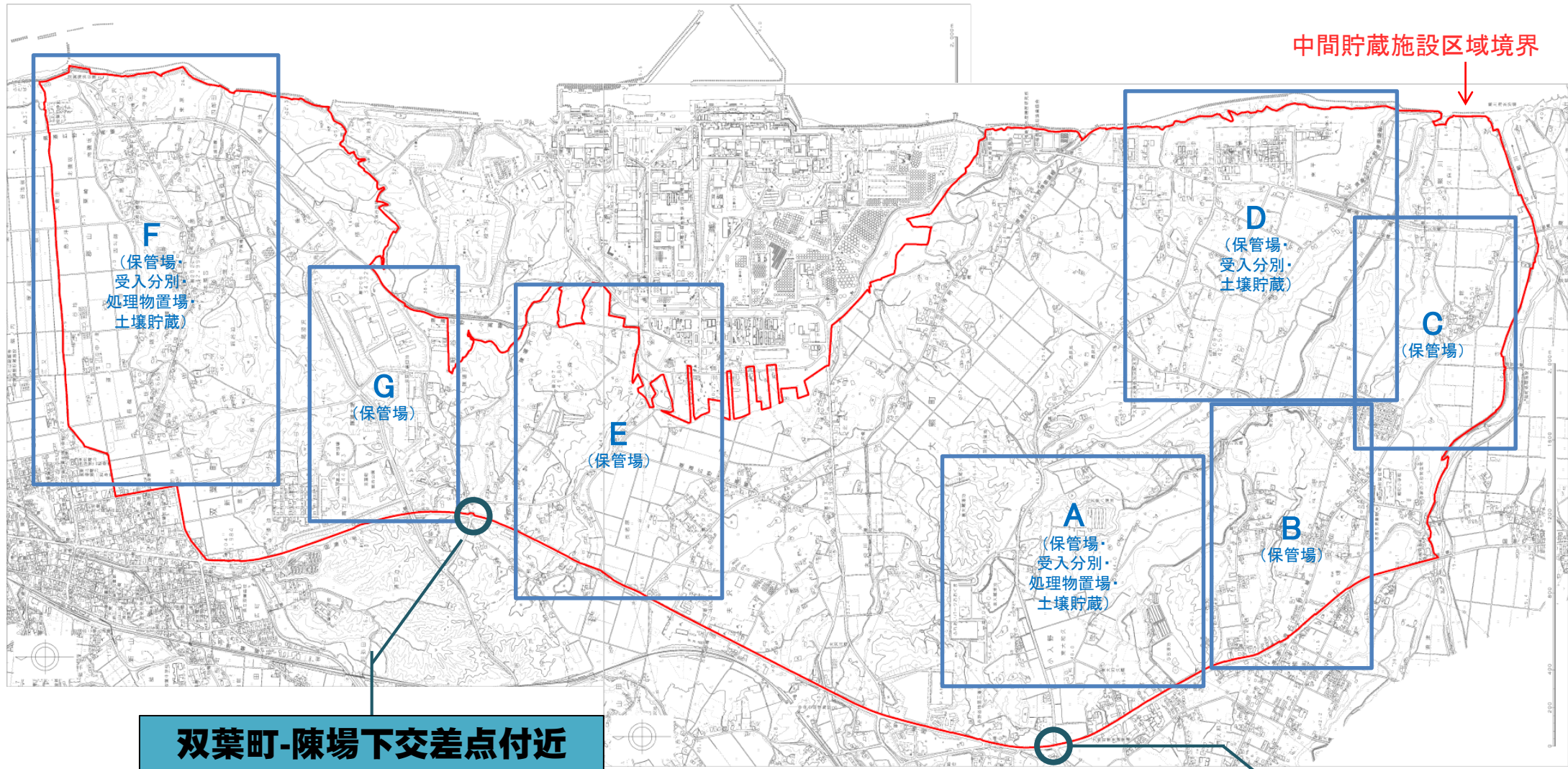
(参考) 河川C類型の環境基準：pH 6.5~8.5、BOD 5mg/L以下、SS 50mg/L以下、DO 5mg/L以上

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

カドミウムで水質環境基準を超過した。

# 中間貯蔵施設区域におけるモニタリング結果

# 中間貯蔵施設区域における放射線モニタリング位置図

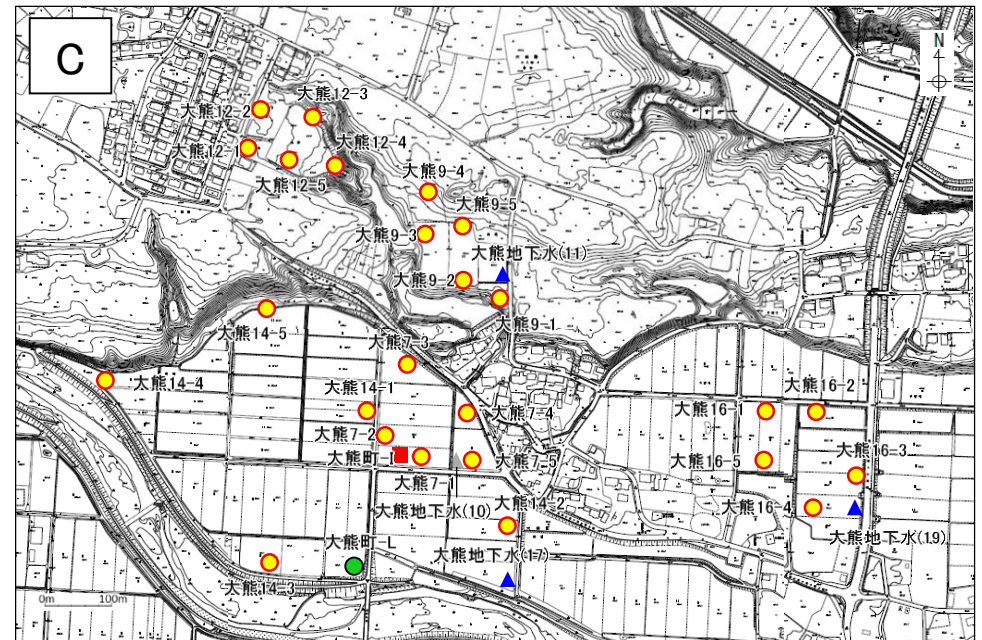
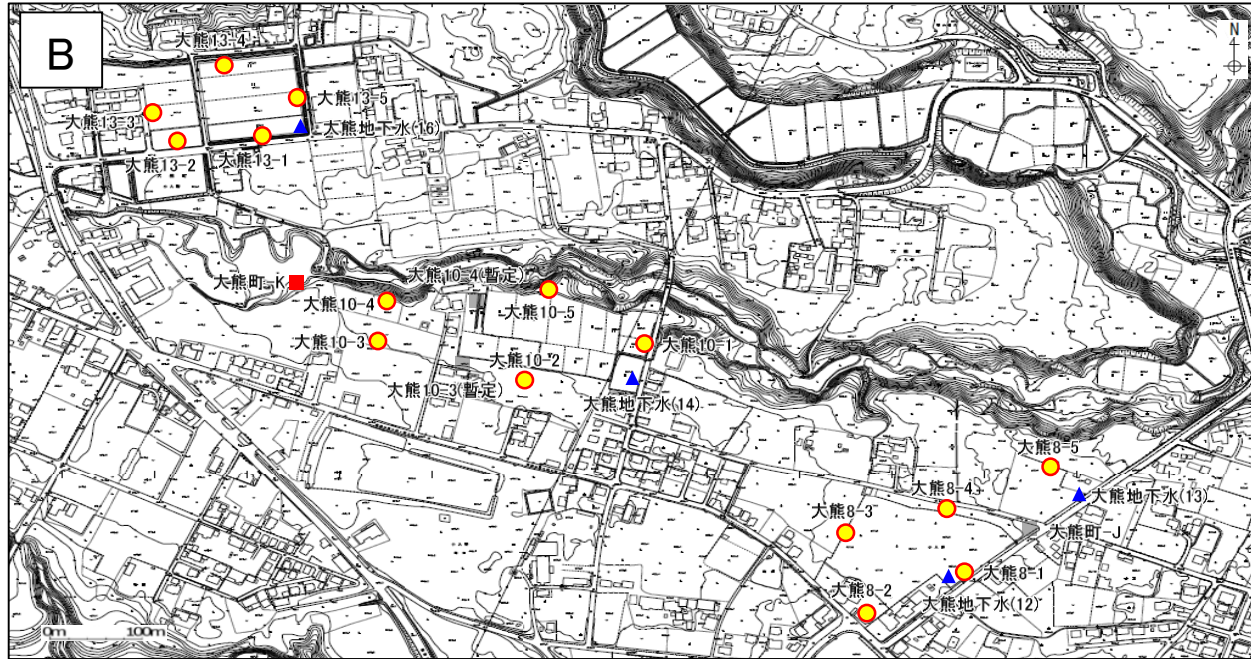








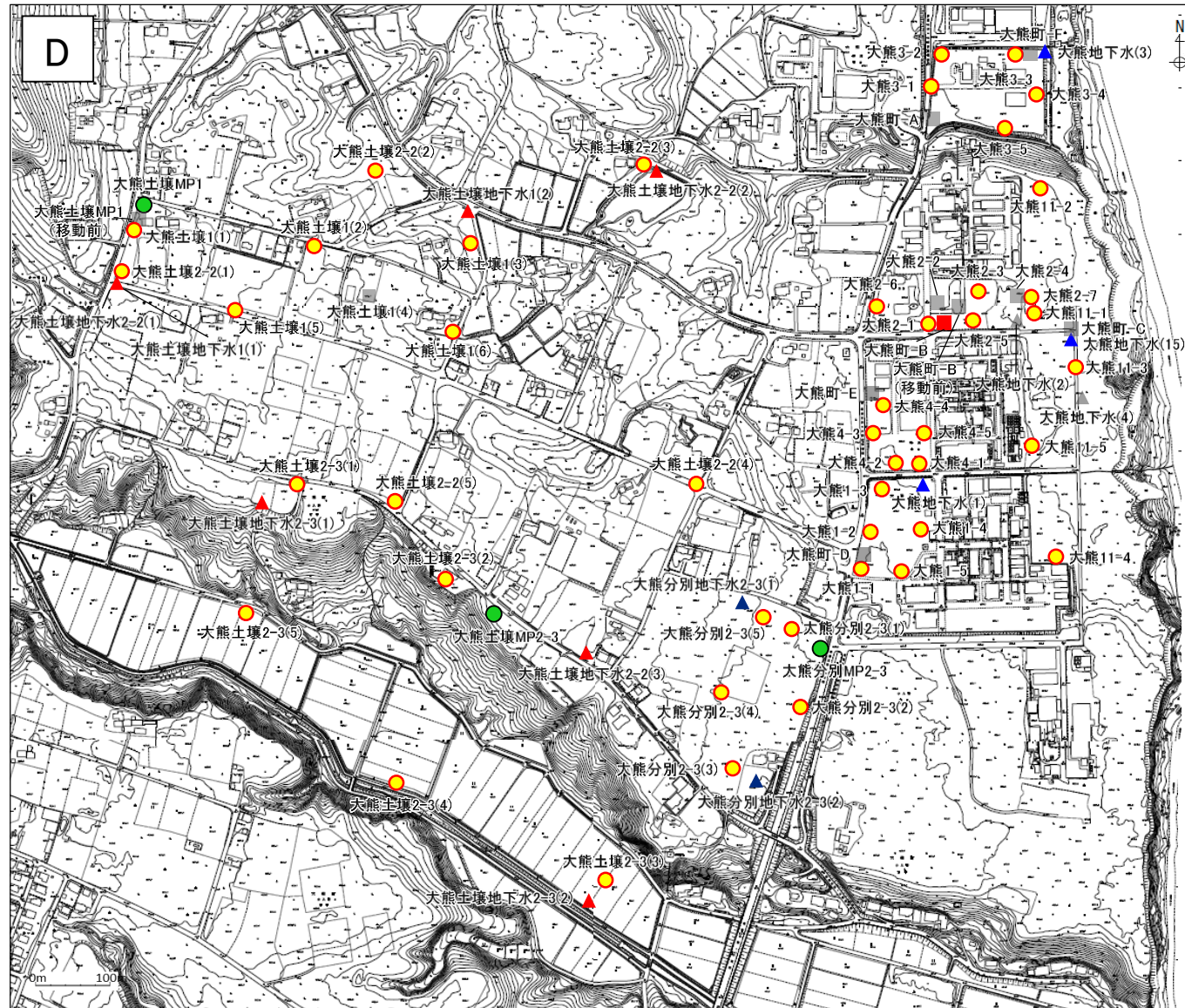
# 保管場等における空間線量率・地下水中放射能濃度の測定地点



- 【凡例】
- ■ 空間線量率測定地点(連続測定)
  - リアルタイムデータ自動送信
  - 週次データ回収
  - (参考)過去の測定地点
  - 空間線量率測定地点(週次測定)
  - ▲ 地下水中放射能濃度測定地点(月次測定)
  - ▲ (参考)過去の測定地点



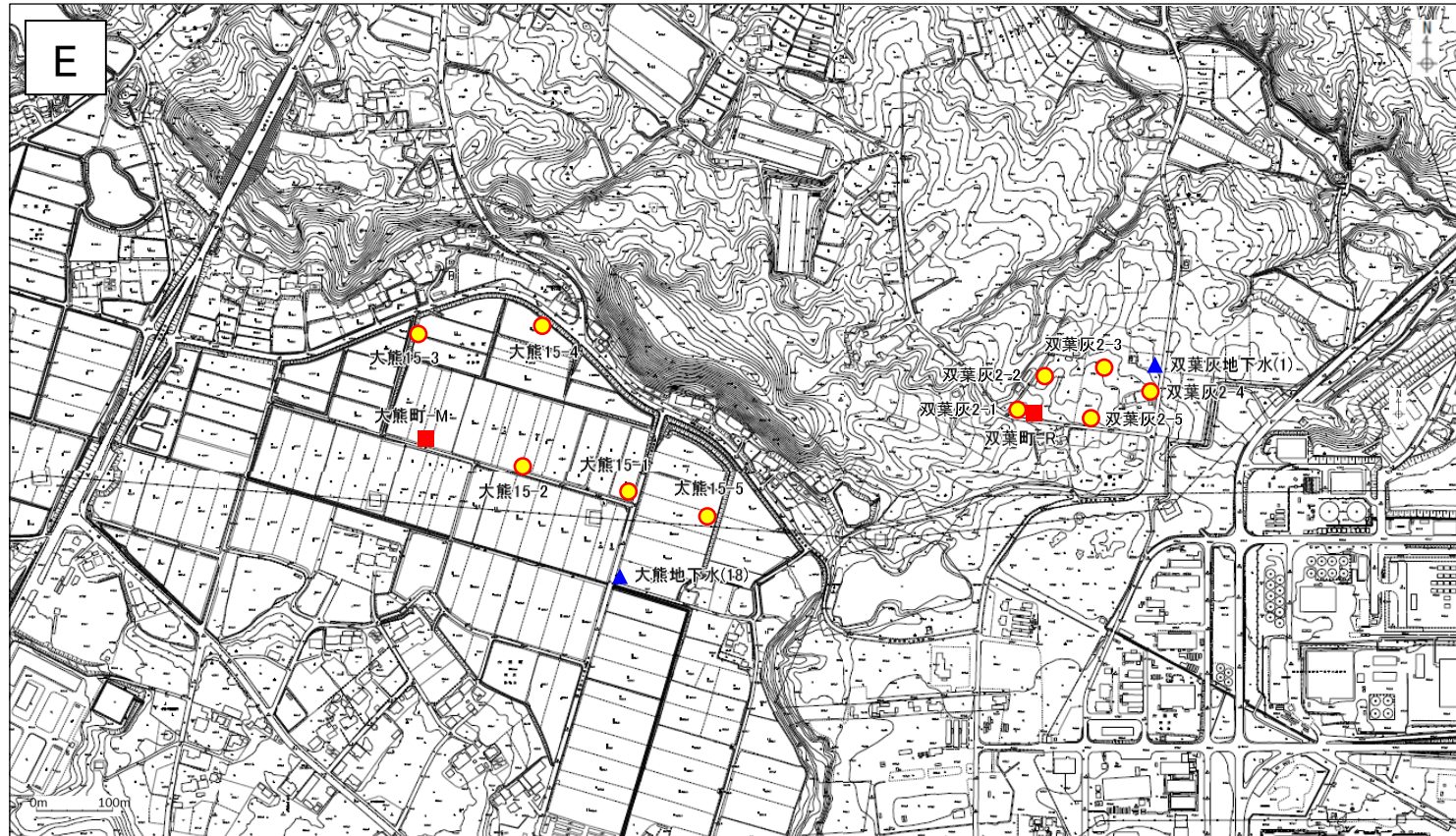
# 保管場等における空間線量率・地下水中放射能濃度の測定地点



- 【凡例】**
- 空間線量率測定地点(連続測定)
  - 空間線量率測定地点(週次測定)
  - リアルタイムデータ自動送信
  - ▲ 地下水中放射能濃度測定地点(月次測定)
  - 週次データ回収
  - ▲ 地下水中放射能濃度測定地点(週次測定)
  - (参考)過去の測定地点
  - ▲ (参考)過去の測定地点



# 保管場等における空間線量率・地下水中放射能濃度の測定地点



【凡例】



空間線量率測定地点(連続測定)



週次データ回収



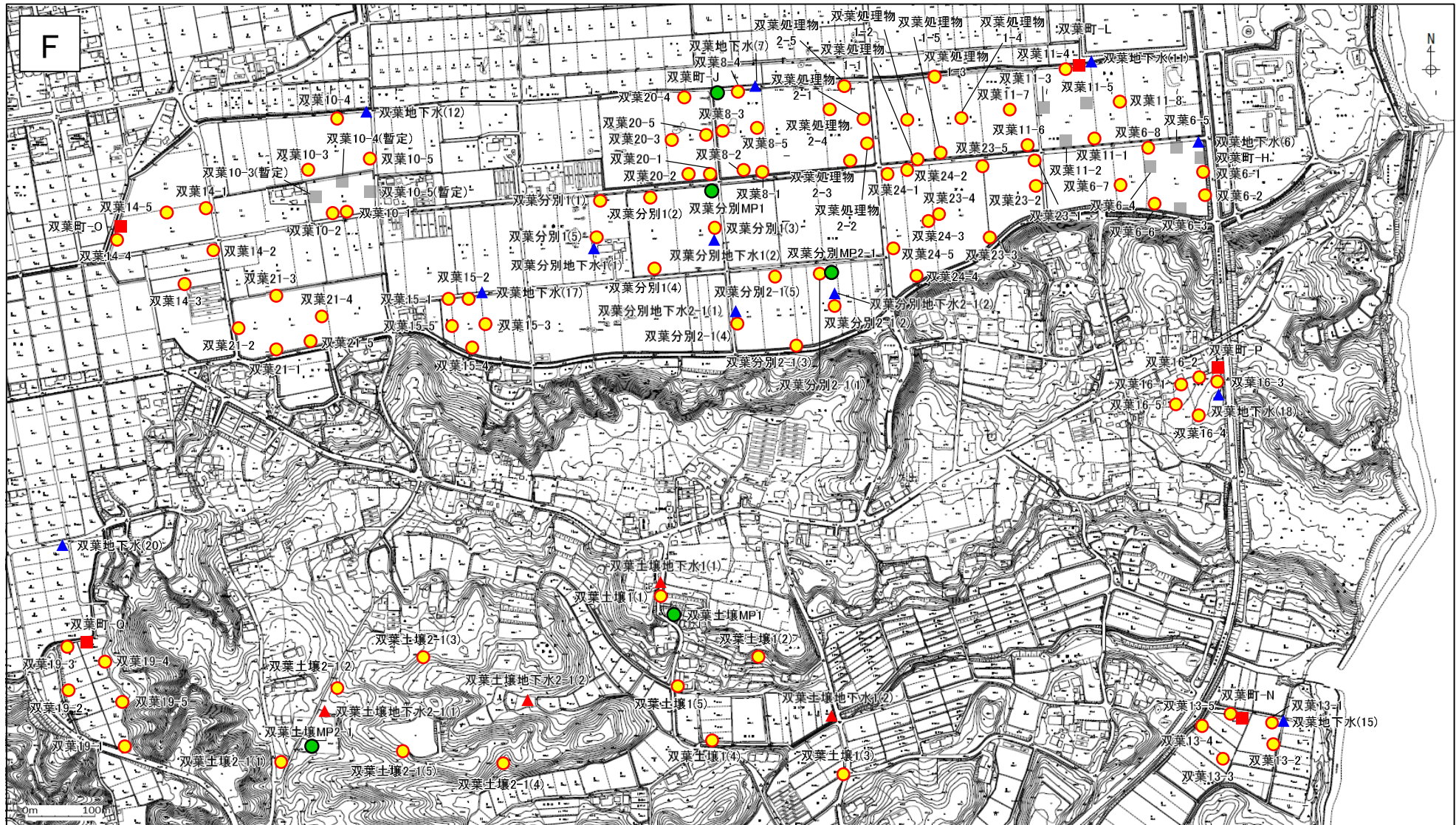
空間線量率測定地点(週次測定)



地下水中放射能濃度測定地点(月次測定)



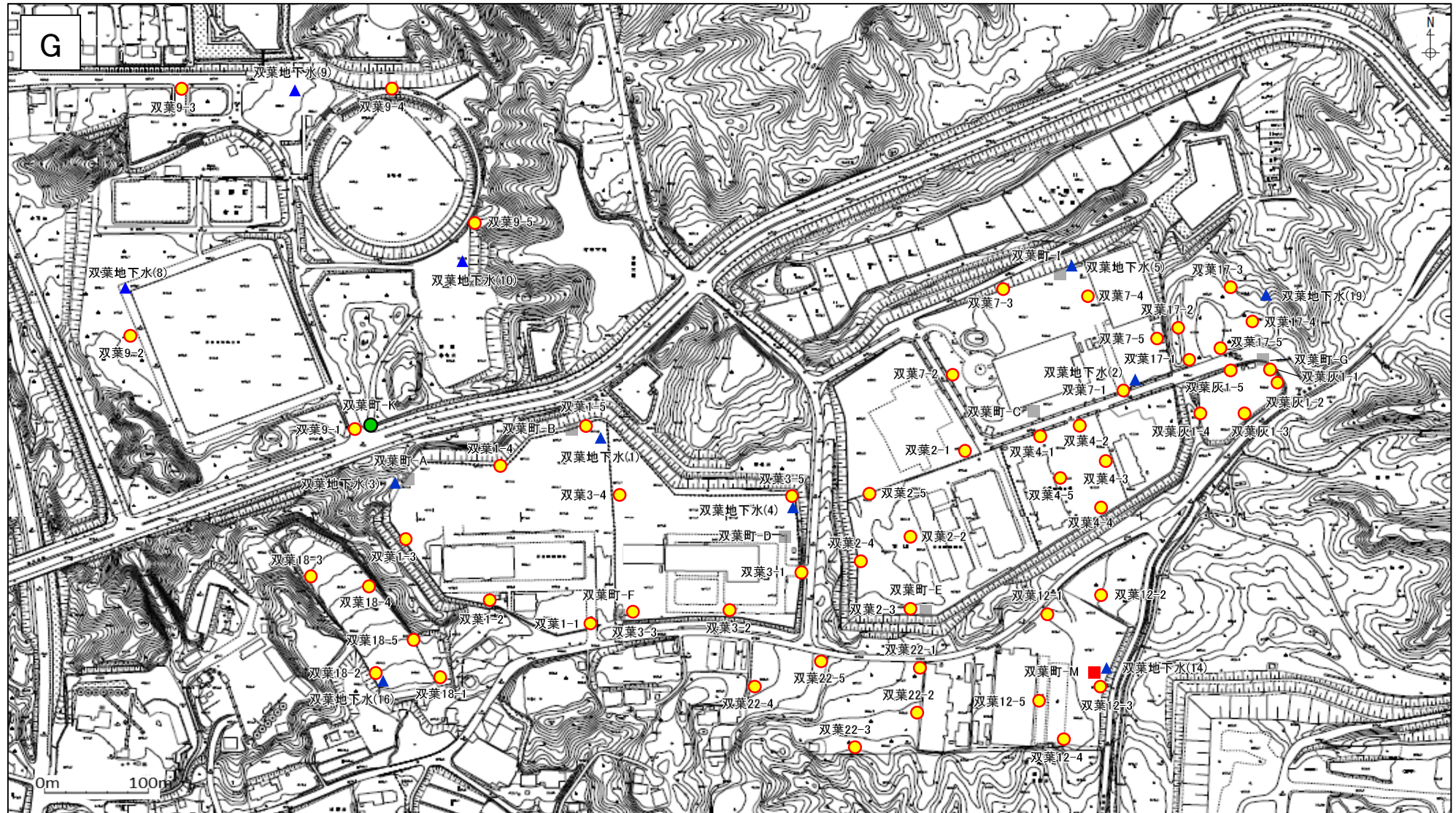
# 保管場等における空間線量率・地下水中放射能濃度の測定地点



- |   |   |                 |   |                     |
|---|---|-----------------|---|---------------------|
| ● | ■ | 空間線量率測定地点(連続測定) | ● | 空間線量率測定地点(週次測定)     |
| ● | ■ | リアルタイムデータ自動送信   | ▲ | 地下水中放射能濃度測定地点(月次測定) |
| ■ | ■ | 週次データ回収         | ▲ | 地下水中放射能濃度測定地点(週次測定) |
| ■ | ■ | (参考)過去の測定地点     |   |                     |



# 保管場等における空間線量率・地下水中放射能濃度の測定地点



【凡例】 ● ■ 空間線量率測定地点(連続測定)

● リアルタイムデータ自動送信

■ 週次データ回収

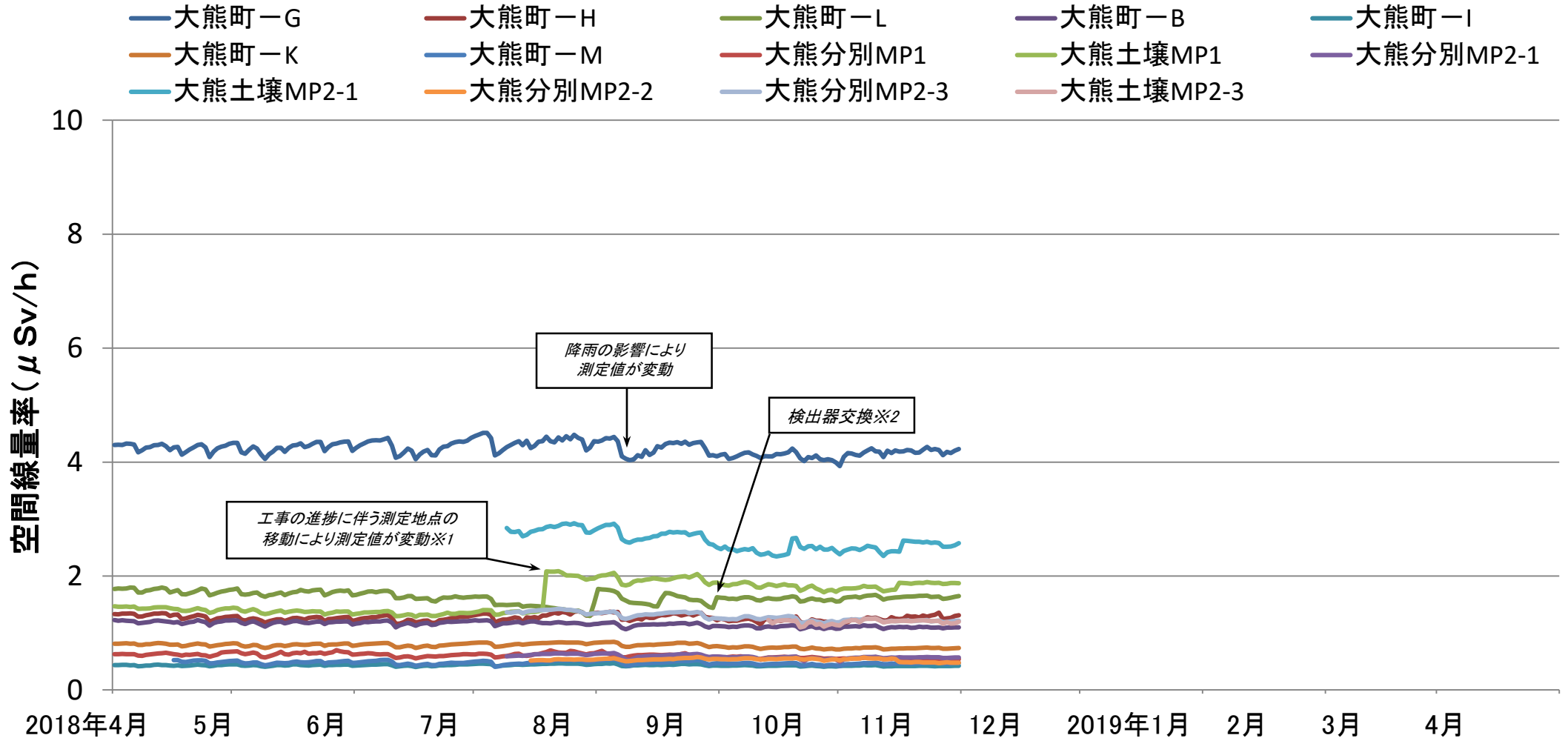
■ (参考)過去の測定地点

● 空間線量率測定地点(週次測定)

▲ 地下水中放射能濃度測定地点(月次測定)

# 保管場等における空間線量率の測定結果(連続測定)等 (大熊町)①

○ 空間線量率は、降雨等の影響や工事の進捗に伴う測定地点の移動の際に変動が見られたが、除去土壌等の搬入、保管による周辺への影響は見られなかった。



## 保管場等境界における空間線量率の推移(連続測定)(2018年4月1日~10月31日)

※1 測定地点の移動においては、従前の地点と移設先の地点の空間線量率を測定し、変動の程度を想定した上で実施しており、移動後に変動が想定範囲内であることを確認している。

※2 大熊町-Lについて、7/31、8/17に検出器の校正を実施、8/31に検出器の交換を実施した。

○ 地下水中の放射能濃度は、すべて検出下限値(1Bq/L)未満であることを確認した。



# 保管場等における空間線量率の測定結果(連続測定)等 (大熊町)②

## 保管場等境界における空間線量率(連続測定)(2018年4月1日～10月31日)

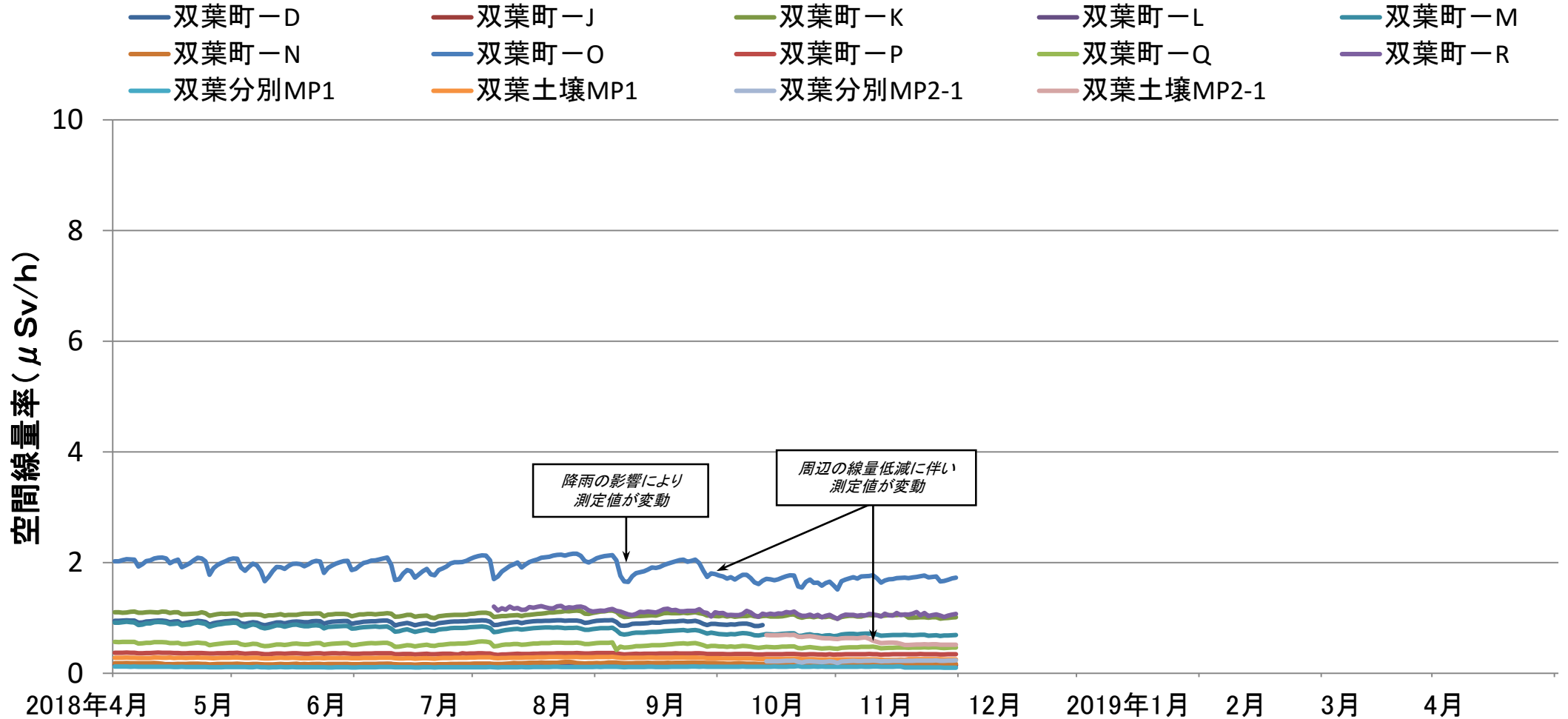
単位:  $\mu$  Sv/h

測定地点名	平均値	最大値 (日付)	最小値 (日付)	備考 (変動の理由、測定開始・終了日等)
大熊町-B	1.16	1.23 (4/22)	1.06 (9/21)	
大熊町-G	4.24	4.51 (7/4)	3.93 (10/1)	7/15 測定器の変更(既設のモニタリングポストは、施設の拡大に伴い、新たな測定地点に移設)
大熊町-H	1.27	1.38 (7/27)	1.10 (10/1)	7/7 測定器の変更(既設のモニタリングポストは、施設の拡大に伴い、新たな測定地点に移設)
大熊町-I	0.43	0.47 (8/5)	0.40 (6/16)	
大熊町-K	0.78	0.85 (8/5)	0.71 (10/12)	
大熊町-L	1.63	1.80 (4/13)	1.30 (7/30)	
大熊町-M	0.48	0.54 (8/5)	0.41 (7/6)	4/16 測定開始(保管場の新設に伴い、新たに設置)
大熊分別MP1	0.61	0.70 (5/27)	0.53 (10/28)	
大熊土壌MP1	1.38 <sup>※1</sup>	1.47 <sup>※1</sup> (4/1)	1.29 <sup>※1</sup> (6/16)	7/19 工事の進捗に伴う測定地点の移動 ※1 期間 4/1～7/18 ※2 期間 7/20～10/31
	1.88 <sup>※2</sup>	2.08 <sup>※2</sup> (7/22)	1.72 <sup>※2</sup> (9/27)	
大熊分別MP2-1	0.59	0.65 (8/5)	0.49 (10/1)	7/9 測定開始(施設の新設に伴い、新たに設置)
大熊土壌MP2-1	2.62	2.92 (7/26)	2.34 (9/15)	7/9 測定開始(施設の新設に伴い、新たに設置)
大熊分別MP2-2	0.53	0.58 (8/26)	0.47 (10/26)	7/15 測定開始(施設の新設に伴い、新たに設置)
大熊分別MP2-3	1.29	1.42 (7/22)	1.17 (9/27)	7/9 測定開始(施設の新設に伴い、新たに設置)
大熊土壌MP2-3	1.19	1.25 (10/10)	1.10 (9/21)	9/13 測定開始(施設の新設に伴い、新たに設置)

※週次測定地点(137地点)の空間線量率は、0.23～6.48  $\mu$  Sv/hの範囲。(2018年10月26日時点)

# 保管場等における空間線量率の測定結果(連続測定)等 (双葉町)①

○ 空間線量率は、降雨等の影響や工事の進捗に伴う周辺の線量低減の際などに変動が見られたが、除去土壌等の搬入、保管による周辺への影響は見られなかった。



保管場等境界における空間線量率の推移(連続測定)(2018年4月1日～10月31日)

○ 地下水中の放射能濃度は、7月に定置前の森ノ内仮設灰保管施設(※)でCs137を6.3Bq/L検出したが、井戸洗浄後は検出下限値(1Bq/L)未満であった。それ以外は、すべて検出下限値(1Bq/L)未満であることを確認した(中間貯蔵施設環境安全委員会(第11回)で報告)。 ※位置図のEの中の「双葉灰地下水(1)」

# 保管場等における空間線量率の測定結果(連続測定)等 (双葉町)②

## 保管場等境界における空間線量率(連続測定)(2018年4月1日～10月31日)

単位:  $\mu$  Sv/h

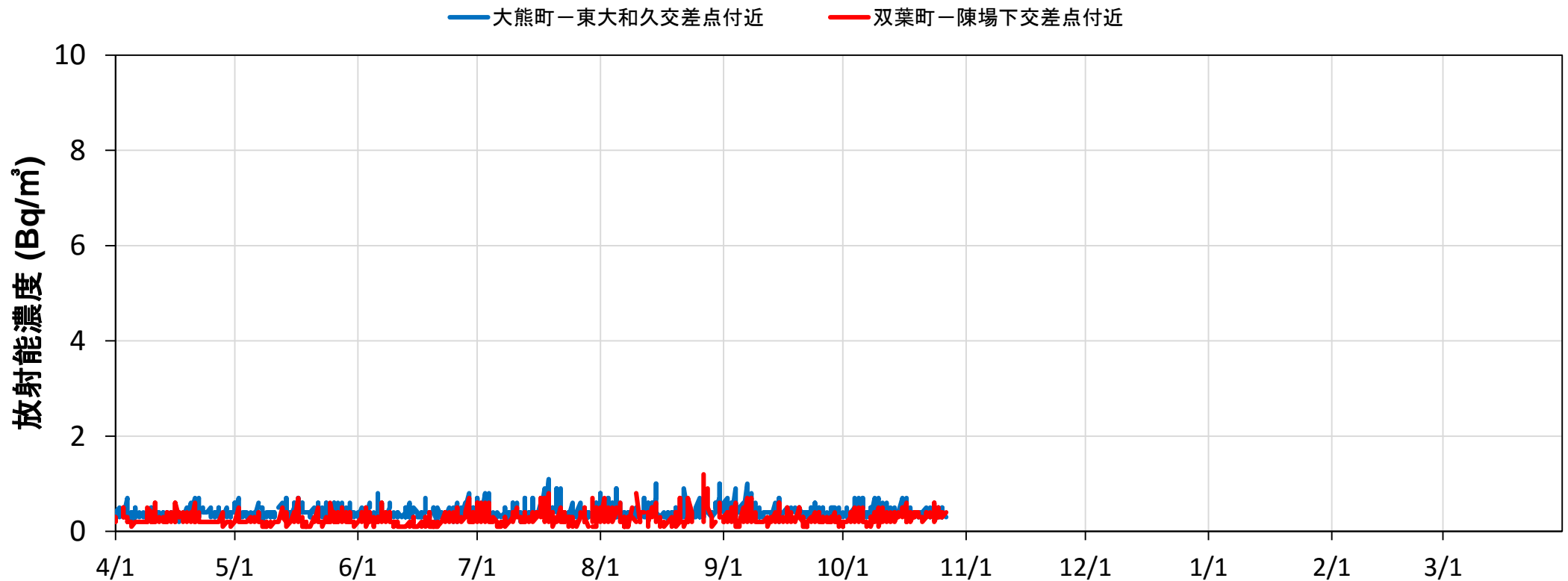
測定地点名	平均値	最大値 (日付)	最小値 (日付)	備考 (変動の理由、測定開始・終了日等)
双葉町-D	0.92	0.96 (8/5)	0.86 (9/11)	9/12 測定終了(施設の拡大に伴い、新たな測定地点に移設)
双葉町-J	0.16	0.18 (10/10)	0.14 (7/6)	
双葉町-K	1.06	1.13 (8/4)	0.99 (10/1)	
双葉町-L	0.15	0.15 (8/3)	0.13 (10/1)	
双葉町-M	0.79	0.93 (4/4)	0.67 (9/30)	
双葉町-N	0.18	0.21 (7/25)	0.16 (6/16)	
双葉町-O	1.89	2.16 (7/26)	1.51 (10/1)	
双葉町-P	0.35	0.37 (4/4)	0.33 (7/7)	
双葉町-Q	0.51	0.58 (7/3)	0.42 (8/6)	
双葉町-R	1.10	1.22 (7/23)	0.98 (10/1)	7/7 測定開始(施設の新設に伴い、新たに設置)
双葉分別MP1	0.11	0.13 (9/21)	0.10 (10/31)	
双葉土壌MP1	0.27	0.30 (8/5)	0.24 (10/13)	
双葉分別MP2-1	0.22	0.23 (10/31)	0.19 (10/1)	9/13 測定開始(施設の新設に伴い、新たに設置)
双葉土壌MP2-1	0.60	0.70 (9/20)	0.51 (10/19)	9/13 測定開始(施設の新設に伴い、新たに設置)

※週次測定地点(158地点)の空間線量率は、 $0.10 \sim 4.23 \mu$  Sv/hの範囲。(2018年10月26日時点)



# 中間貯蔵施設区域境界における大気中放射能濃度の測定

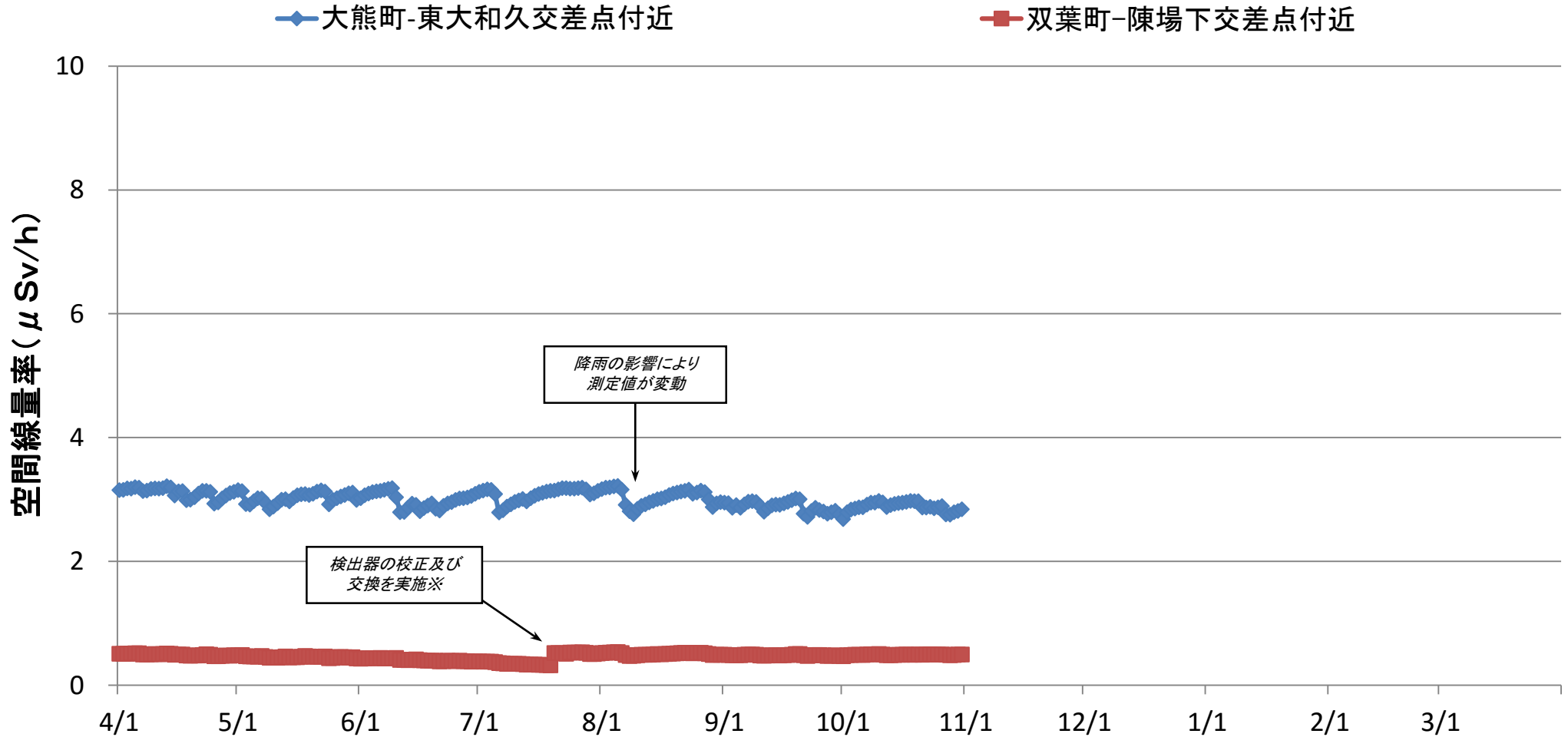
- 中間貯蔵施設に係る指針に基づき、中間貯蔵施設区域の境界において、大気中の浮遊じんに含まれる放射性物質の放射能濃度の連続測定を実施している。
- 大気中の放射性セシウム濃度は、ゲルマニウム半導体検出器により、全て検出下限値未満であることを確認した。  
※検出下限値は千分の1Bq/m<sup>3</sup>程度、濃度限度はセシウム134濃度/20+セシウム137濃度/30 $\leq$ 1
- なお、放射能濃度の変化をより迅速に把握するため、2017年11月から、 $\beta$ 線の放射能濃度をリアルタイムに監視している。



中間貯蔵施設区域境界における大気中の $\beta$ 線の放射能濃度（連続測定）  
（2018年4月1日～10月26日）

# 中間貯蔵施設区域境界における 空間線量率の測定結果(連続測定)

○ 空間線量率は、通常の変動の範囲内で推移していることを確認した。



中間貯蔵施設区域境界における空間線量率の推移(連続測定)  
(2018年4月1日～10月31日)

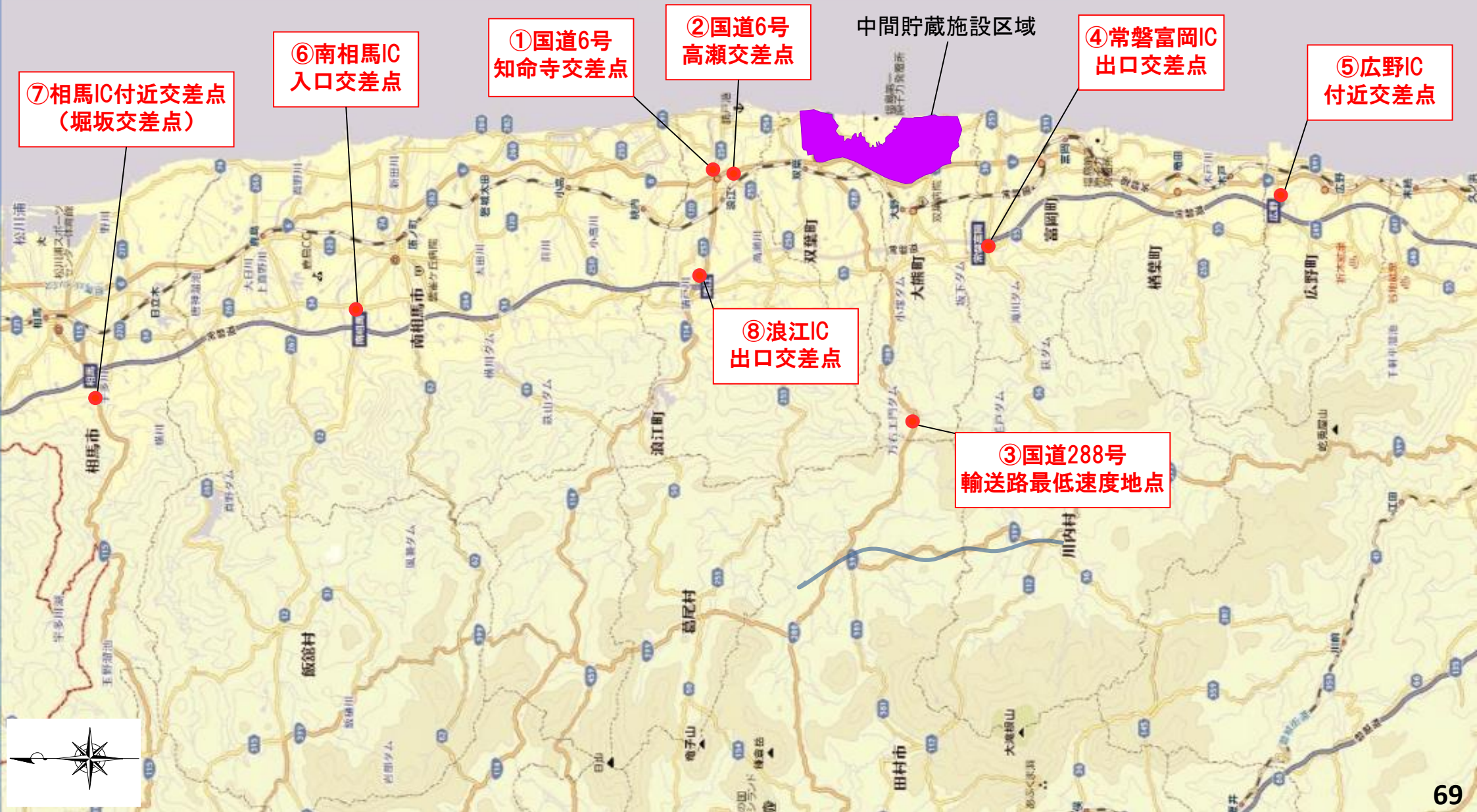
※7/20に検出器の校正、7/24に検出器の交換を実施した。

# 輸送路における放射線量率の測定結果



# 輸送路における放射線量率の測定

○ 輸送車両の通過地点のうち交差点や速度低下地点において、遮へい板付きの測定器を用いて周囲の放射線の影響を除去し、車道から歩道方向に入射する放射線量率の変化を測定している。



# 輸送路における放射線量率の測定結果

	当該地点を通過した輸送車両数 [台]	うち通過時に線量率の増加が観測されたもの [台] <sup>※1</sup>	(参考) 当該地点の空間線量率 [μSv/h]	(輸送車両通過時)		
				追加被ばく線量率 (瞬間最大値) [μSv/h] <sup>※2</sup>	線量率の増加が観測された時間 (累積) [分] <sup>※2</sup>	追加被ばく線量 (累積) [μSv]
①知命寺	5,067	212	0.15	0.09	49	0.02
②高瀬	13,502	626	0.17	0.15	178	0.09
③国道288	8,794	95	0.20	0.03	15	0.006
④常磐富岡IC	36,917	204	0.57	0.07	35	0.02
⑤広野IC	3,532	45	0.15	0.05	6.7	0.003
⑥南相馬IC	9,496	589	0.13	0.03	89	0.04
⑦相馬IC	6,934	375	0.11	0.09	70	0.03
⑧浪江IC	26,334	1,169	0.42	0.24	207	0.1

※1 各地点の放射線量率の測定結果について「測定期間の平均値+標準偏差の3倍」を超過した輸送車両数。

※2 測定は20秒単位。

## 輸送路における放射線量率の測定結果(2018年4月～10月)

### <評価>

輸送車両が通る時などに、数十秒間程度、平常時より高い放射線量率が観測される場合があったが、追加被ばく線量は十分に小さいことを確認した。

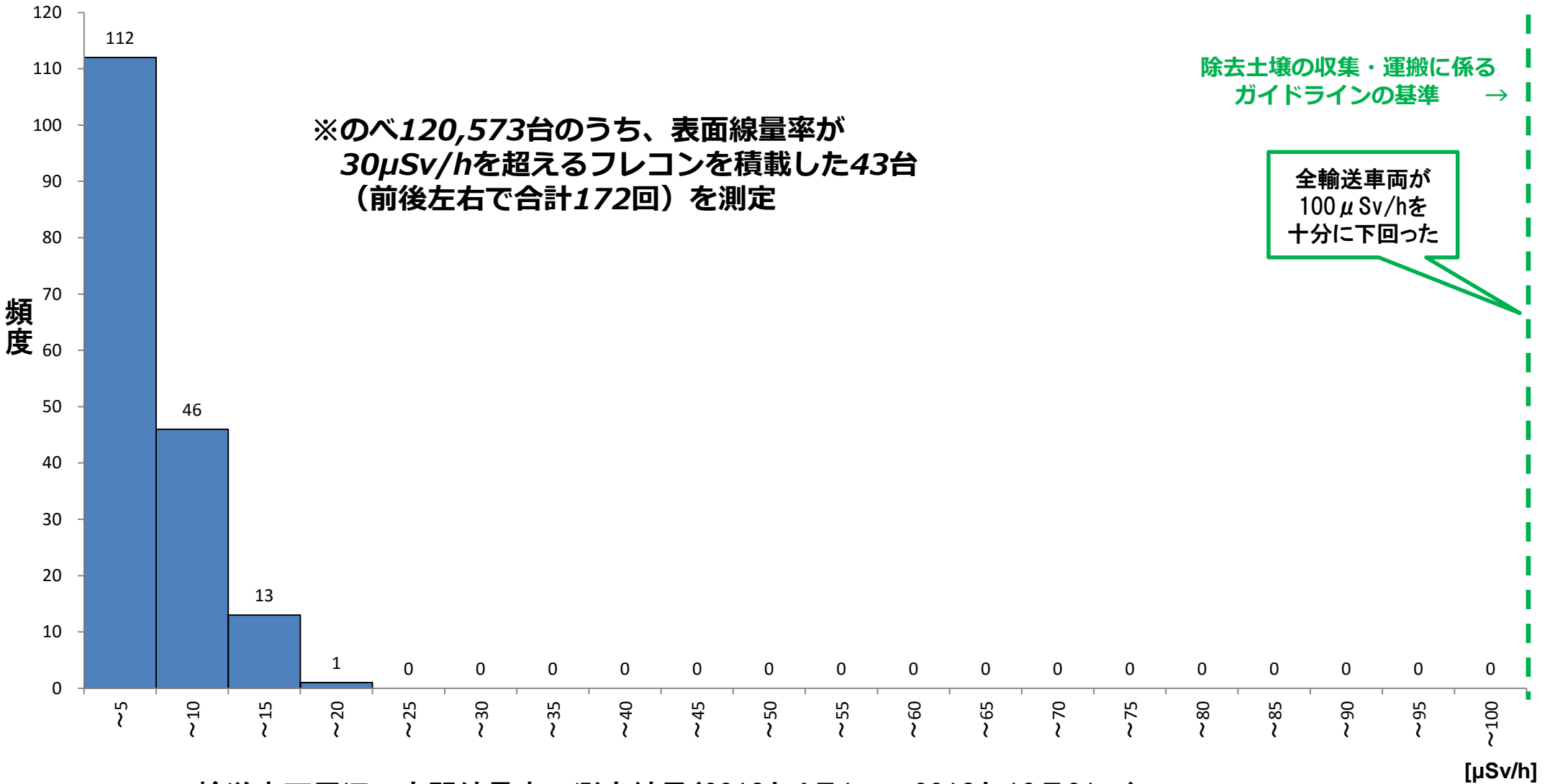
引き続きモニタリングを実施し、輸送車両通過時の追加被ばく線量を評価していく。

# 輸送車両のモニタリング結果



# 仮置場搬出時の輸送車両周辺の空間線量率の測定結果

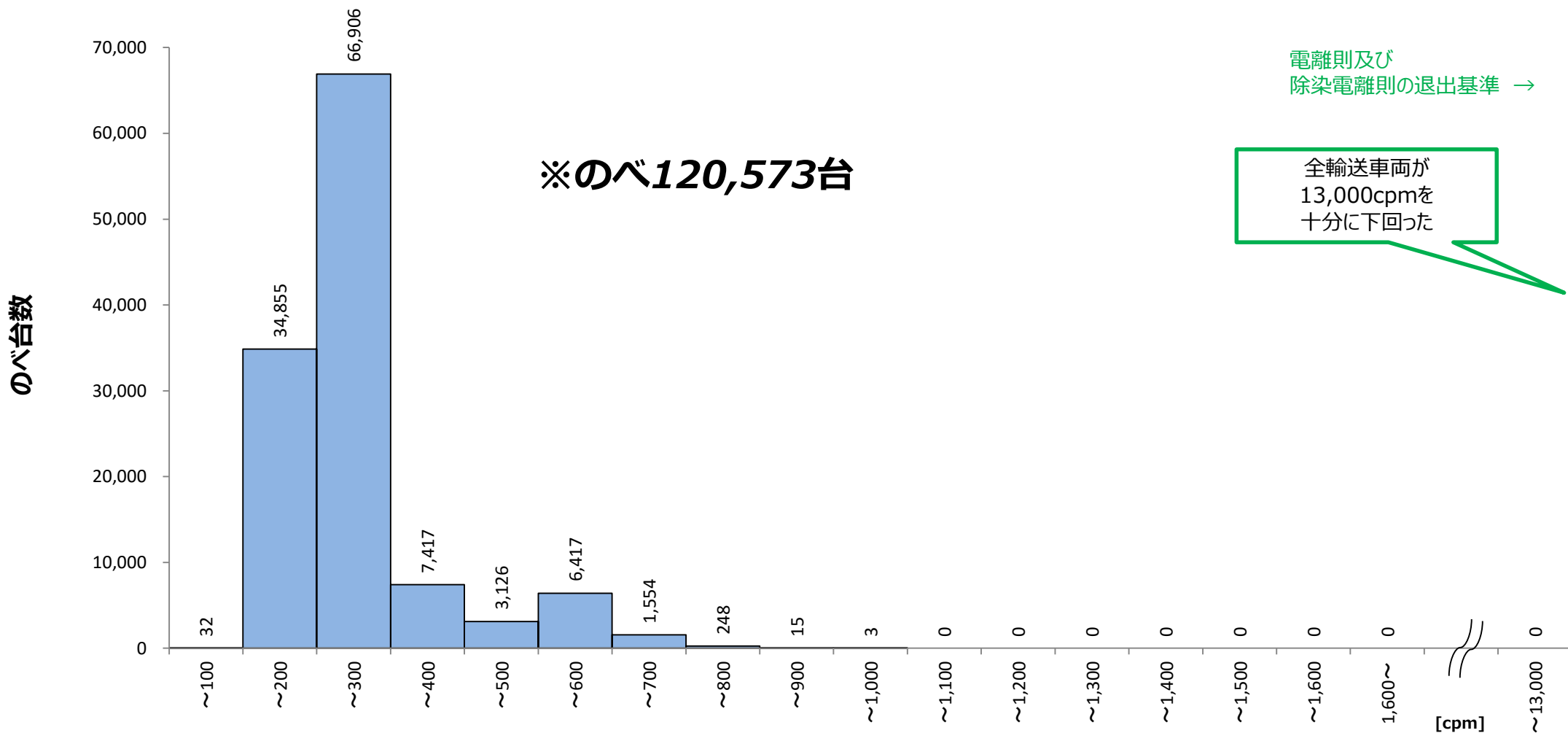
○ 仮置場からの搬出時に、表面線量率が $30\mu\text{Sv/h}$ を超えるフレコンを積載した車両について、前後左右1メートル離れた地点で空間線量率を測定し、積載した除去土壌等による周辺への放射線の影響を確認している。



輸送車両周辺の空間線量率の測定結果(2018年4月1日~2018年10月31日) ※バックグラウンドの影響も含む

# 施設退出時の輸送車両のスクリーニング結果

○ 中間貯蔵施設からの退出時に、除去土壌等を荷下ろした輸送車両の汚染検査(スクリーニング)を行い、電離則及び除染電離則に定められた基準を超えていないことを確認している。



※バックグラウンドの影響を含む

輸送車両のスクリーニング時の最大の表面汚染密度の分布(2018年4月1日~2018年10月31日)